様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 ６ 年 ５ 月２９日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　　福岡県福岡市博多区祇園町2番1号
氏　名　　東急建設株式会社　九州支店
　　執行役員支店長　三嶋　昭
電話番号　　０９２－２８２―６１１０

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、令和５年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	東急建設株式会社　九州支店
事業場の所在地	福岡県福岡市博多区祇園町2番1号
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和５年４月１日　～　令和６年３月３１日

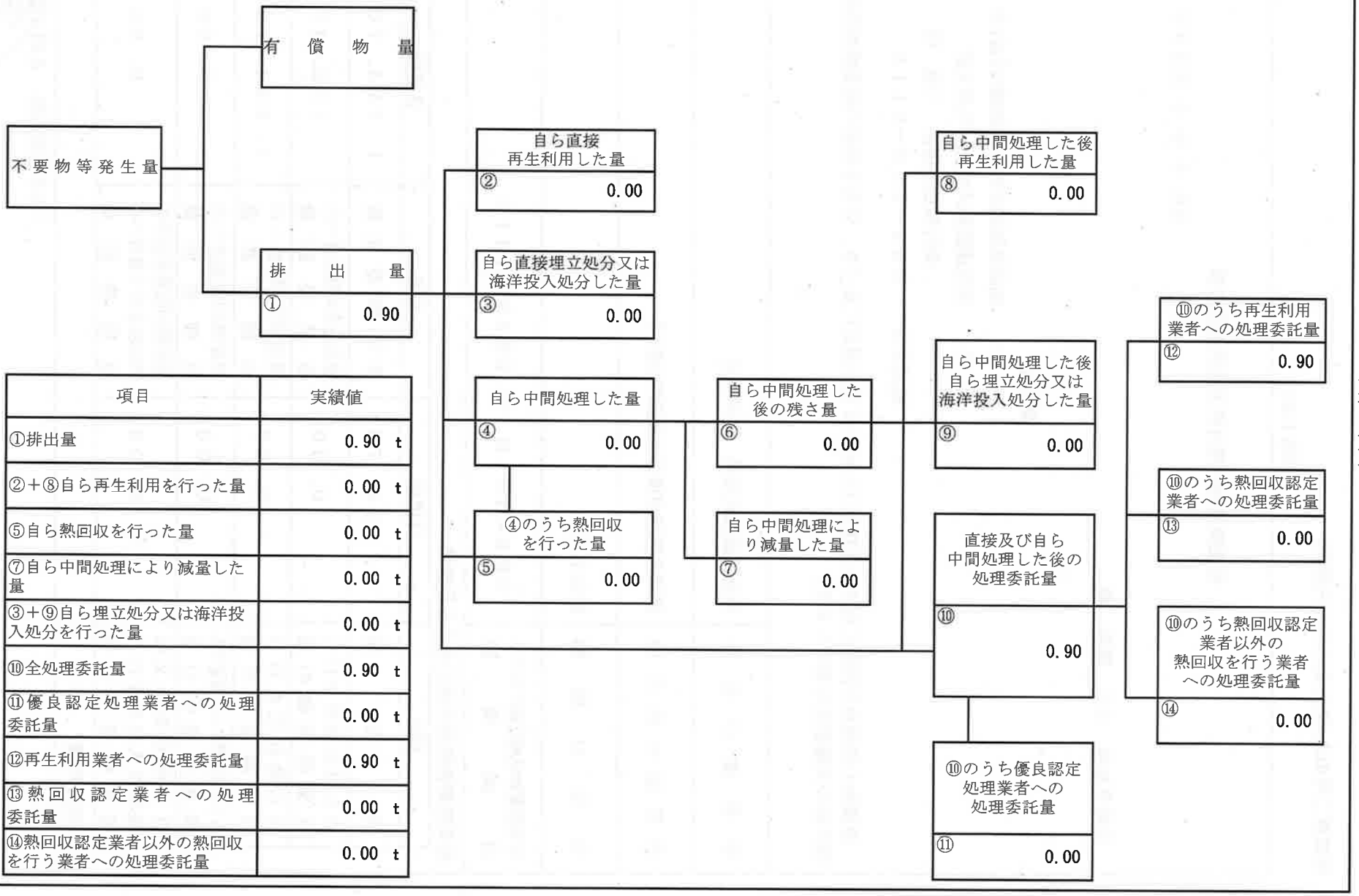
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	１，２２４．７０ｔ	全処理委託量	１，２２４．７０ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	０．００ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	１２２．４７ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	０．００ｔ	再生利用業者への処理委託量	１，２２４．７０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	０．００ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	０．００ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０．００ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	０．００ｔ
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列４番）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　　廃プラスチック類　　）

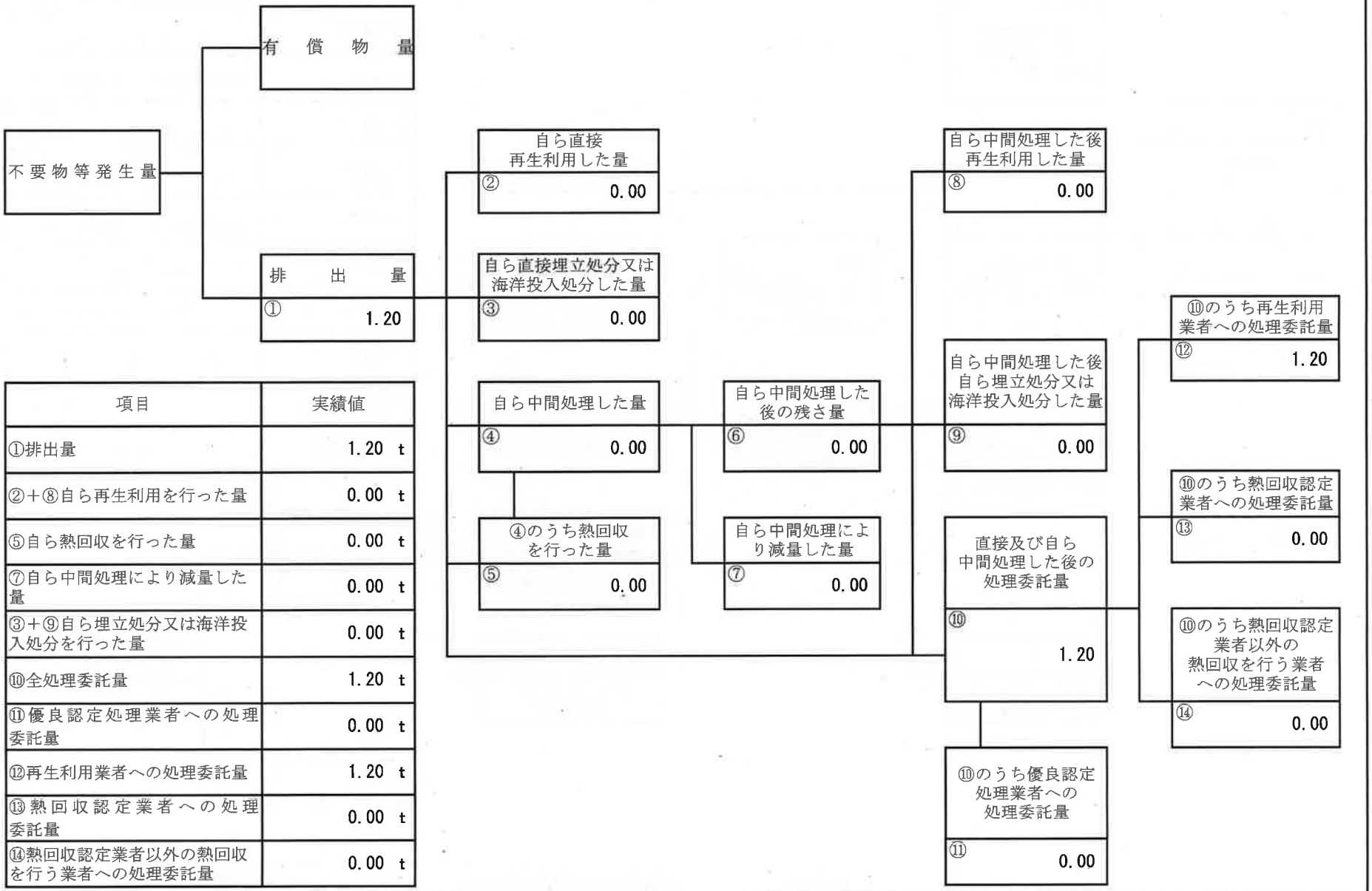


項目	実績値
①排出量	0.90 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	0.90 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.90 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　混合廃棄物(安定型のみ)　）

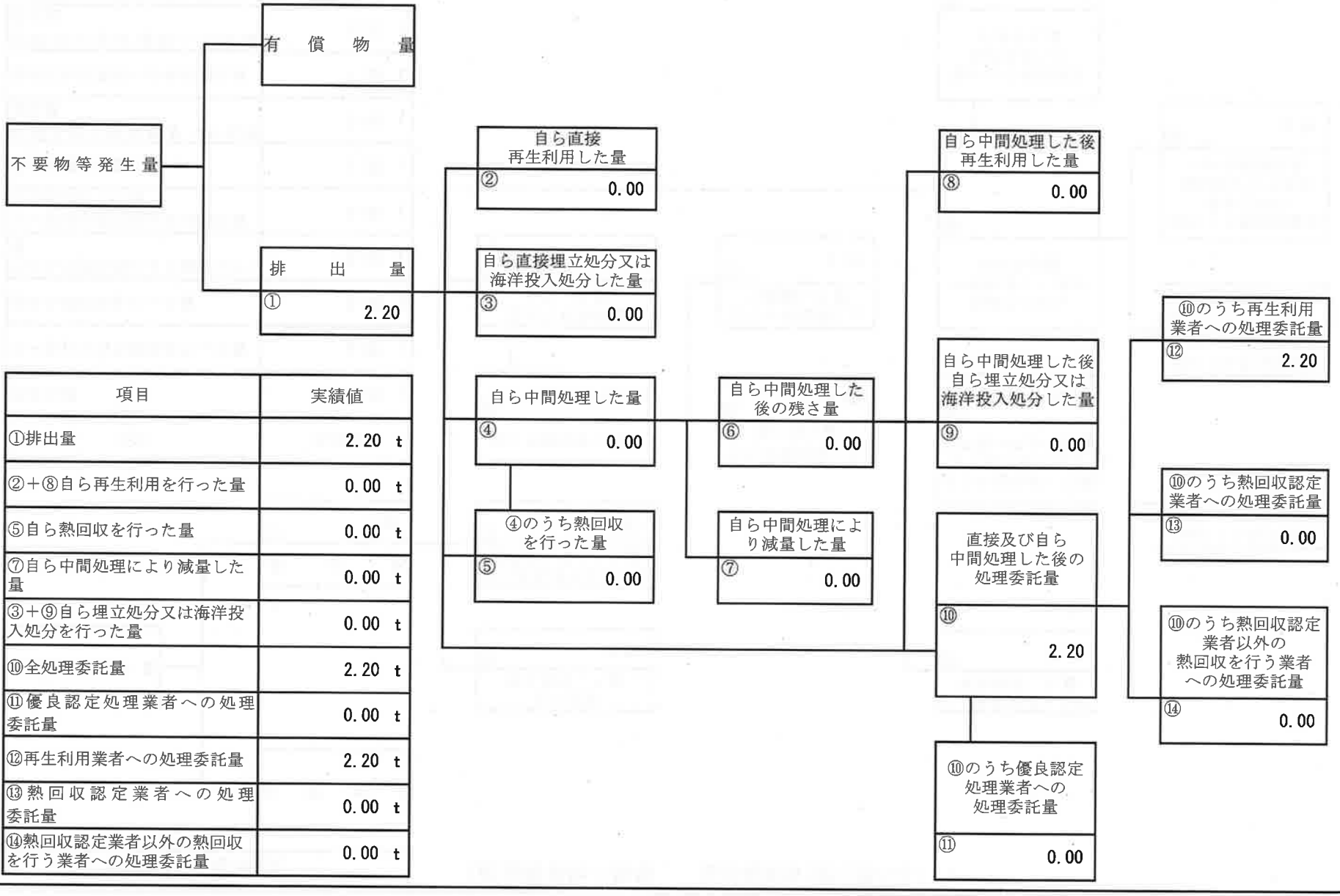


項目	実績値
①排出量	1.20 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	1.20 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.20 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：　木くず　）



項目	実績値
①排出量	2.20 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t
⑩全処理委託量	2.20 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	2.20 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第２面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和　６年　５月１４日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　長崎県西彼杵郡時津町浦郷274番1
氏　名　時津町長　山　上　広　信
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０９５－８８２－２２１１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和４年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	時津町　子々川浄水場
事業場の所在地	西彼杵郡時津町子々川郷１７４０番地
事業の種類	上水道
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和　５年　４月　１日　～　令和　６年　３月３１日

産業廃棄物処理計画における目標値

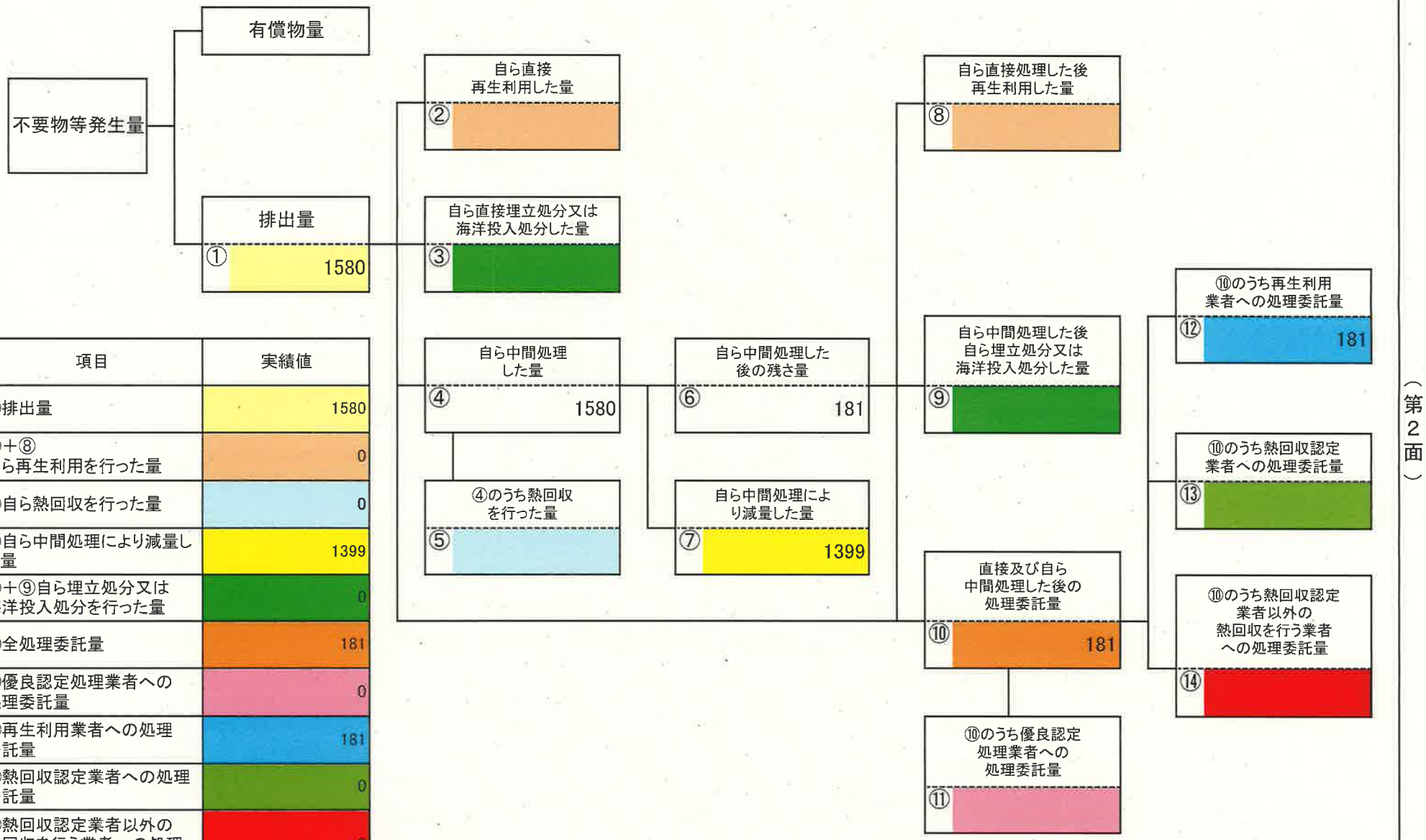
項目	目標値	項目	目標値
排出量	１２１０ｔ	全処理委託量	ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	ｔ	再生利用業者への処理委託量	２９０ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	９２０ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	ｔ

受付
－6.5.16
資源循環推進課

※事務処理欄

（日本工業規格　A列４番）

計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：上水汚泥　）



項目	実績値
①排出量	1580
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	1399
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	181
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	181
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和６年５月１４日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　　長崎県西彼杵郡時津町浦郷274番地1
氏　名　　時津町長　　山　上　広　信
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　095-882-2538（直通）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和５年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	時津浄化センター
事業場の所在地	長崎県西彼杵郡時津町久留里郷１４４１番地
事業の種類	下水処理場
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和５年４月１日　～　令和６年３月３１日

産業廃棄物処理計画における目標値

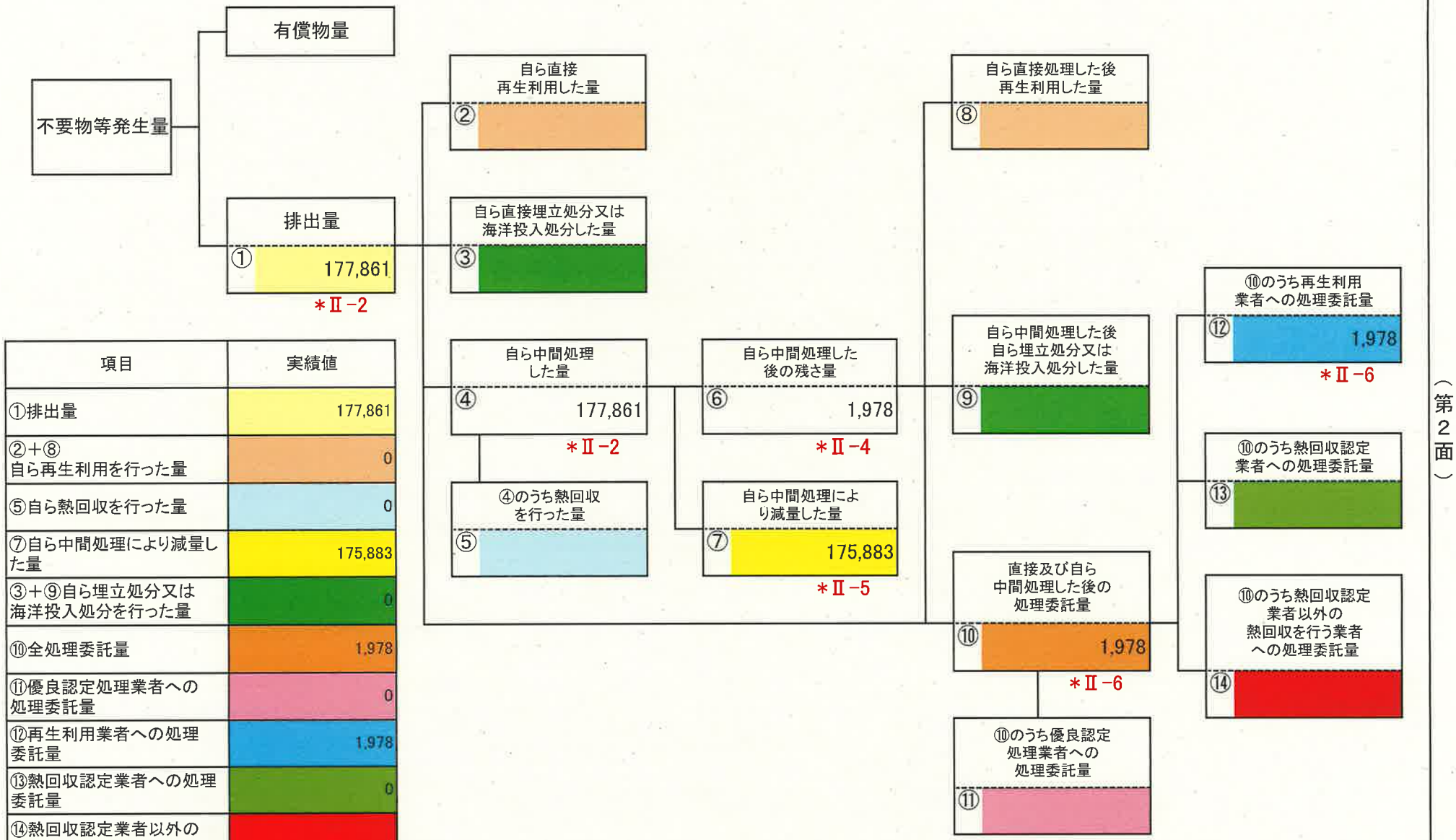
項目	目標値	項目	目標値
排出量	１８９，５３７　t	全処理委託量	t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	１，８００　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	１８７，７３７　t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄	

受付
－6.5.16
資源循環推進課

（日本工業規格　A列４番）

計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：汚泥　）



項目	実績値
①排出量	177,861
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	175,883
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1,978
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	1,978
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年　 6月 18日

長崎県知事　　大石　賢吾　殿

提出者　〒850-8685
住　所　長崎市魚の町4-1
氏　名　長崎市上下水道事業管理者
　　上下水道局長　片江　伸一郎
(担当：浄水課浄水施設係 TEL 095-829-1213)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、令和 5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	道ノ尾浄水場
事業場の所在地	西彼杵郡長与町高田郷38番地
事業の種類	水道事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年　4月　～　令和6年　3月

産業廃棄物処理計画における目標値

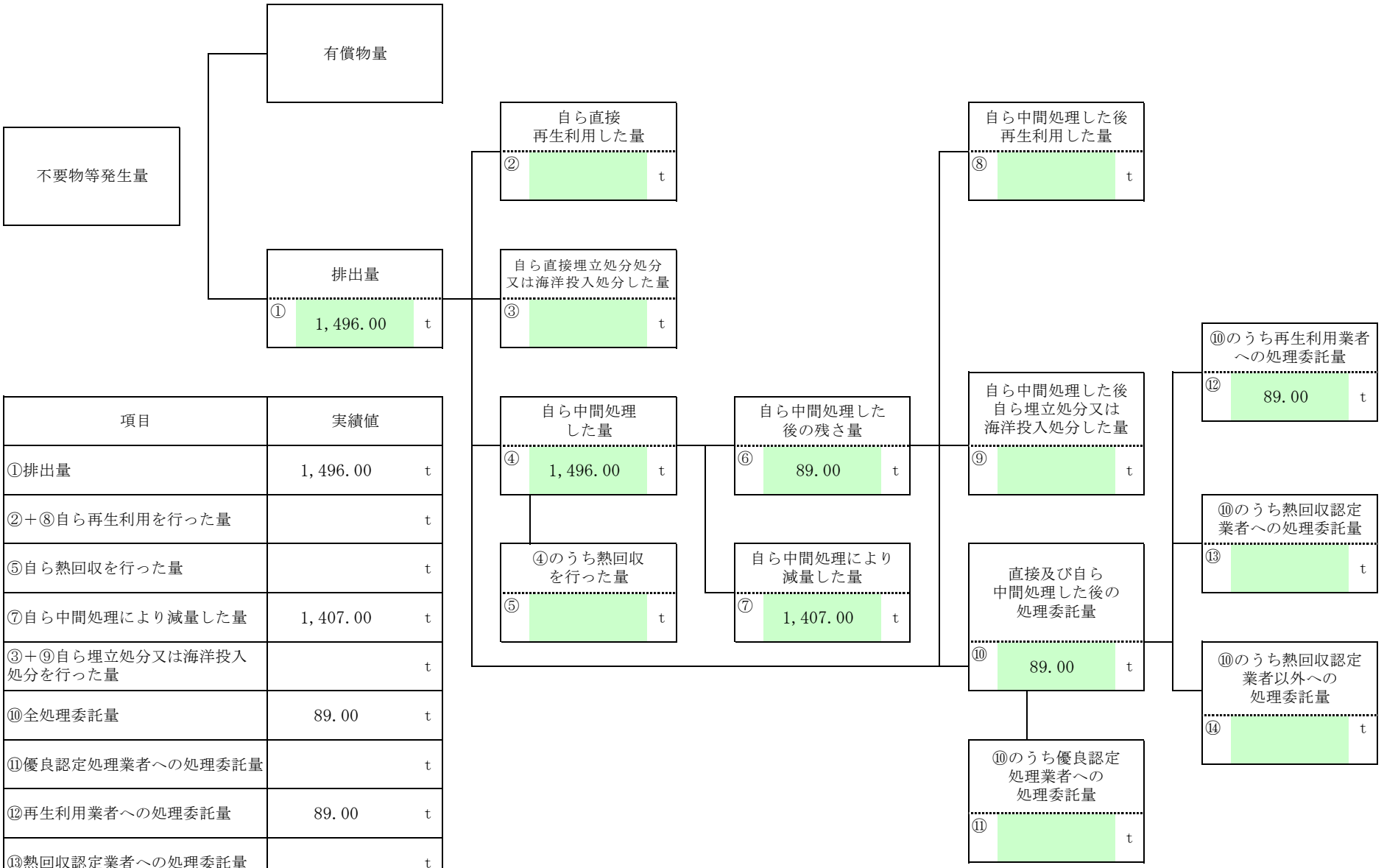
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,580ｔ	全処理委託量	90ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0ｔ	再生利用業者への処理委託量	90ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1,490ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

※事務処理欄	

(日本工業規格　A列４番)

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：汚泥（浄水））



項目	実績値
①排出量	1,496.00 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	1,407.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	89.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	t
⑫再生利用業者への処理委託量	89.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

（第２面）

備考

１　翌年度の6月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

【添付資料】

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

（第　1　面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和　6年　6月　28日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者

住所　長崎市玉園町2番37号

氏名　株式会社長崎西部建設

代表取締役　岩本　隆宏

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号　095-822-8501

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和５年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社　長崎西部建設
事業場の所在地	長崎市　玉園町2番37号
事業の種類	06　総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

受付 -6.6.28 資源循環推進課

産業廃棄物処理計画における目標値

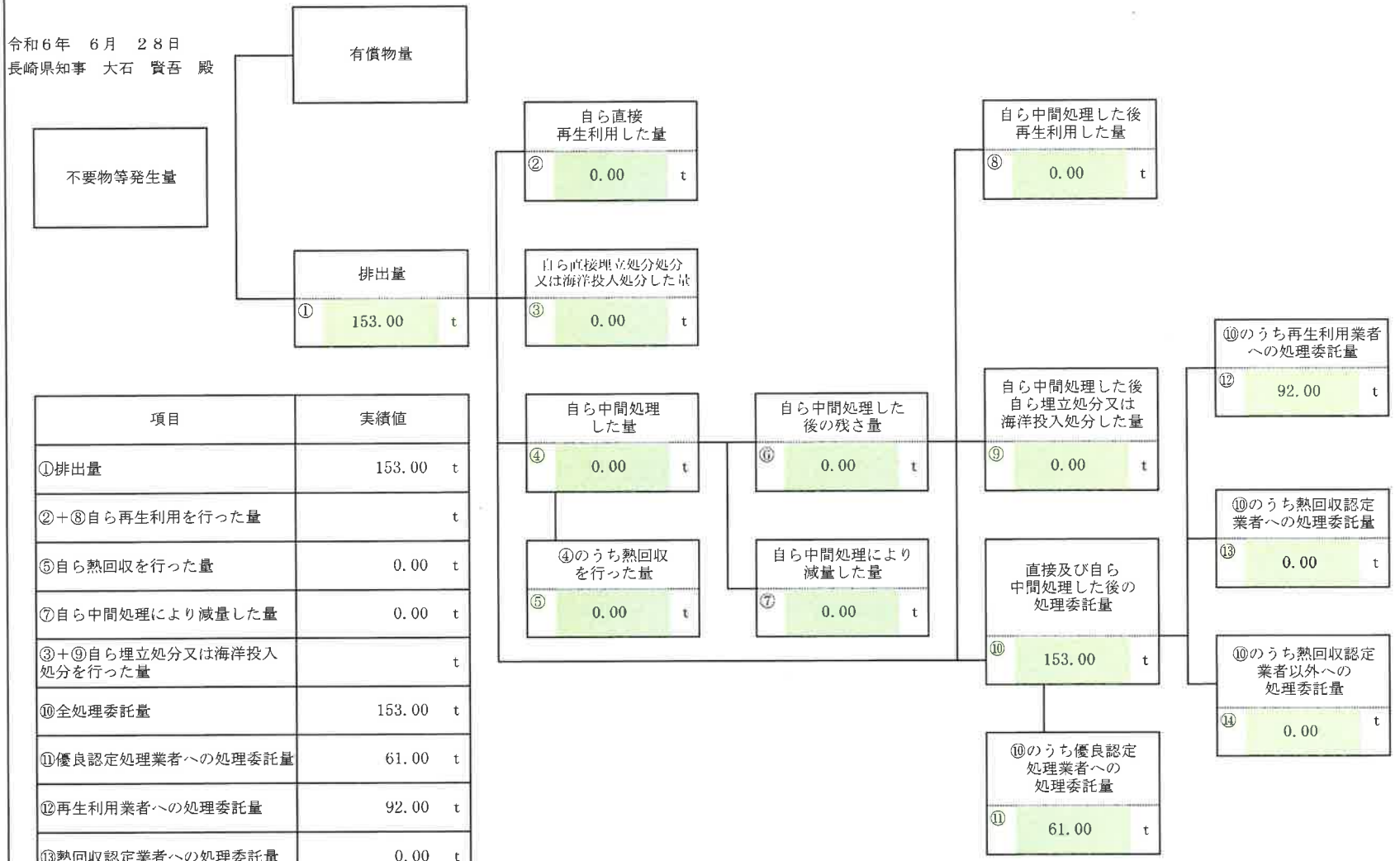
項目	目標値	項目	目標値
排出量	336.9t	全処理委託量	336.9t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	61.0t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	336.9t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄	

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：コンクリート塊）

令和６年　６月　２８日
長崎県知事　大石　賢吾　殿



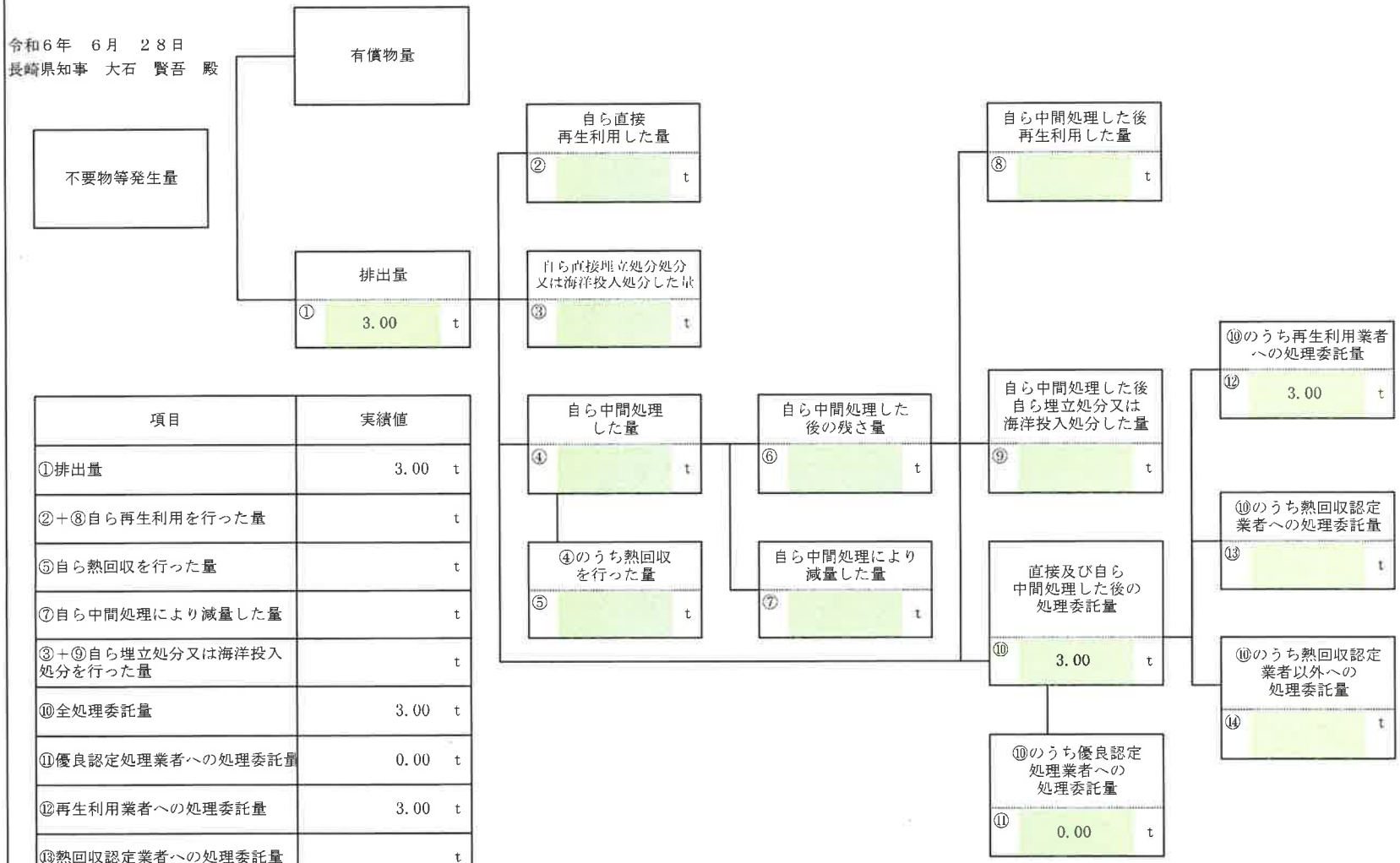
項目	実績値
①排出量	153.00 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	153.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	61.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	92.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：アスファルト塊）

令和６年　６月　２８日
長崎県知事　大石　賢吾　殿



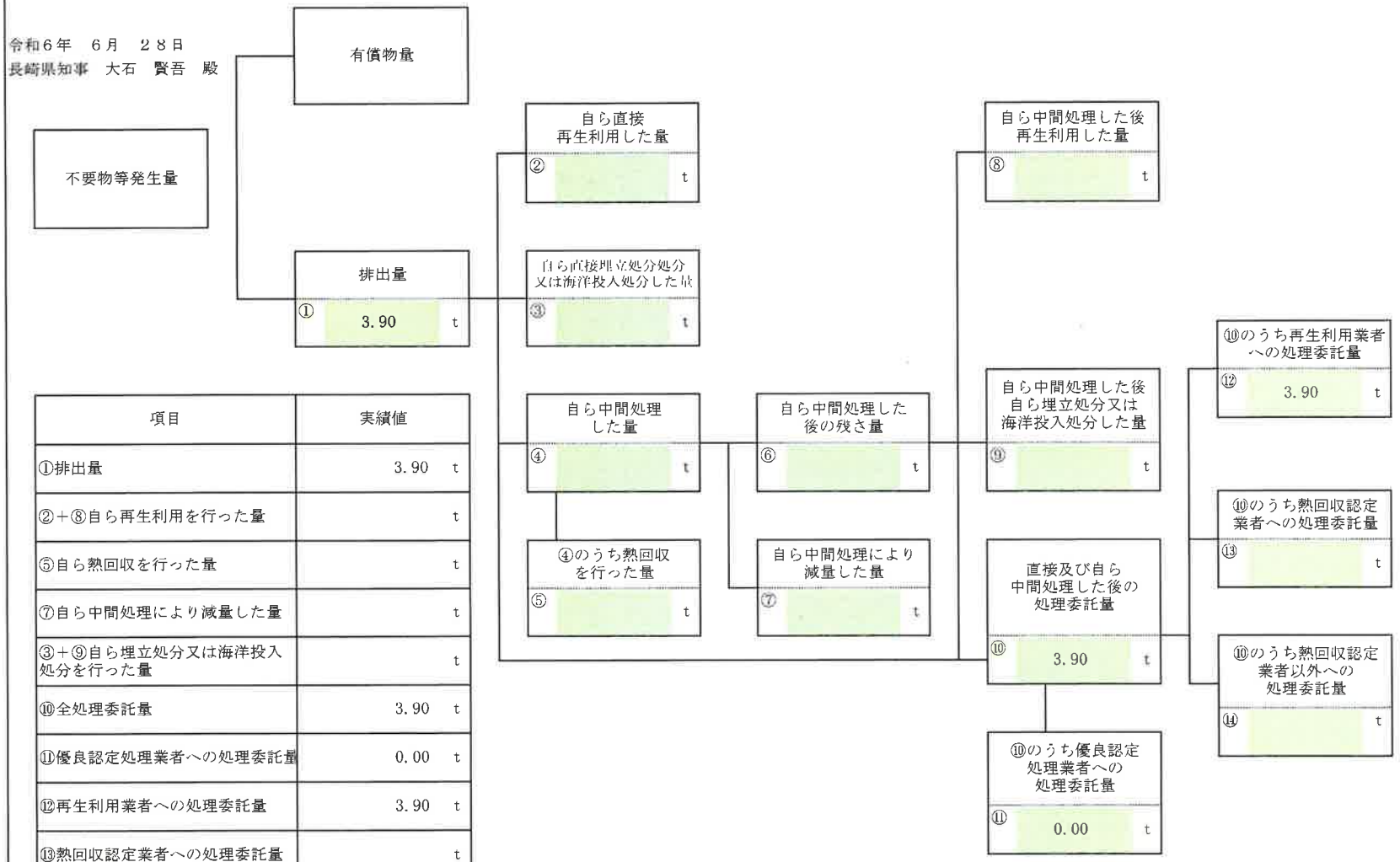
項目	実績値
①排出量	3.00 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	3.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：ガラス・陶磁器くず）

令和６年　６月　２８日
長崎県知事　大石　賢吾　殿



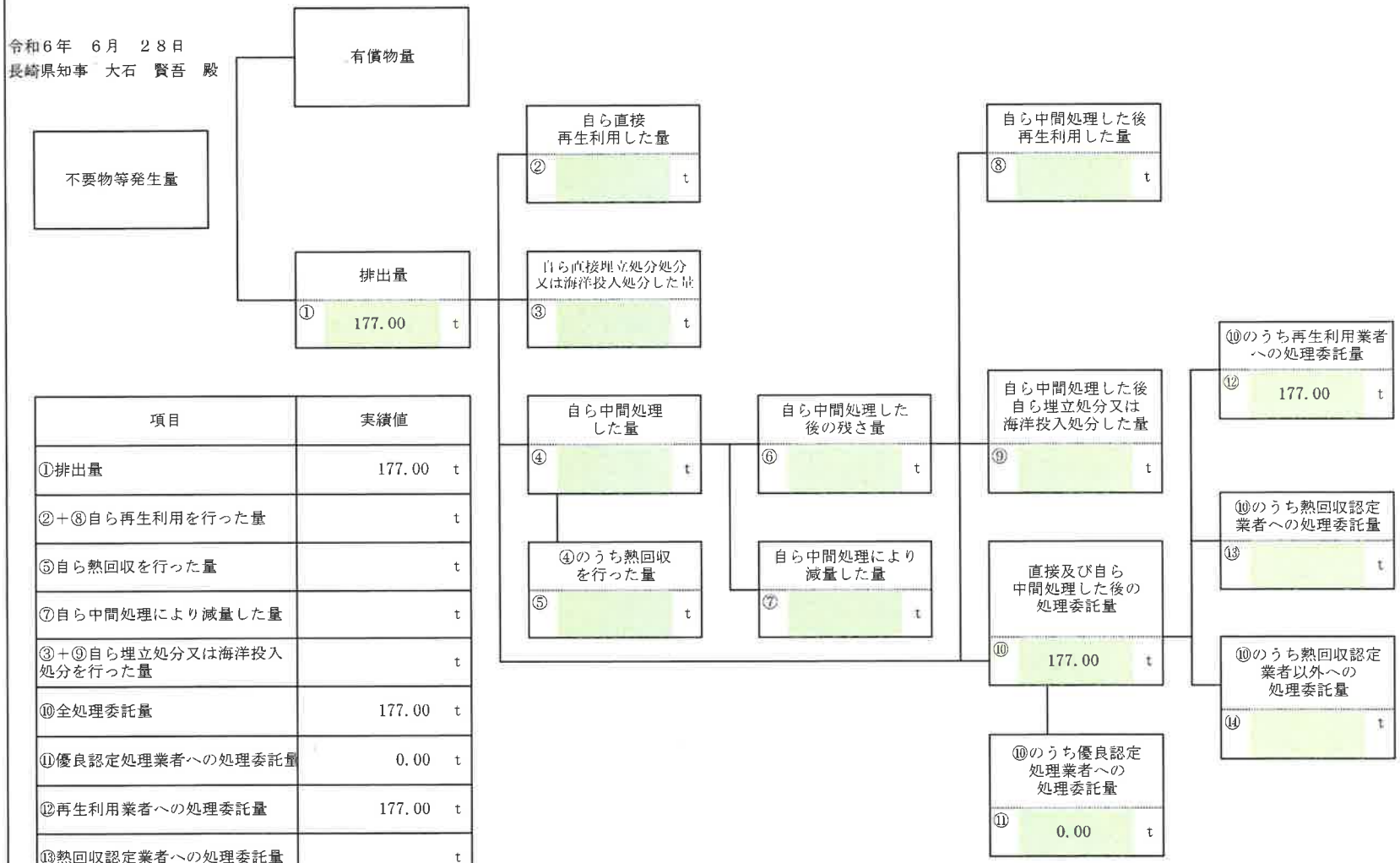
項目	実績値
①排出量	3.90 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	3.90 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	3.90 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

（第２面）

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類：建設木材）

令和６年　６月　２８日
長崎県知事　大石　賢吾　殿



項目	実績値
①排出量	177.00 t
②＋⑧自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	177.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	177.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

（第２面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

２０２４年　４月２６日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　長崎市戸町五丁目6412番地2
氏　名　長崎中央生コン株式会社
代表取締役　野口 伸
電話番号　０９５－８９８－４０６１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和４年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	**長崎中央生コン株式会社　諫早工場**
事業場の所在地	**諫早市津久葉町5番地143**
事業の種類	**21　窯業・土石製品製造業**
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日

産業廃棄物処理計画における目標値

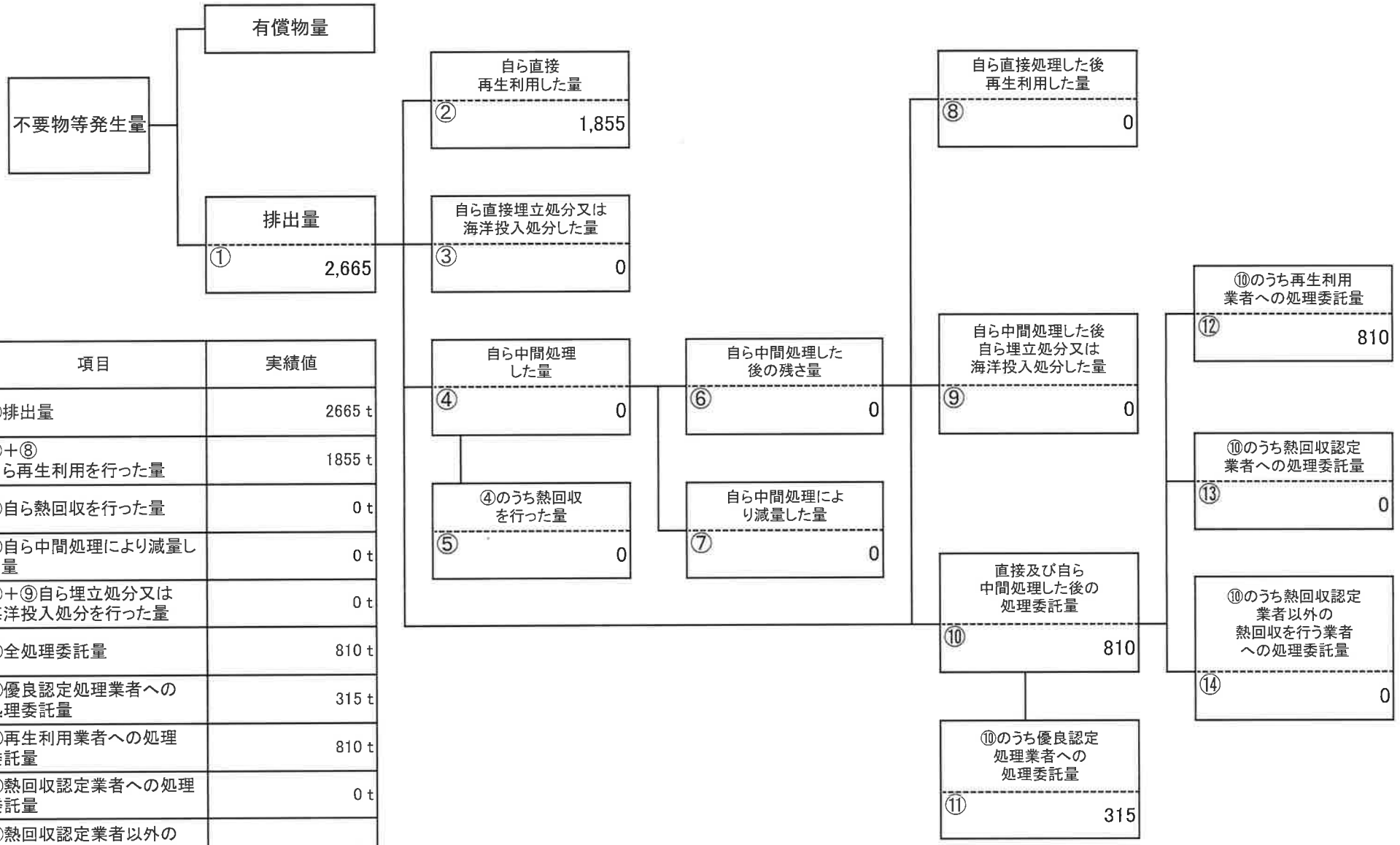
項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,510 t	全処理委託量	1,510 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2,000 t	優良認定処理業者への処理委託量	500 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1010 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄	

（日本産業規格　A列4

受付
-6.5.-2
資源循環推進課

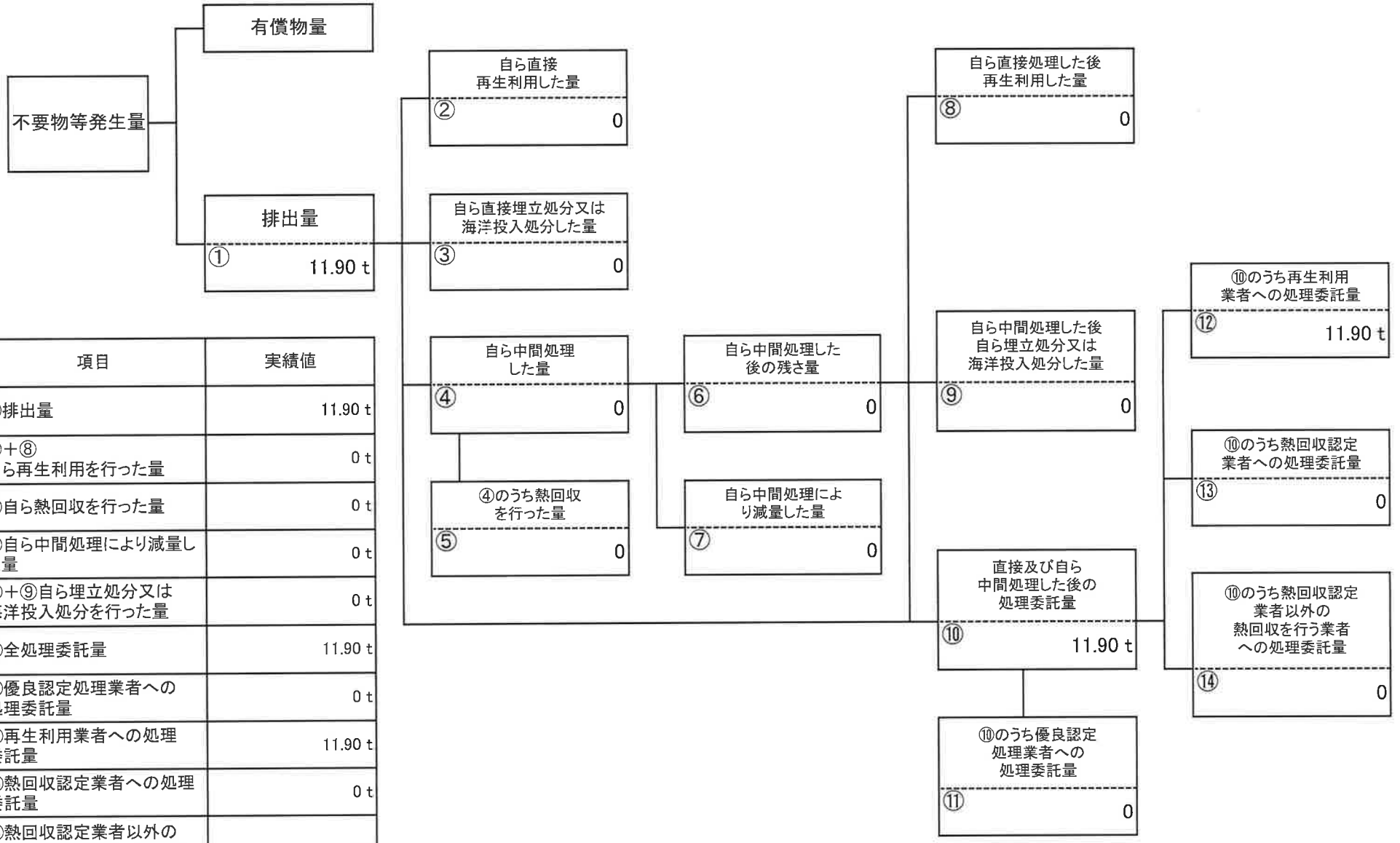
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　コンクリートくず　　）



項目	実績値
①排出量	2665 t
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	1855 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	810 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	315 t
⑫再生利用業者への処理委託量	810 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（第２面）

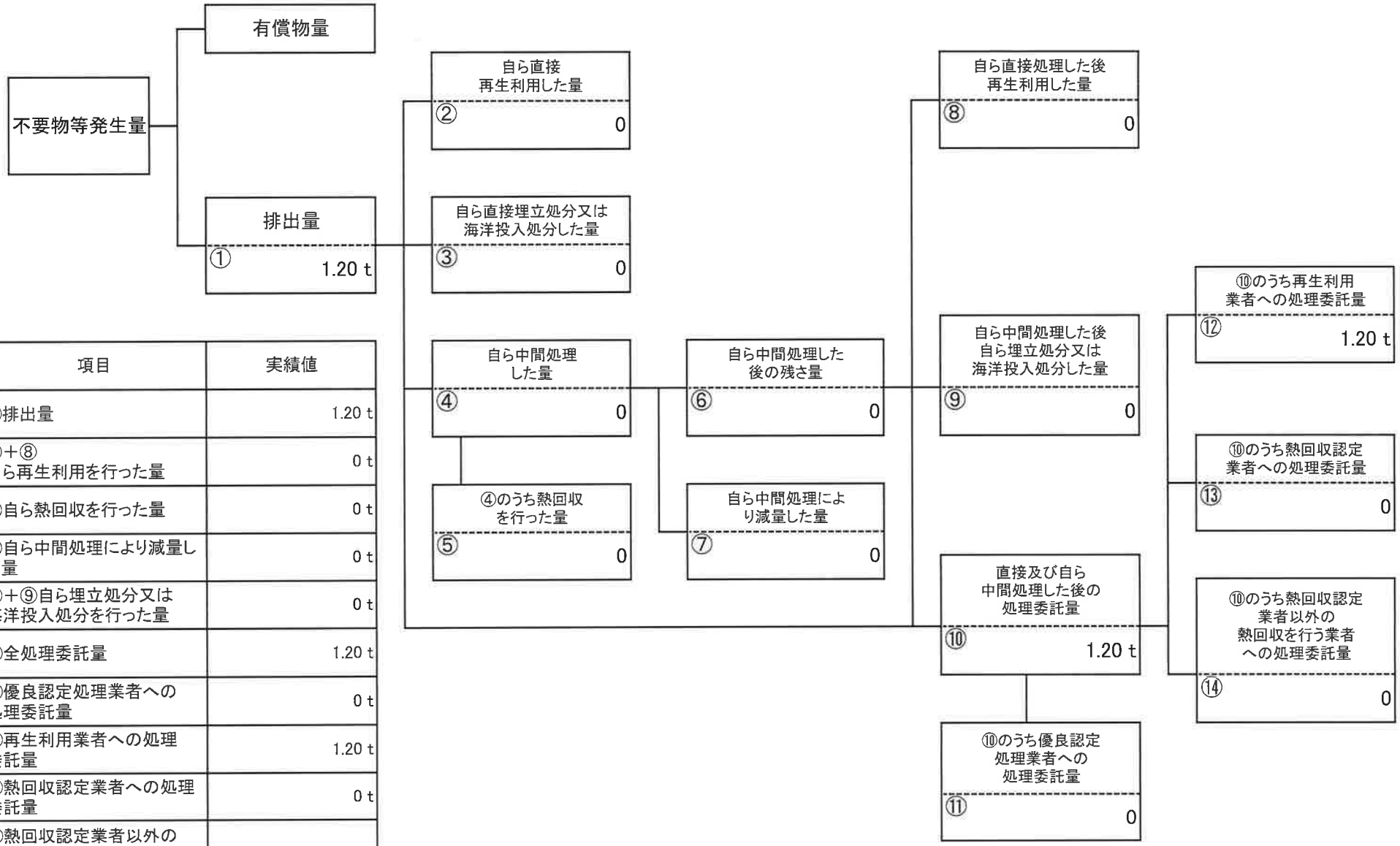
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　混合（安定型のみ）　）



項目	実績値
①排出量	11.90 t
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	11.90 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	11.90 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（第２面）

計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　木くず　）



項目	実績値
①排出量	1.20 t
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	1.20 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1.20 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

（第２面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年　5月　27日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者

住所 長崎県諫早市栄田町21-22

氏名 長崎ブロイラー産業株式会社

代表取締役　池松　和彦

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　0957－25－1400

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和５年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	長崎ブロイラー産業株式会社
事業場の所在地	長崎県諫早市栄田町21-22
事業の種類	09　食料品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日　～　令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

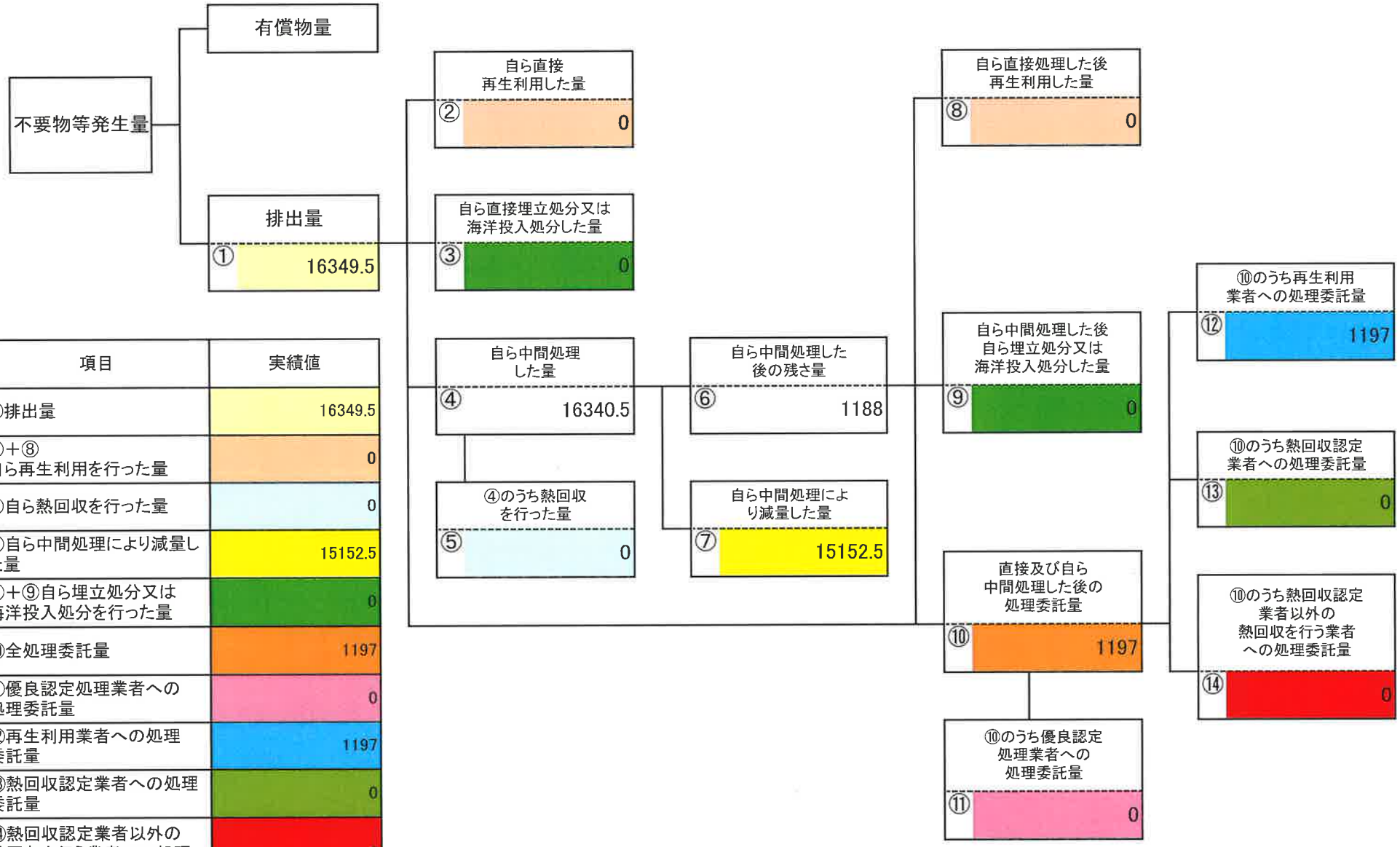
項目	目標値	項目	目標値
排出量	16115.5t	全処理委託量	2,115.5 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2,100 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	14,000 t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄	

（日本工業規格　Ａ列４番）

受付
-6.5.30
資源循環推進課

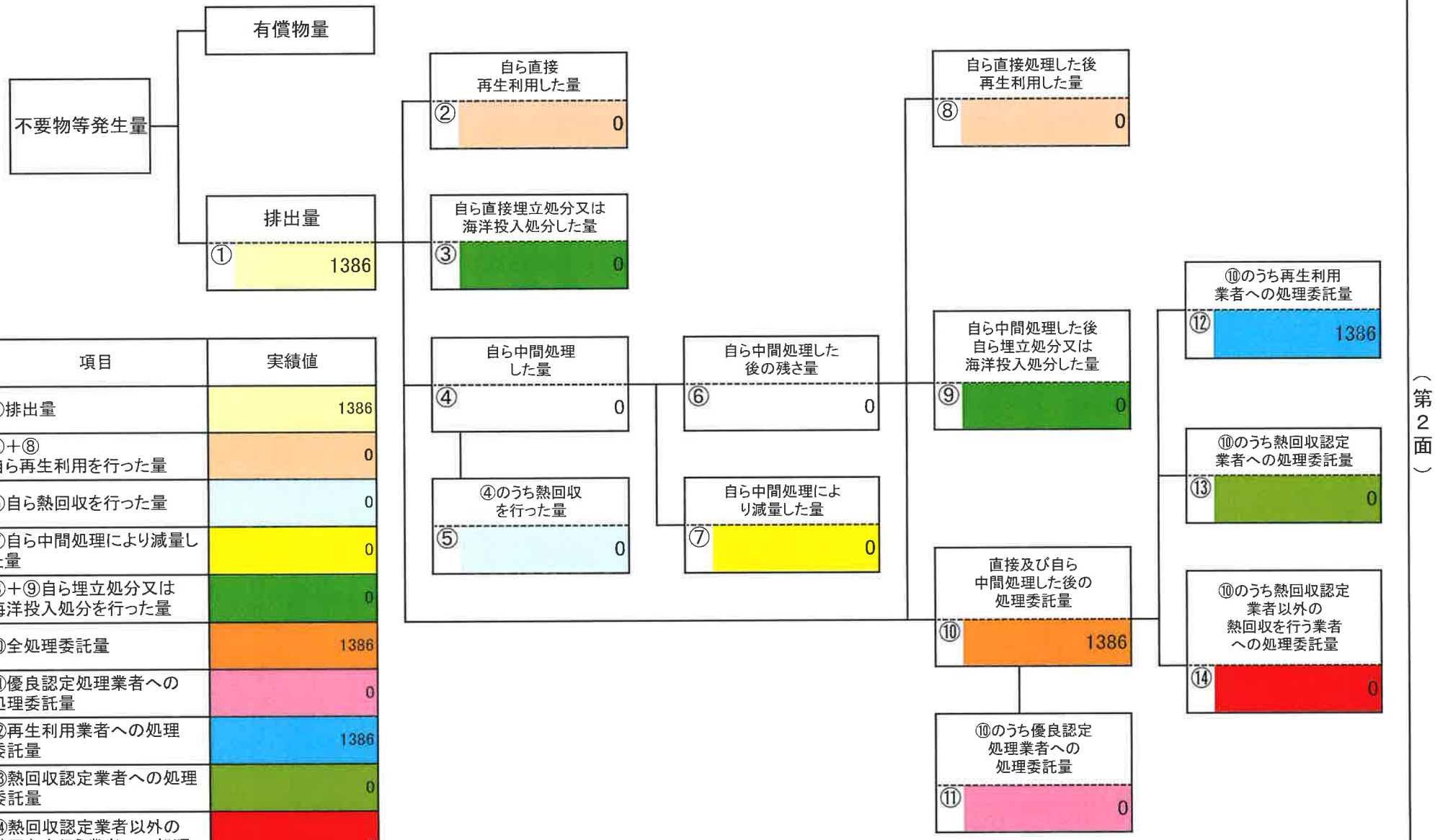
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　汚泥　）（単位：ｔ）



項目	実績値
①排出量	16349.5
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	15152.5
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1197
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	1197
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　廃アルカリ　）（単位：ｔ）

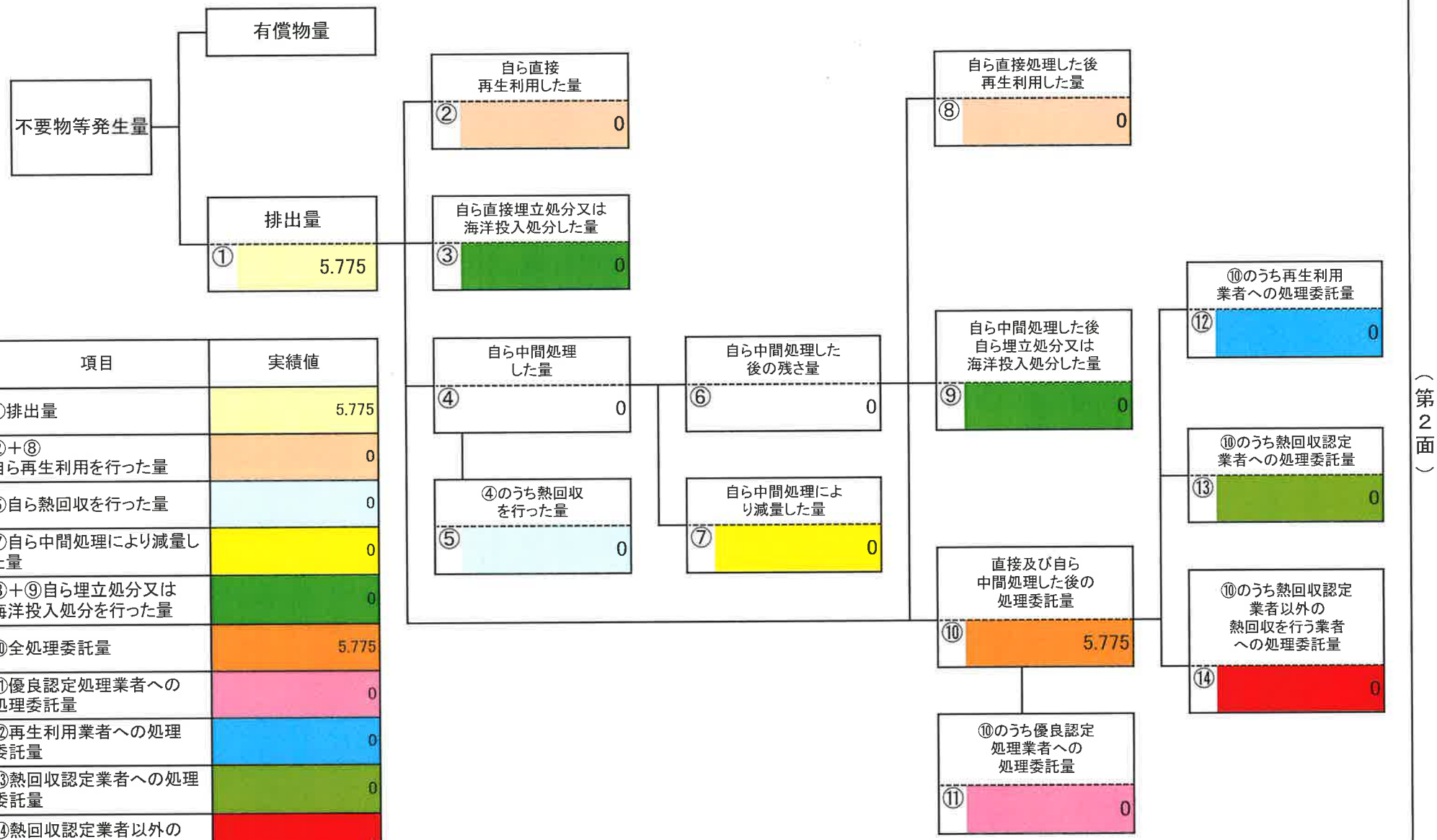


項目	実績値
①排出量	1386
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1386
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	1386
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況

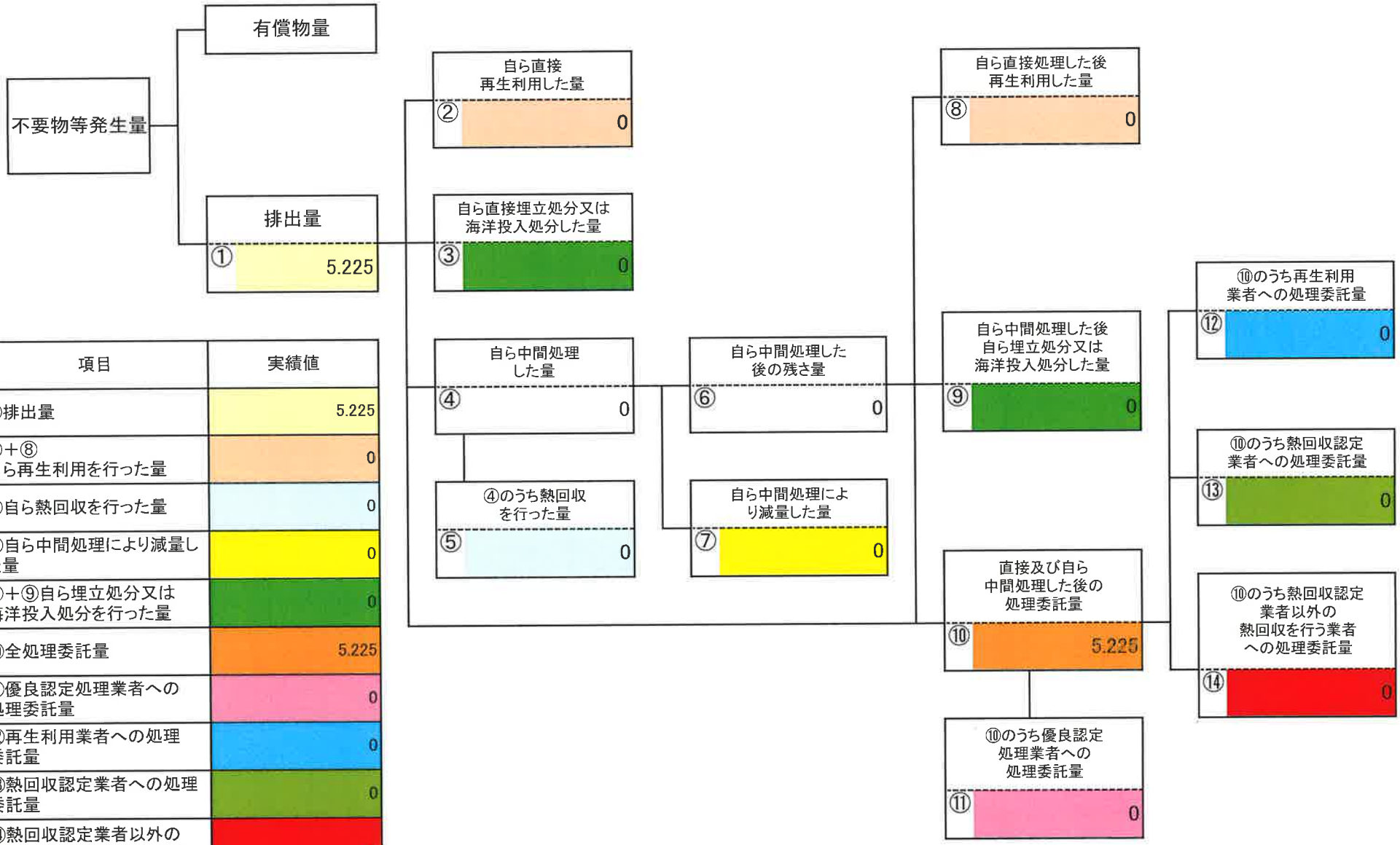
（ 産業廃棄物の種類： 廃プラスチック ）（単位：ｔ）



項目	実績値
①排出量	5.775
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	5.775
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　木くず　）（単位：t）

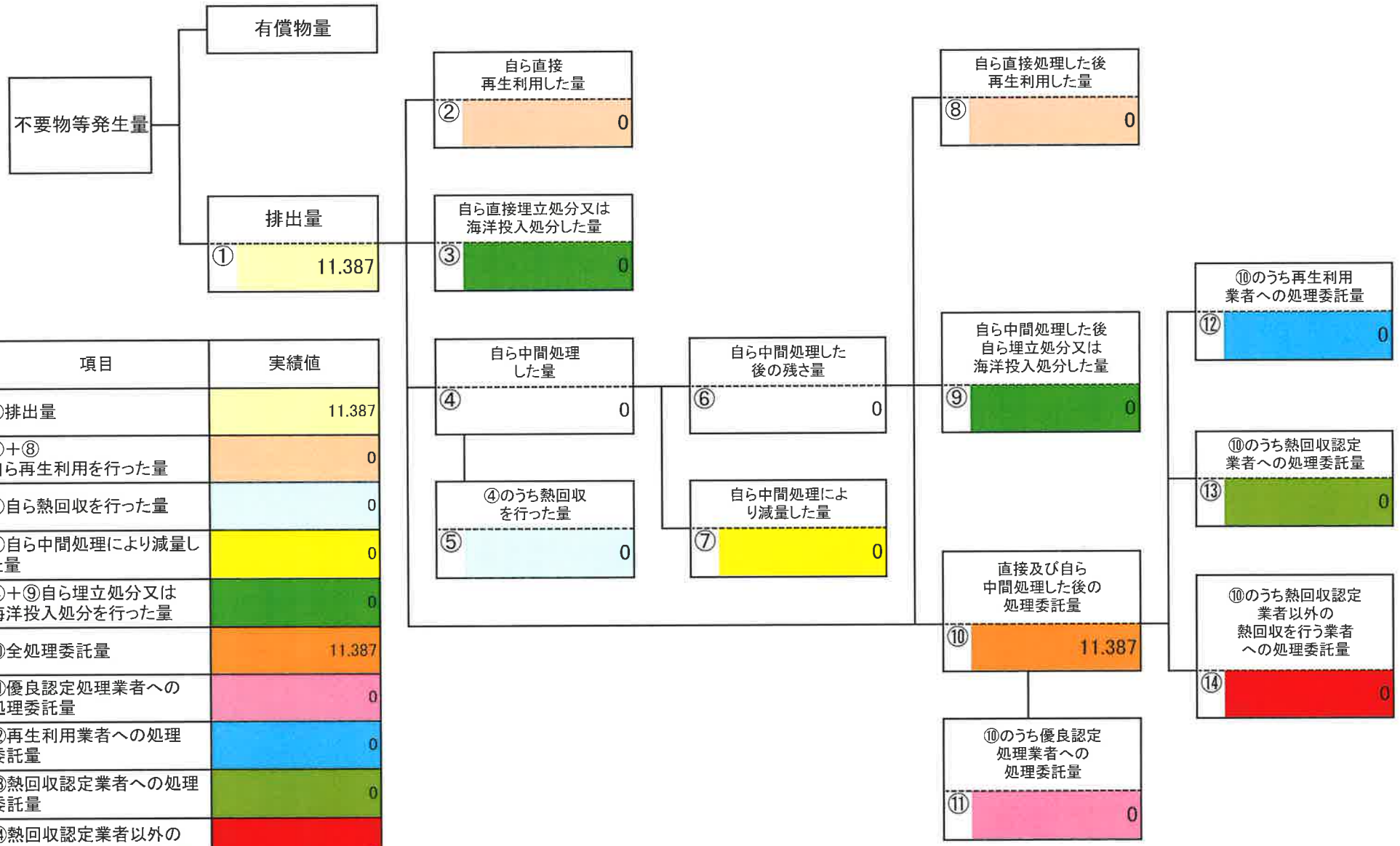


項目	実績値
①排出量	5.225
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	5.225
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況

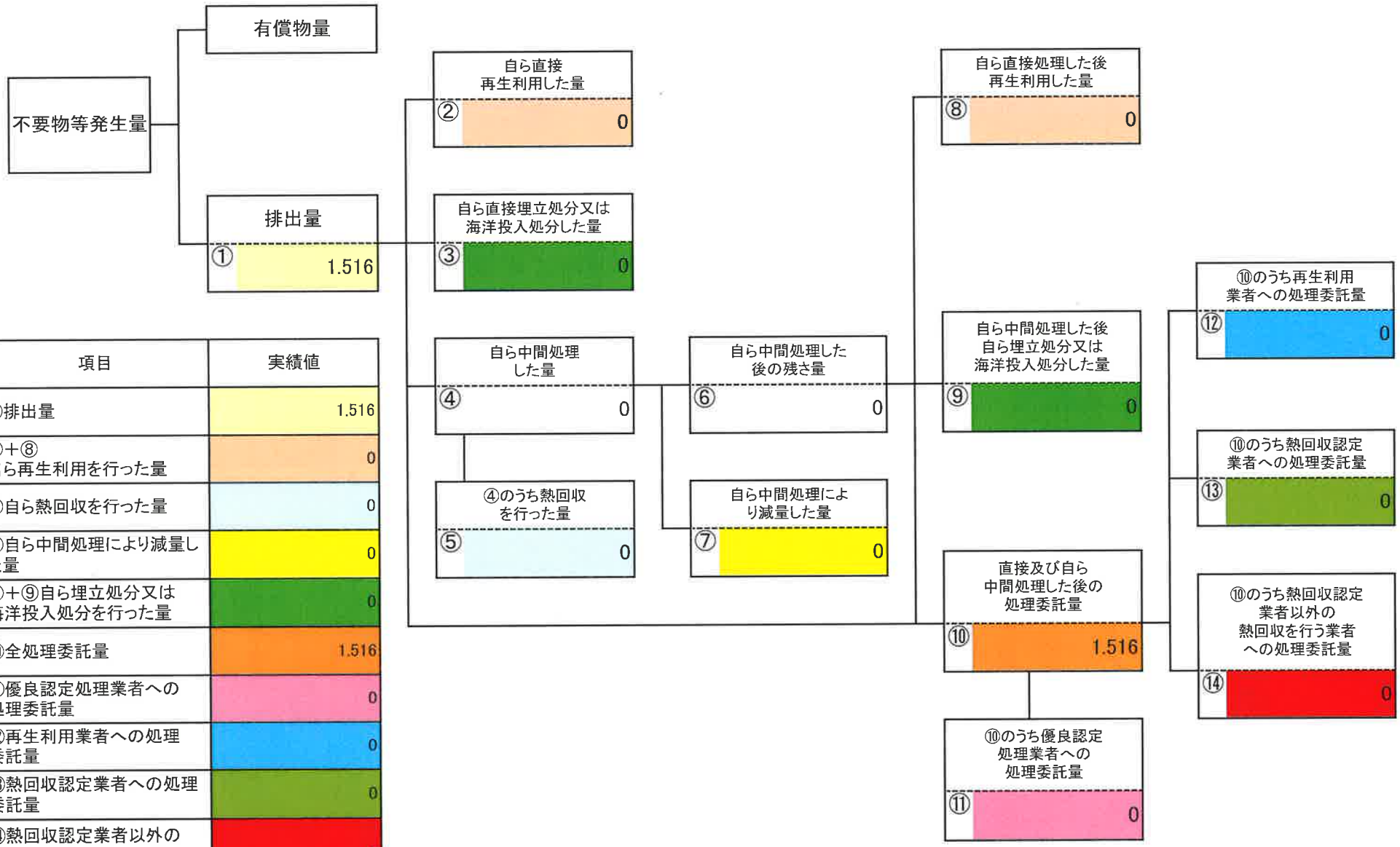
（ 産業廃棄物の種類： 金属くず ）（単位：ｔ）



項目	実績値
①排出量	11.387
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	11.387
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず　）（単位：ｔ）

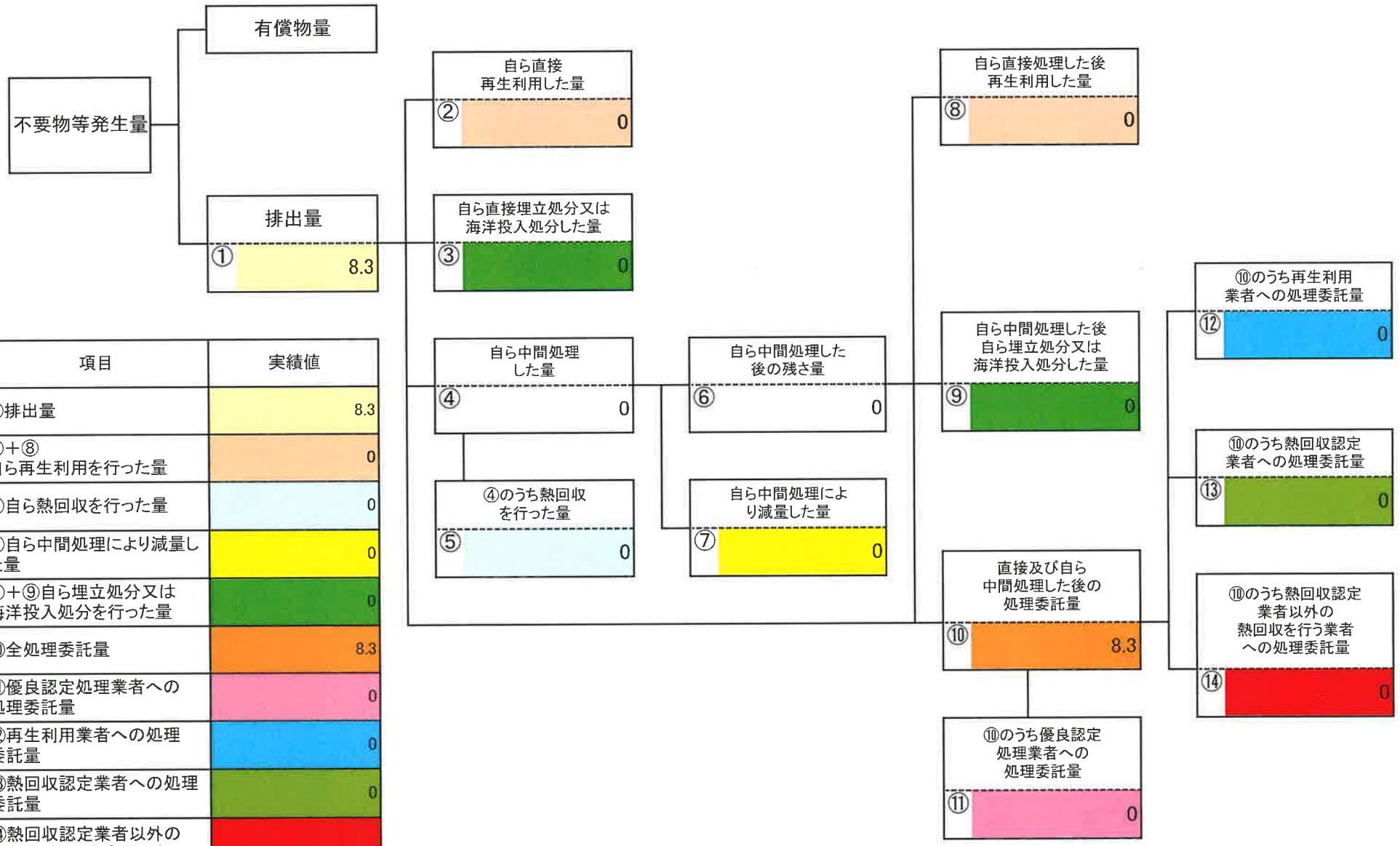


項目	実績値
①排出量	1.516
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.516
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況

（　産業廃棄物の種類：　動植物性残さ　）（単位：ｔ）



項目	実績値
①排出量	8.3
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	8.3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年　6月　19日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　大村市富の原1丁目1557番地1
氏　名　㈱ニチレイフーズ　長崎工場
工場長　岩田　欣也
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0957-55-8685

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和４年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

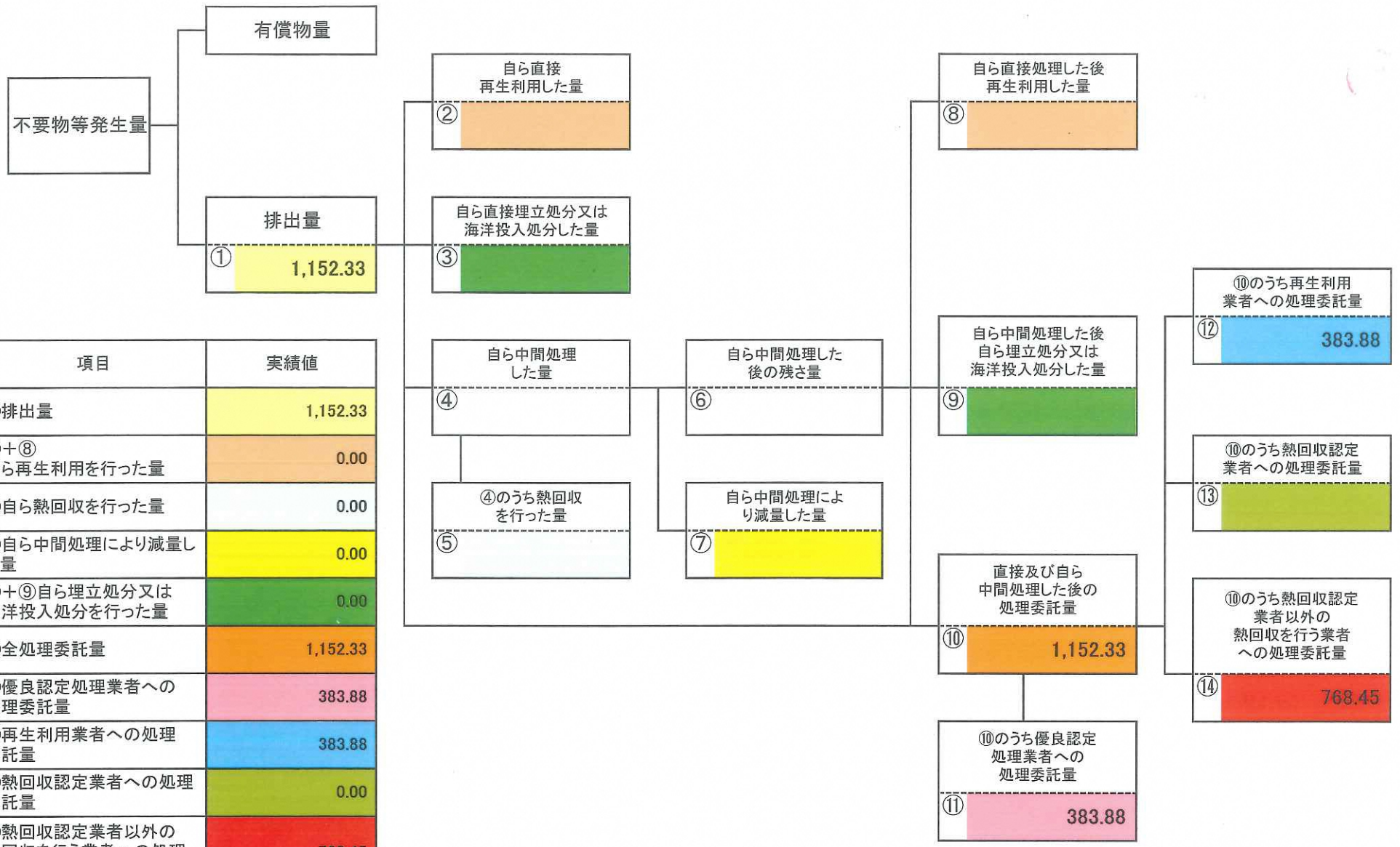
事業場の名称	㈱ニチレイフーズ　長崎工場
事業場の所在地	大村市富の原1丁目1557番地1
事業の種類	冷凍調理食品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年4月　～　2024年3月（１年間）

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	別紙のとおり　t	全処理委託量	別紙のとおり　t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	―　t	優良認定処理業者への処理委託量	―　t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	―　t	再生利用業者への処理委託量	―　t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	―　t	認定熱回収業者への処理委託量	―　t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	―　t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	―　t
※事務処理欄			

（日本産業規格　A列４番）

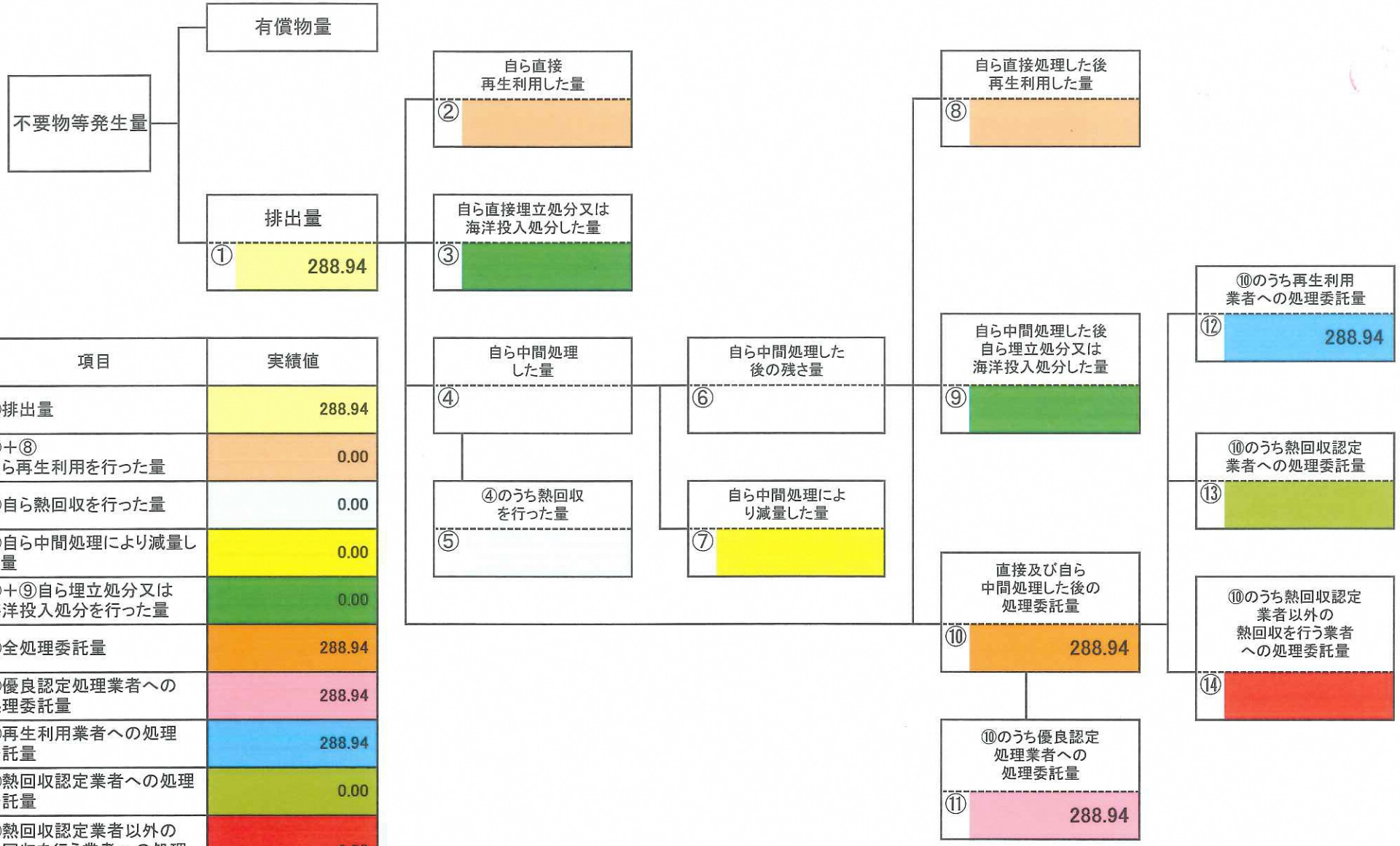
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　動植物性残さ　）



項目	実績値
①排出量	1,152.33
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1,152.33
⑪優良認定処理業者への処理委託量	383.88
⑫再生利用業者への処理委託量	383.88
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	768.45

（第２面）

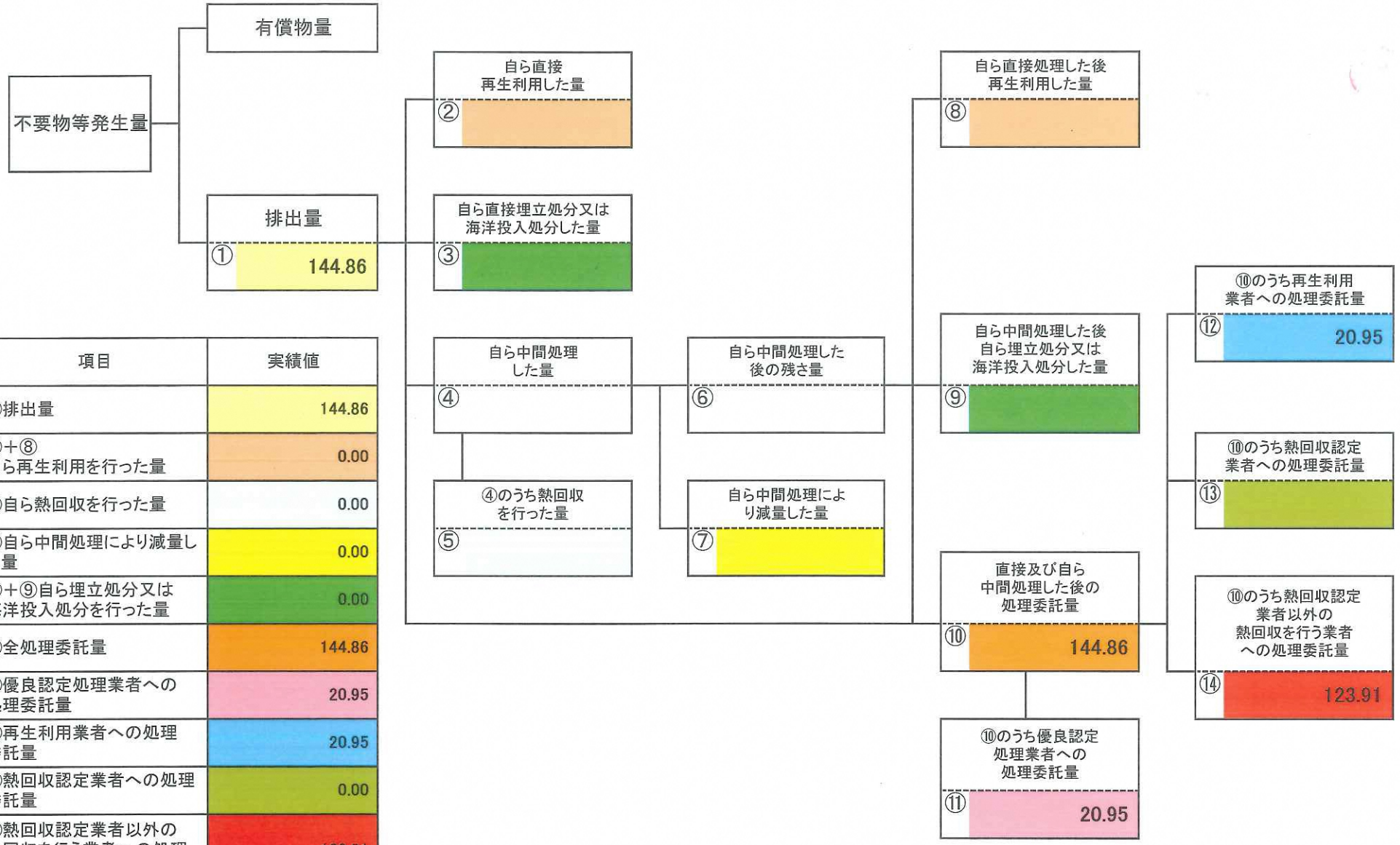
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　汚泥　）



項目	実績値
①排出量	288.94
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	288.94
⑪優良認定処理業者への処理委託量	288.94
⑫再生利用業者への処理委託量	288.94
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

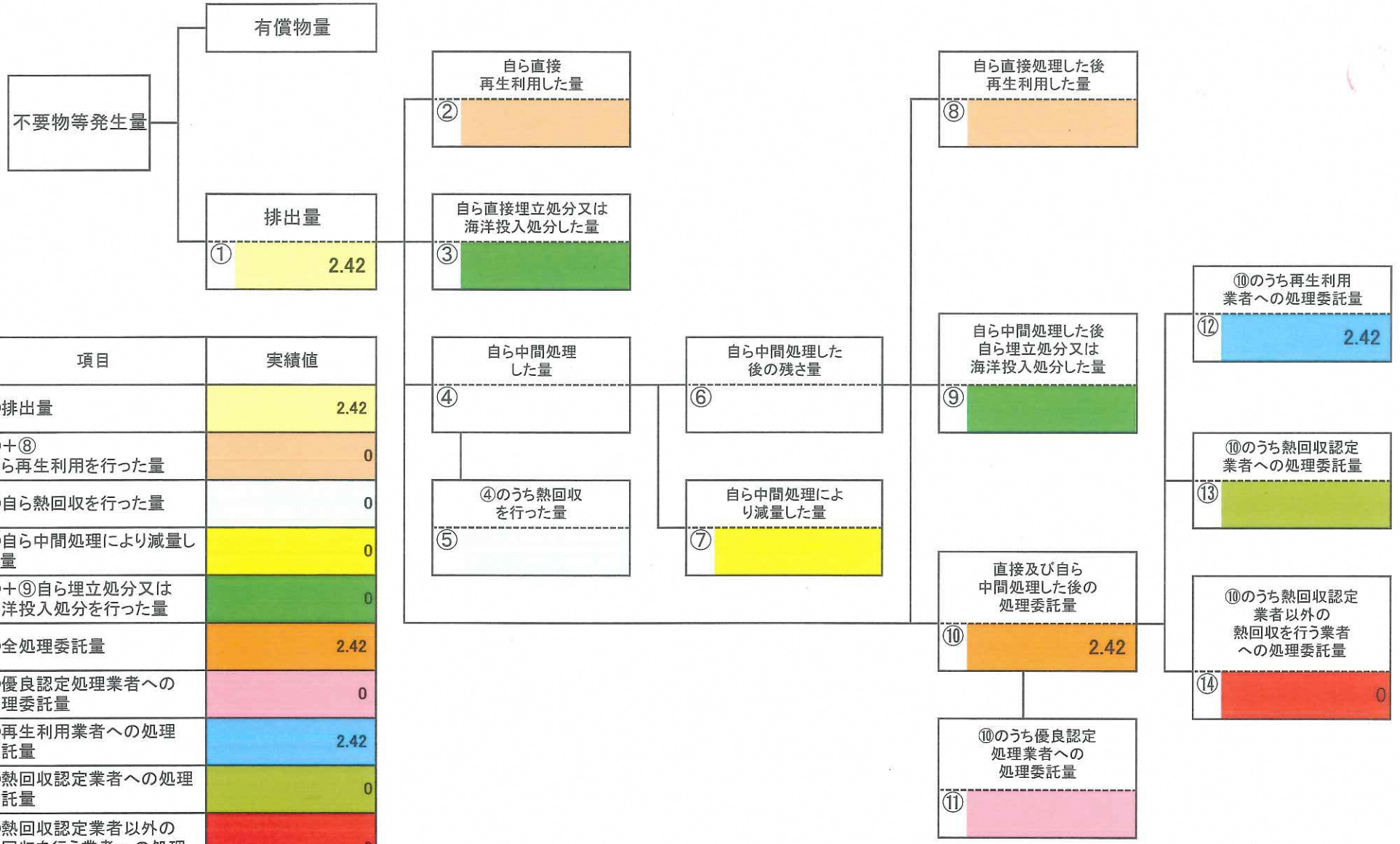
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　廃プラスチック類　　）



項目	実績値
①排出量	144.86
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	144.86
⑪優良認定処理業者への処理委託量	20.95
⑫再生利用業者への処理委託量	20.95
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	123.91

（第2面）

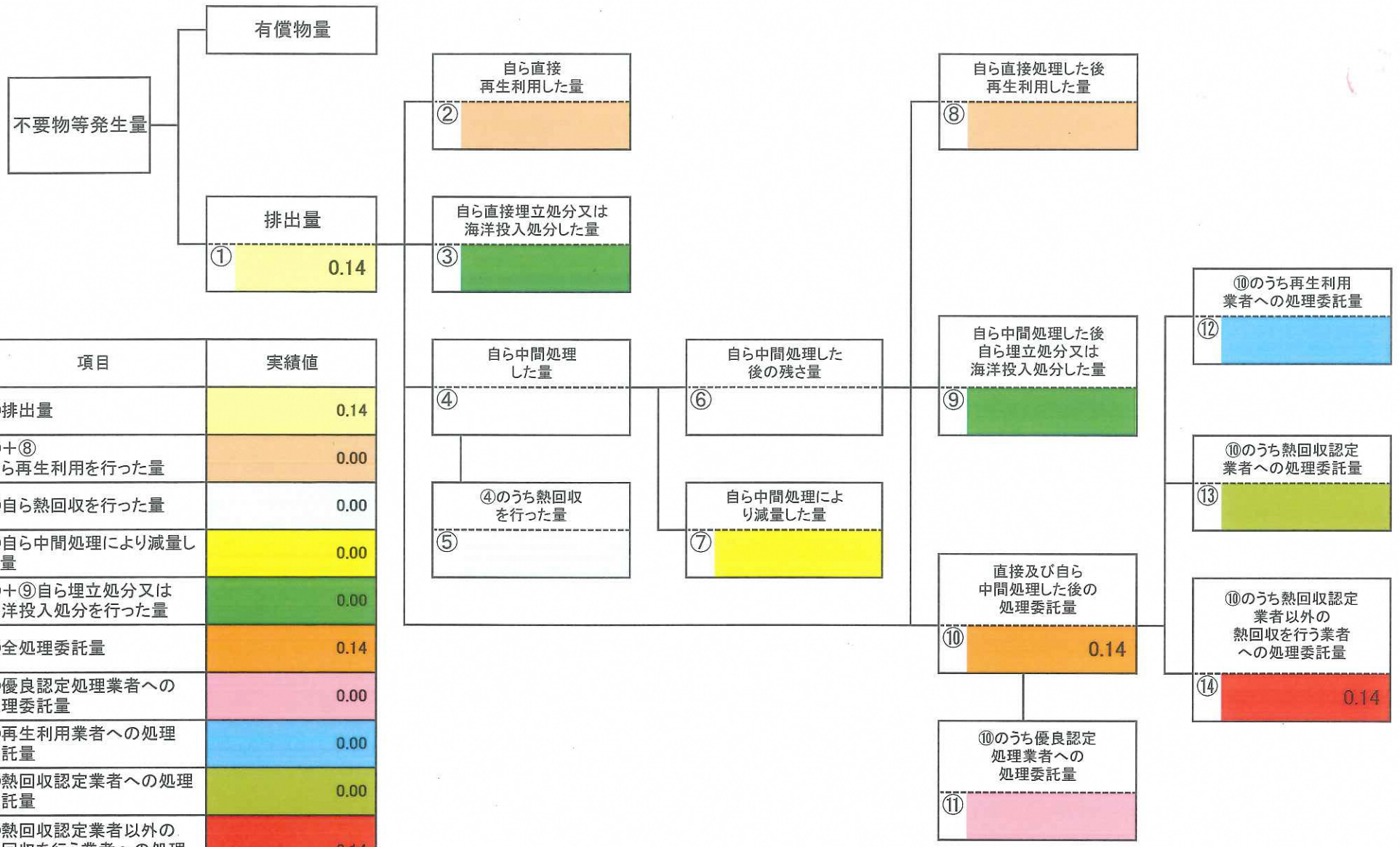
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　混合廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	2.42
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2.42
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	2.42
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　廃油　）



項目	実績値
①排出量	0.14
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	0.14
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	0.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.14

（第２面）

備考

1　翌年度の６月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙

産業廃棄物処理計画実施状況報告書内訳　前年度実績(2023年度)

(単位:トン)

産業廃棄物の種類	2023年度 目標排出量	① 排出量	② 自ら直接再生利用した量	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④ 自ら中間処理した量	⑤ ④のうち熱回収を行った量	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
動植物性残さ	1389.44	1152.33	0	0	0	0	0	0	0	0	1,152.33	0	383.88	0	768.45
汚泥	316.37	288.94	0	0	0	0	0	0	0	0	288.94	0	288.94	0	0
廃プラスチック類	96.88	144.86	0	0	0	0	0	0	0	0	144.86	0	20.95	0	123.91
混合廃棄物	0.00	2.42	0	0	0	0	0	0	0	0	2.420	0	2.42	0	0
廃油	0.45	0.14	0	0	0	0	0	0	0	0	0.14	0	0	0	0.14
合　計	1,790.11	1,588.69	0	0	0	0	0	0	0	0	1,588.69	0	696.19	0	892.50

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和　6年　6月　21日

長崎県知事　　大石 賢吾　殿

提出者
住　所　長崎県諫早市船越町７００
氏　名　日本ハム株式会社　諫早プラント
工場長　　金山　幸子
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　０９５７－２２－１３４６

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和５年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

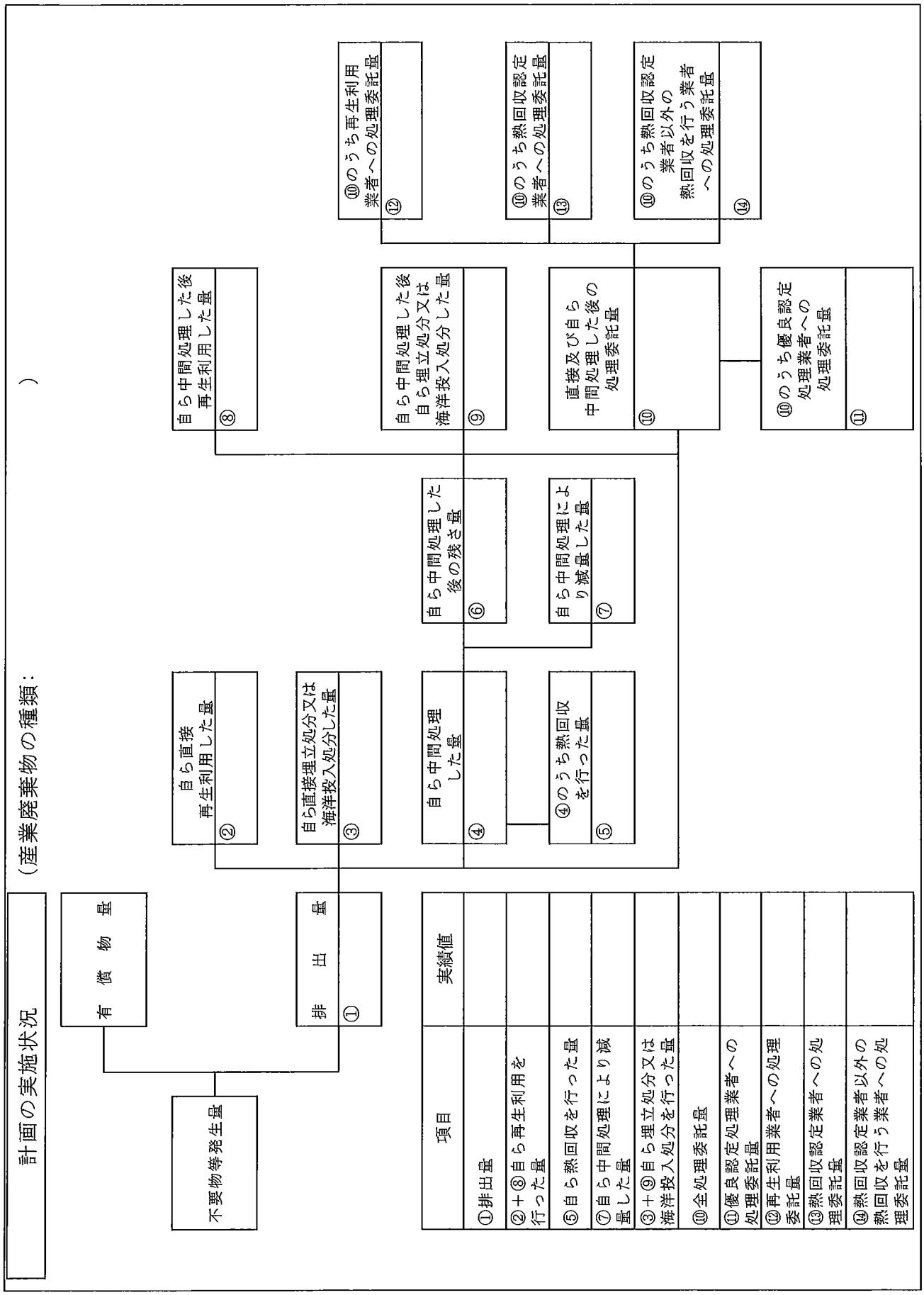
事業場の名称	日本ハム株式会社　諫早プラント
事業場の所在地	長崎県諫早市船越町７００
事業の種類	食料品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,169ｔ	全処理委託量	3,169ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	265ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0ｔ	再生利用業者への処理委託量	3,042ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	82ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2,795ｔ

※事務処理欄	

（日本産業規格　A列４番）


計画の実施状況
（産業廃棄物の種類：　　）
不要物等発生量
有償物量
排出量 ①
自ら直接再生利用した量 ②
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③
自ら中間処理した量 ④
④のうち熱回収を行った量 ⑤
自ら中間処理した後の残さ量 ⑥
自ら中間処理により減量した量 ⑦
自ら中間処理した後再生利用した量 ⑧
自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑨
直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 ⑩
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪
⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量 ⑬
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭
項目
実績値
①排出量
②＋⑧自ら再生利用を行った量
⑤自ら熱回収を行った量
⑦自ら中間処理により減量した量
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
⑩全処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量
⑫再生利用業者への処理委託量
⑬熱回収認定業者への処理委託量
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

備考

１　翌年度の６月３０日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

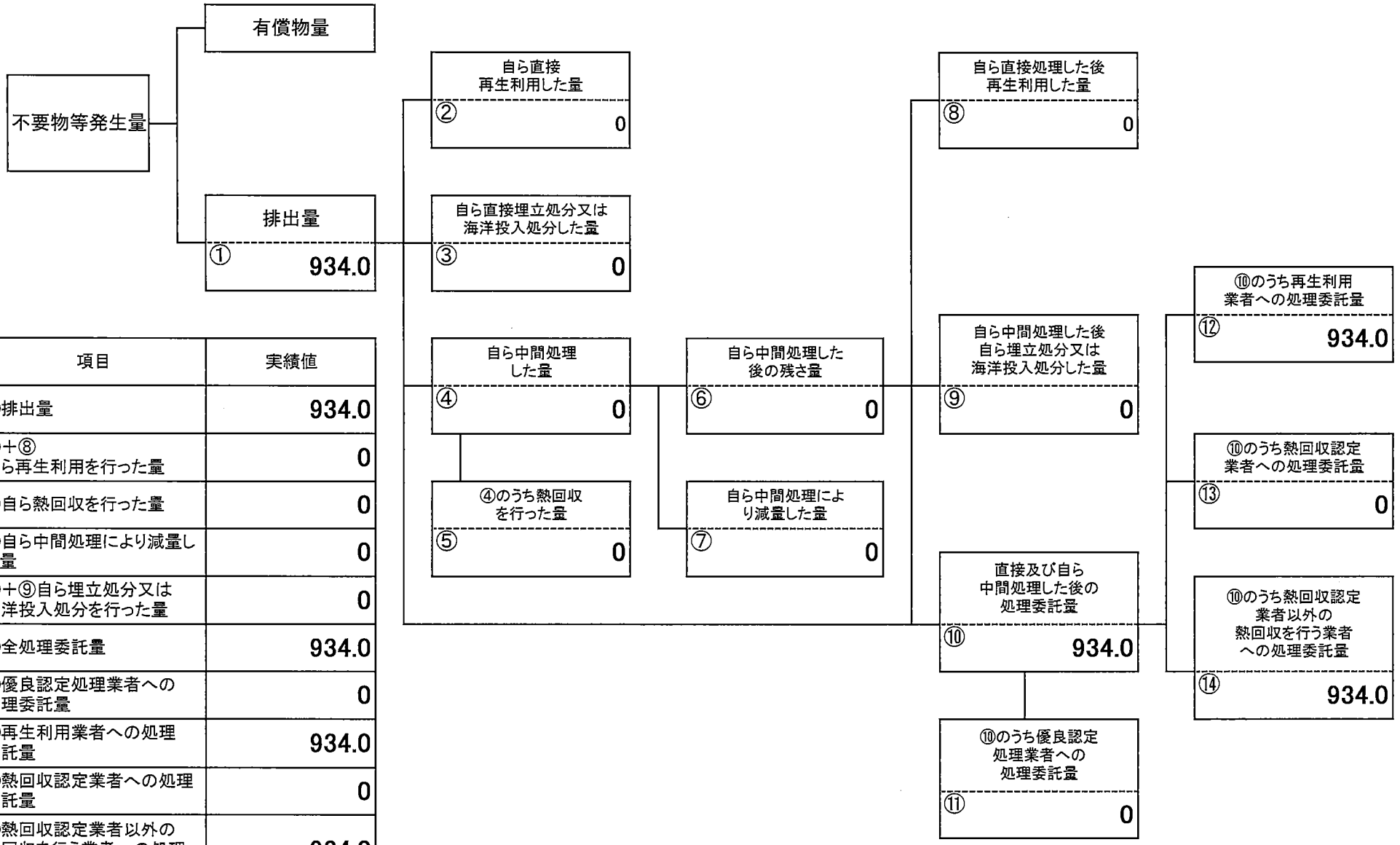
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

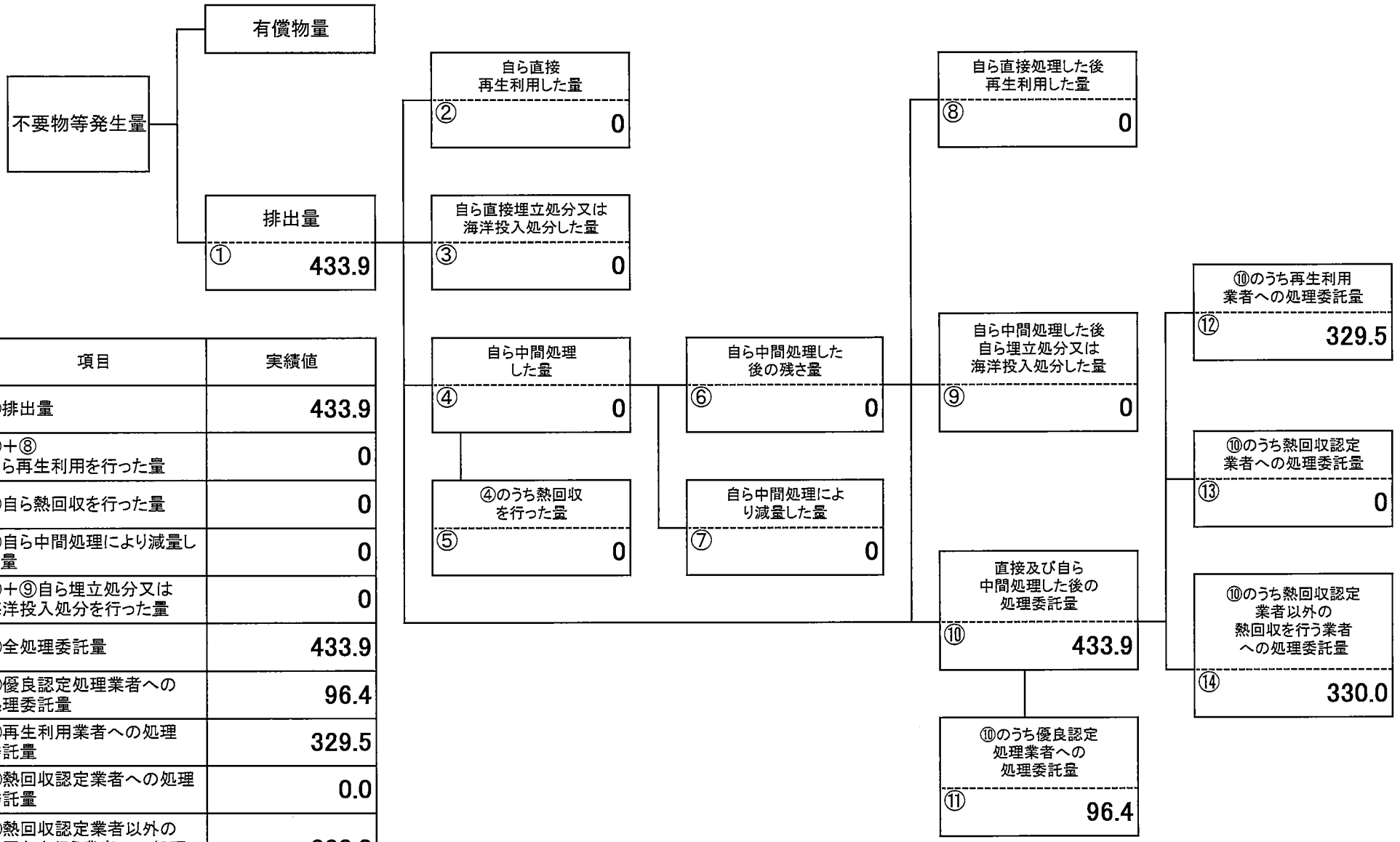
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　動植物性残渣　　）



項目	実績値
①排出量	934.0
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	934.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	934.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	934.0

（第２面）

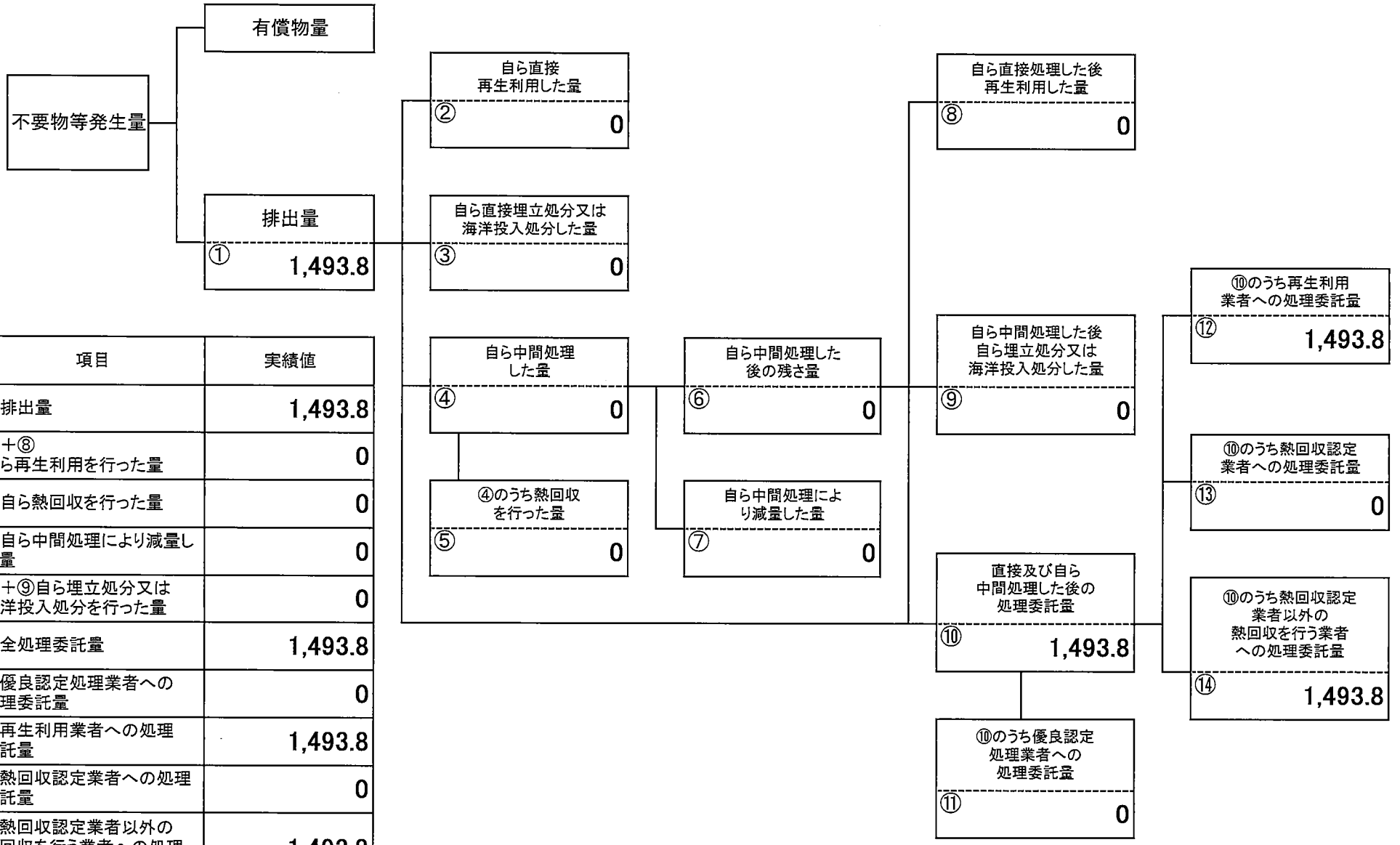
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　廃プラスチック　　）



項目	実績値
①排出量	433.9
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	433.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	96.4
⑫再生利用業者への処理委託量	329.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	330.0

（第２面）

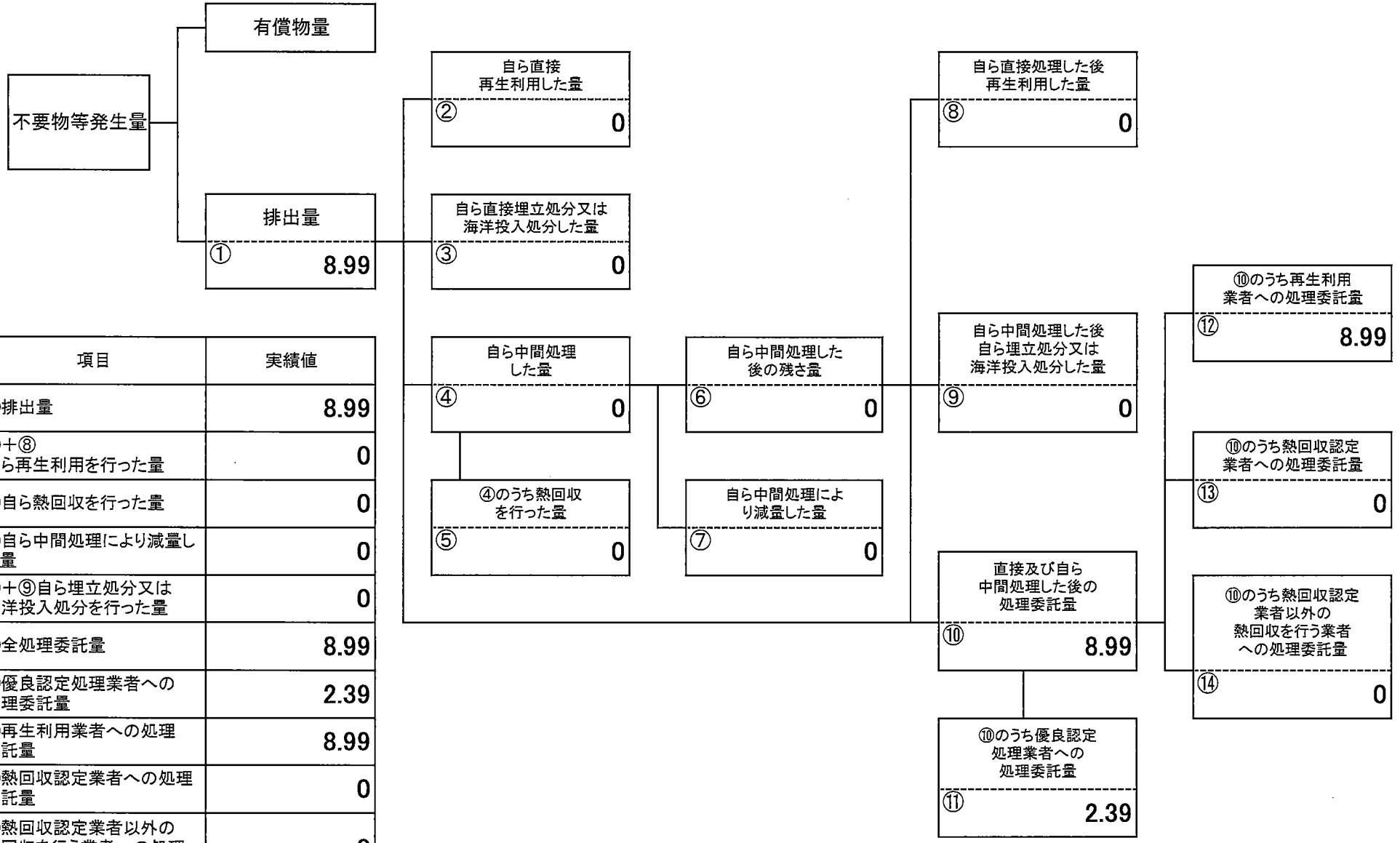
計画の実施状況　（ 産業廃棄物の種類: 汚泥 ）



項目	実績値
①排出量	1,493.8
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1,493.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	1,493.8
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1,493.8

（第２面）

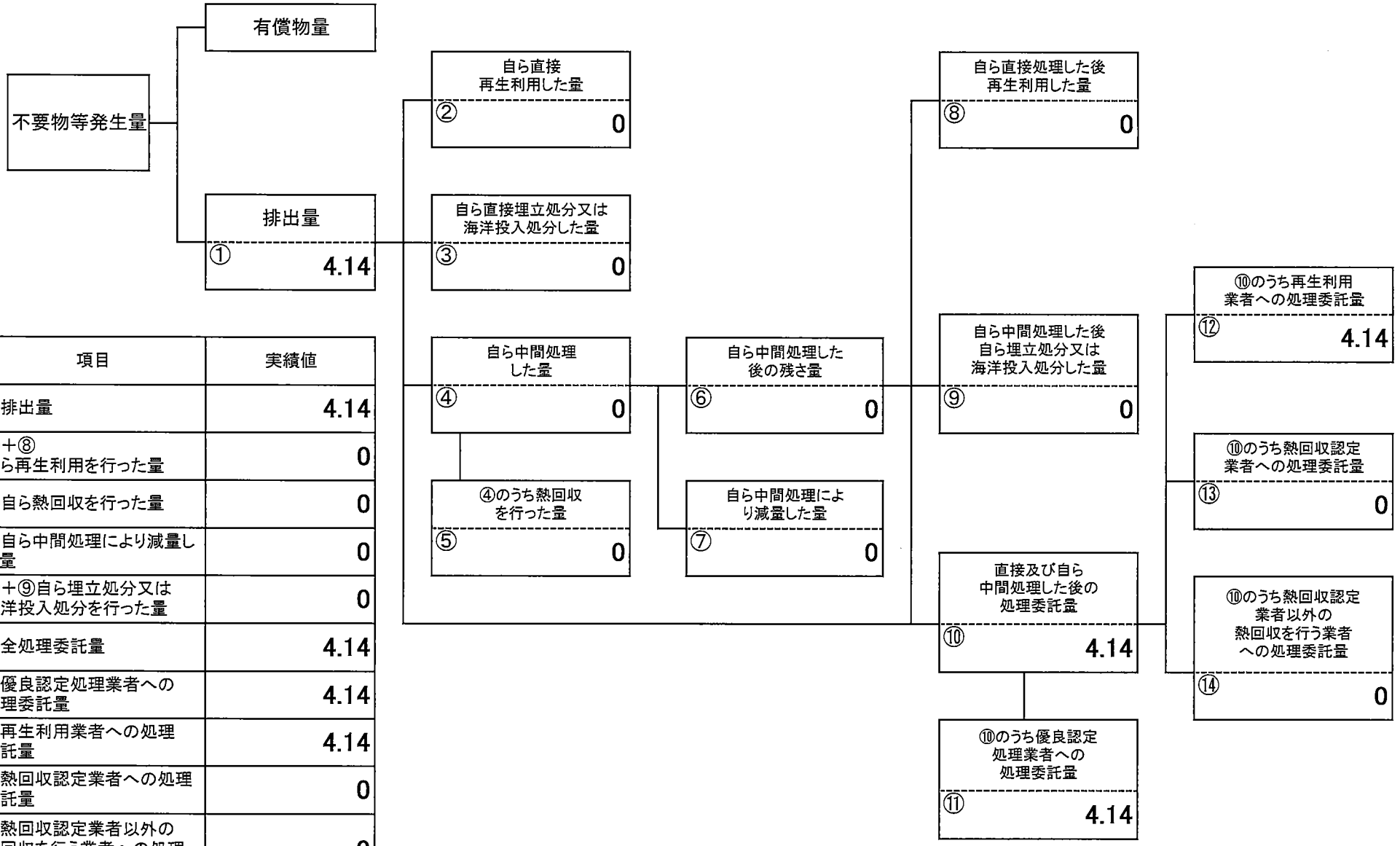
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：ｶﾞﾗｽｺﾝｸﾘｰﾄ・陶磁器ｸｽ）



項目	実績値
①排出量	8.99
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	8.99
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.39
⑫再生利用業者への処理委託量	8.99
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

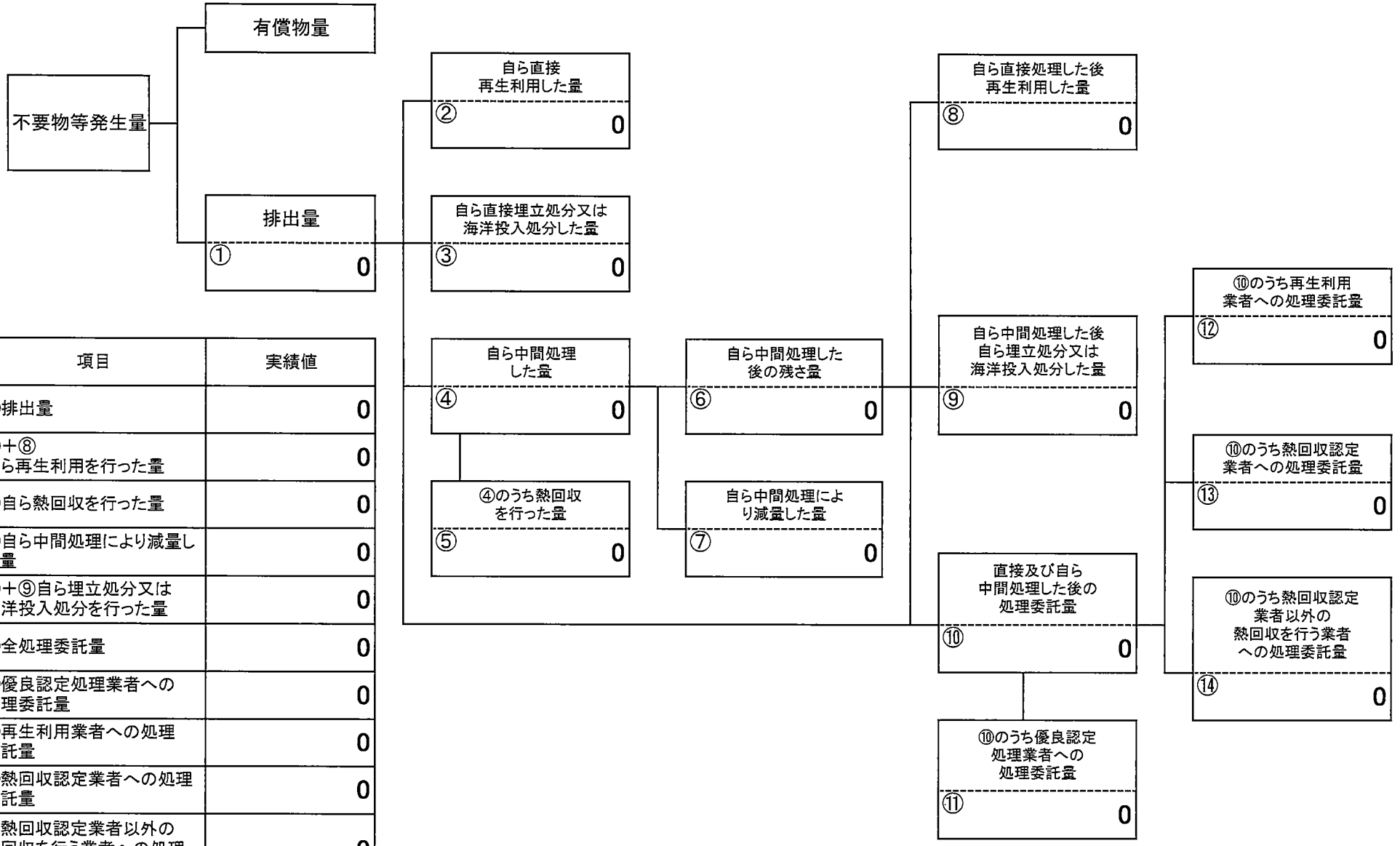
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　金属ｸｽﾞ　　）



項目	実績値
①排出量	4.14
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	4.14
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.14
⑫再生利用業者への処理委託量	4.14
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

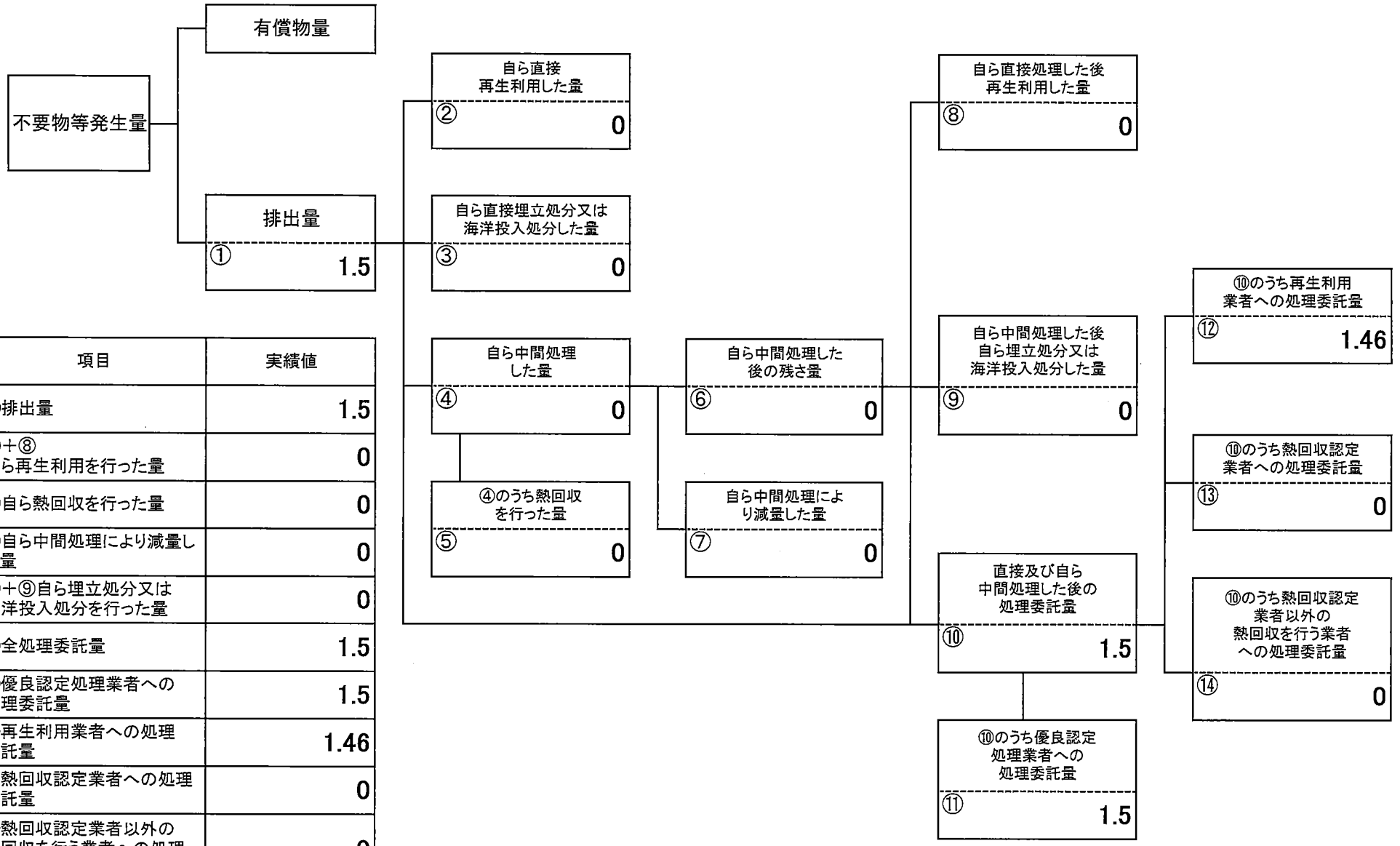
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　特定有害産業廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	0
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

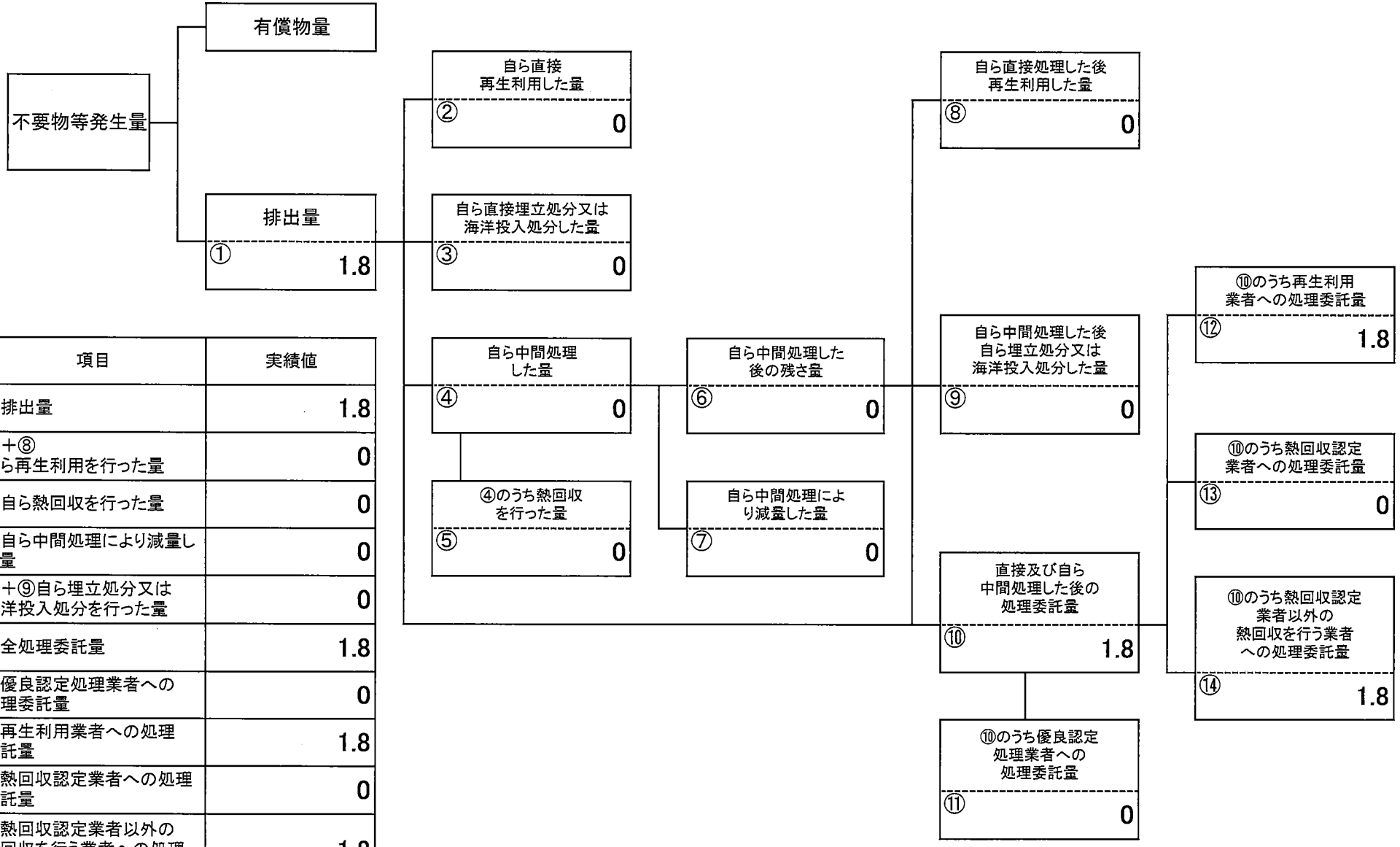
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　木くず　）



項目	実績値
①排出量	1.5
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.5
⑫再生利用業者への処理委託量	1.46
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　廃油　　）



項目	実績値
①排出量	1.8
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	1.8
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1.8

（第２面）

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024 年　6 月　20 日

長崎県知事　大石　賢吾　　殿

提出者　日本フードパッカー株式会社　諫早工場
住　所 854-0022　長崎県諫早市幸町79-23
氏　名　　工場長　　宮ノ原　裕史
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0957-22-1343

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 2023　年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	日本フードパッカー株式会社　諫早工場
事業場の所在地	長崎県諫早市幸町79番23号
事業の種類	食品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2,577 t	全処理委託量	2,577 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2,072 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	30 t

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列4番）

産業廃棄物処理工程

別添1

廃プラスチック類	生産工程で不要品発生	リサイクル可	廃棄物処理施設で委託処理 ◇再生利用目的
金属くず	使用器具等の故障等により発生	リサイクル可	廃棄物処理施設で委託処理 ◇再生利用目的
汚泥	生産工程で発生する汚水を処理し発生	リサイクル可	廃棄物処理施設で委託処理 ◇再生利用目的
汚泥(動物の糞尿)	動物の糞尿	リサイクル可	廃棄物処理施設で委託処理 ◇再生利用目的
廃アルカリ	生産工程で発生	リサイクル可	廃棄物処理施設で委託処理 ◇再生利用目的
動物系固形不要物	生産工程で発生	リサイクル不可	廃棄物処理施設で委託処理 ◇焼却後管理型埋め立て
廃プラ(軍手・フィルムクズ等)	生産工程で発生	リサイクル不可	廃棄物処理施設で委託処理 ◇焼却後管理型埋め立て
汚泥(無機性)	生産工程で発生する汚水を処理し発生	リサイクル不可	廃棄物処理施設で委託処理 ◇焼却後管理型埋め立て

産業廃棄物の処理に係る管理体制

別添2

工場長
↓
総務部
↓
製造部
↓
設備管理課 ■廃棄物担当
■処理計画作成担当

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年　6　月 13 日

都道府県知事
（市長）　大石　賢吾　　殿

提出者　　日本フードパッカー㈱川棚工場
住　所　長崎県東彼杵郡川棚町百津郷39
氏　名　工場長　　稲田　拓哉
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　(0956)82-4515

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	日本フードパッカー株式会社 川棚工場
事業場の所在地	長崎県東彼杵郡川棚町百津郷39
事業の種類	食料品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2102.765 t	全処理委託量	2102.765 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	2035.465 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	66.10 t

※事務処理欄

（日本工業規格　A列4番）

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6 年　5 月　31 日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者　本田建設株式会社
住　所　長崎県島原市有明町大三東戊705
氏　名　代表取締役　本田　悦弘
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　0957-68-0171

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	本田建設株式会社
事業場の所在地	長崎県島原市有明町大三東戊705
事業の種類	06:総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,898 t	全処理委託量	1,898 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1,898 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

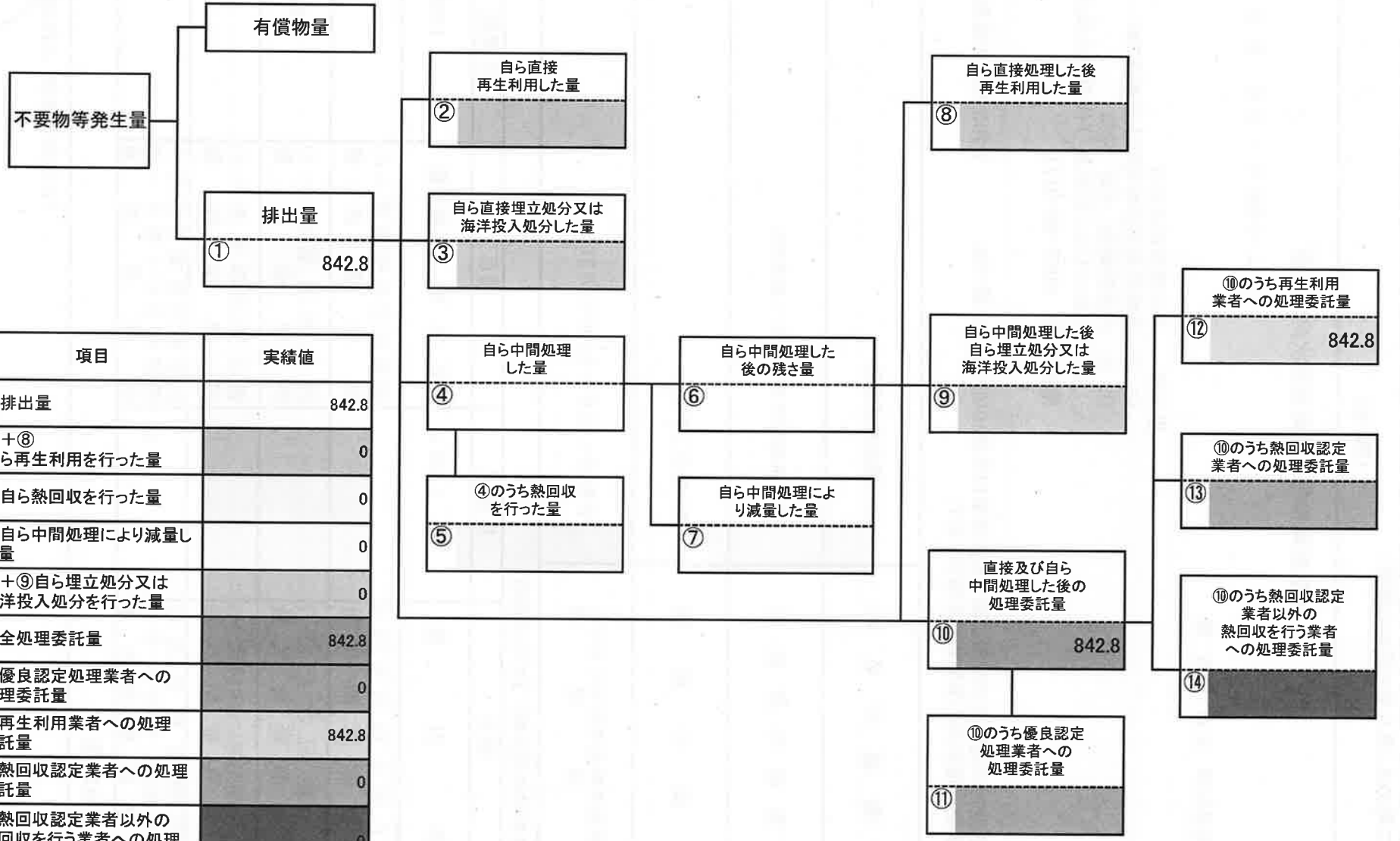
※事務処理欄	

（日本産業規格　A列4番）

受付
6.5.31
資源循環推進課

計画の実施状況

（　産業廃棄物の種類：コンクリート塊　）

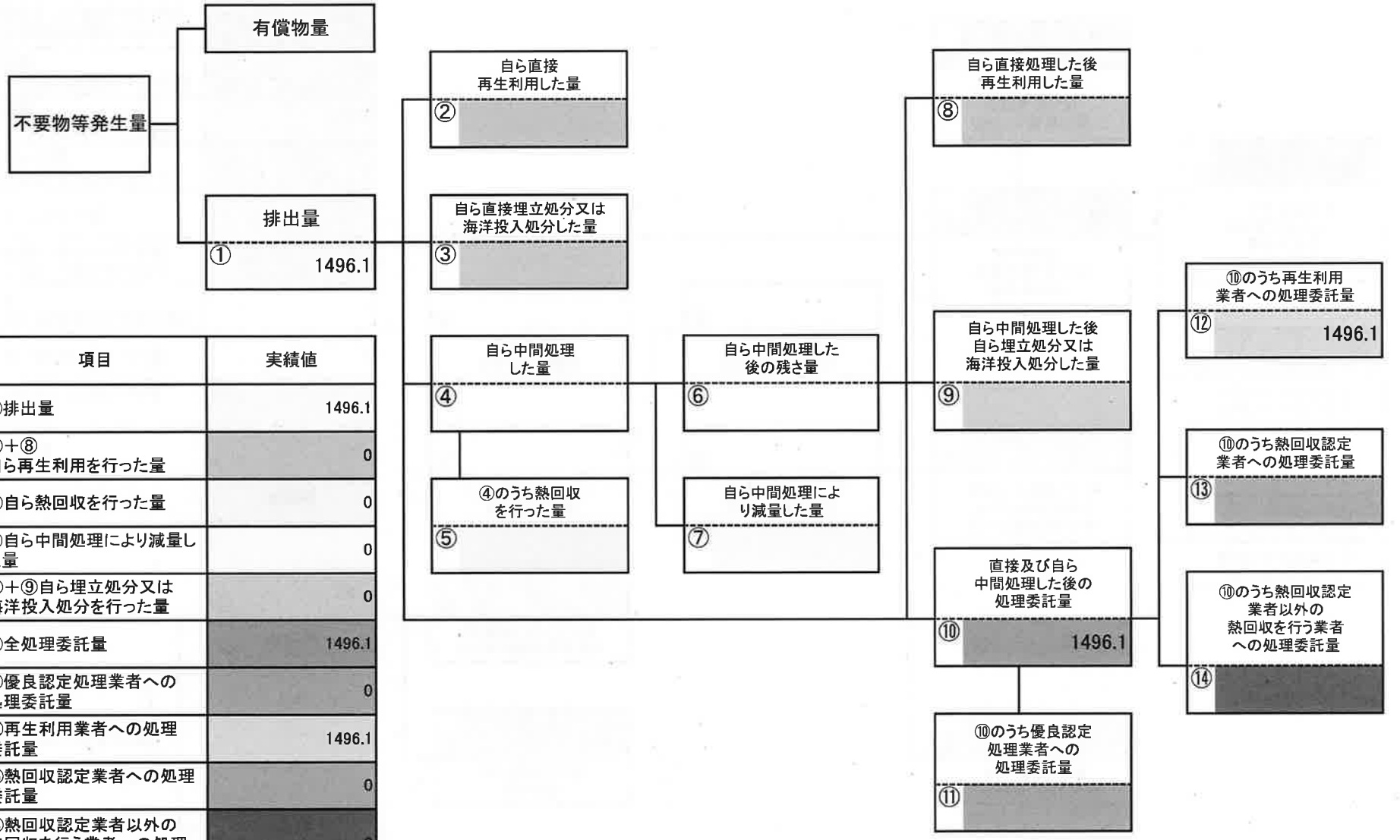


項目	実績値
①排出量	842.8
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	842.8
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	842.8
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況

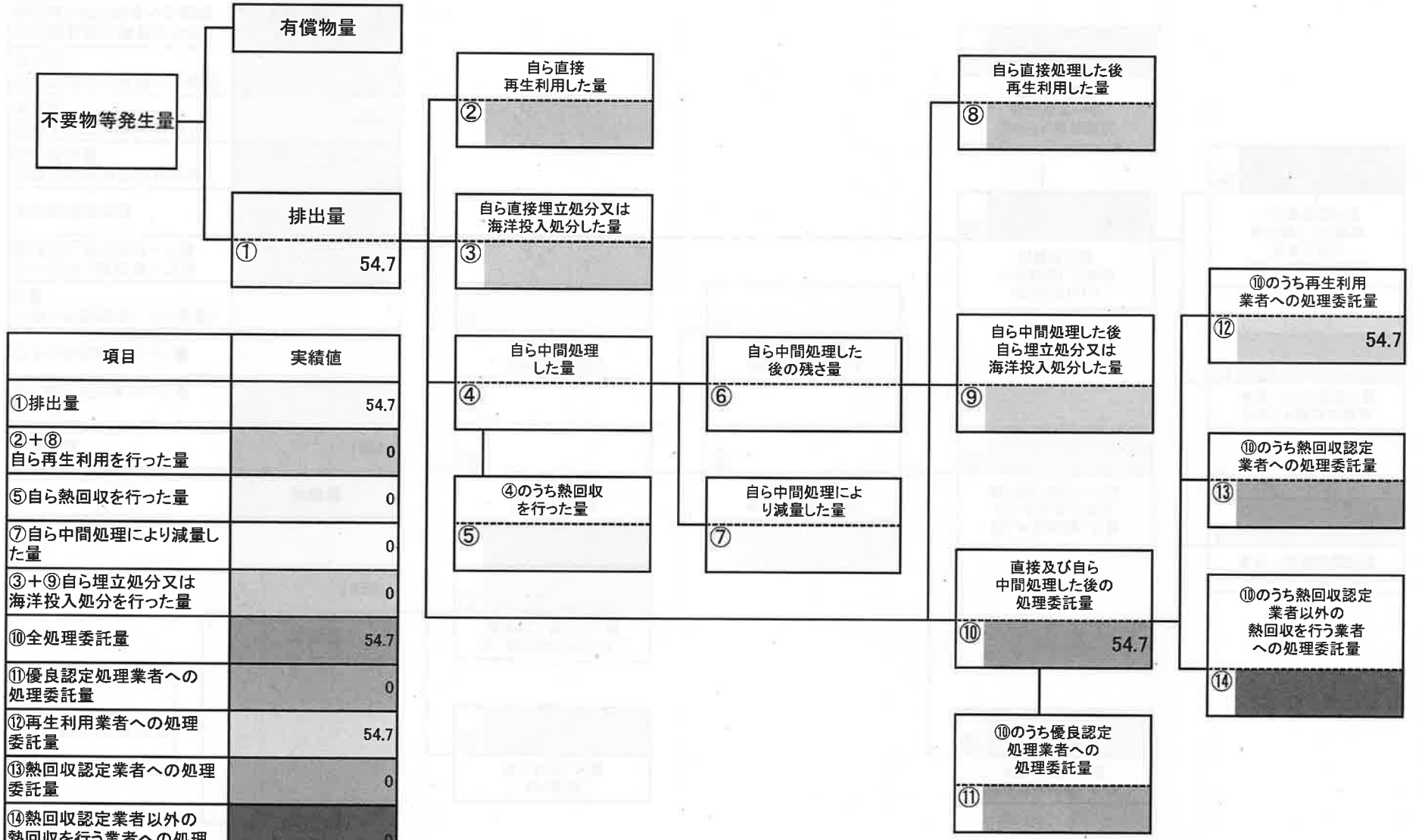
（ 産業廃棄物の種類： アスファルト・コンクリート塊 ）



項目	実績値
①排出量	1496.1
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1496.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	1496.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

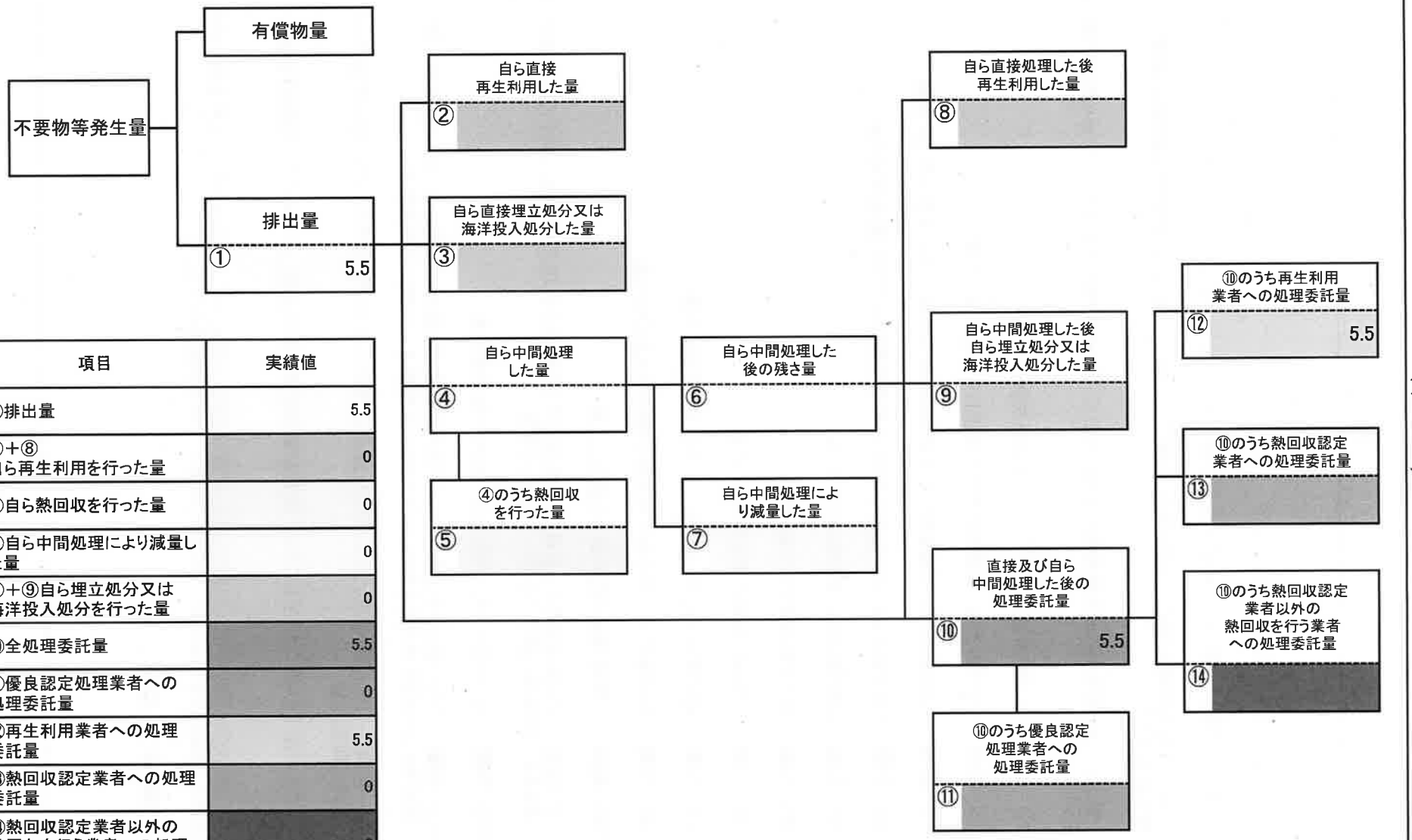
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　建設発生木材　　）



項目	実績値
①排出量	54.7
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	54.7
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	54.7
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　建設汚泥　　）



項目	実績値
①排出量	5.5
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	5.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	5.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

備考

1　翌年度の6月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2024年　5月　29日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　長崎県平戸市生月町壱部浦67-1
氏　名　増山建設㈱　代表取締役　増山富博
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号　0950-53-0522

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和５年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	増山建設株式会社
事業場の所在地	長崎県平戸市生月町壱部浦67-1
事業の種類	D-06　総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

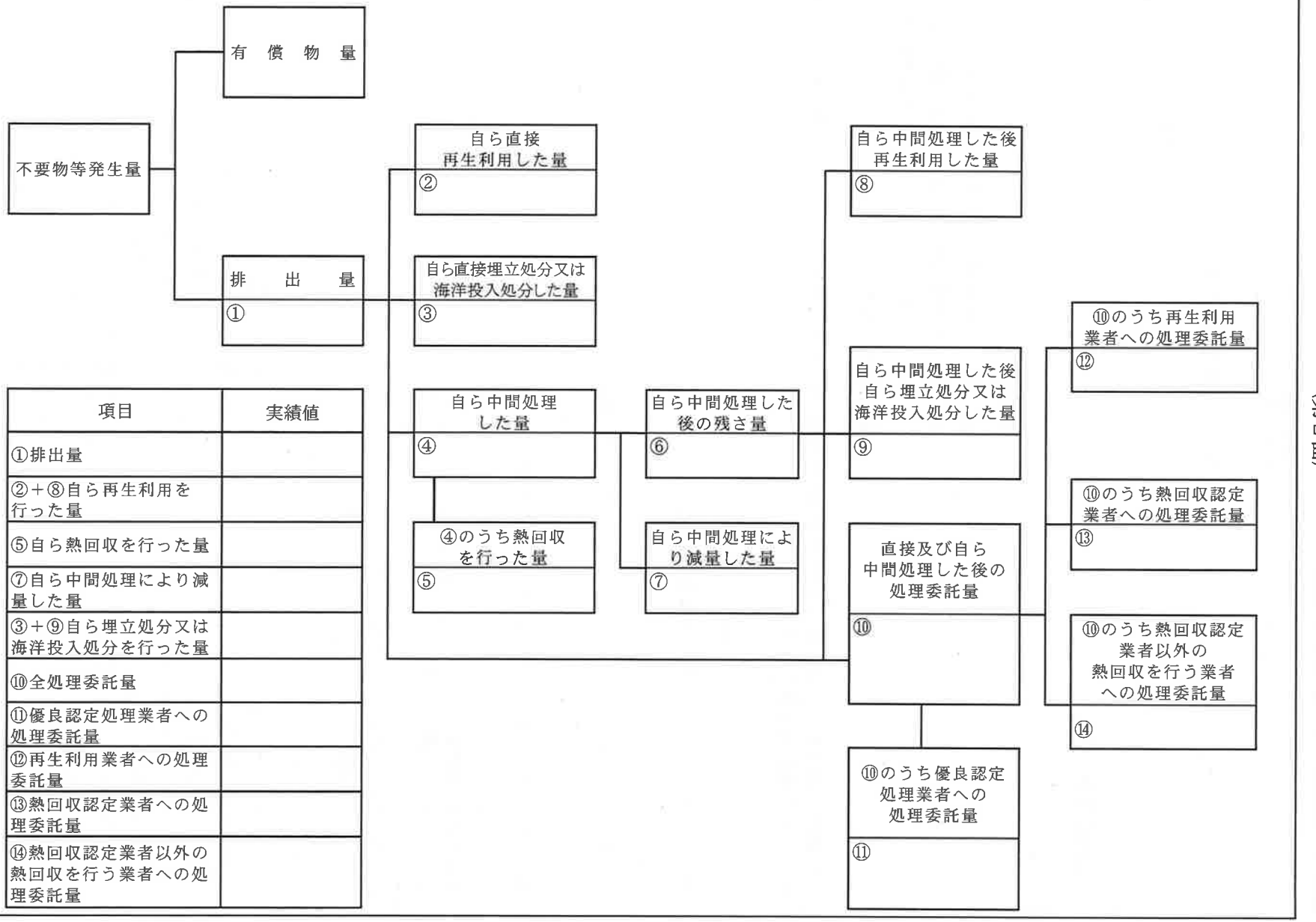
項目	目標値	項目	目標値
排出量	5,100 t	全処理委託量	t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	5,100 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄	

(日本産業規格　A列４番)

受付
-6.6.-3
資源循環推進課

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：　　）



項目	実績値
①排出量	
②＋⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

（第２面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

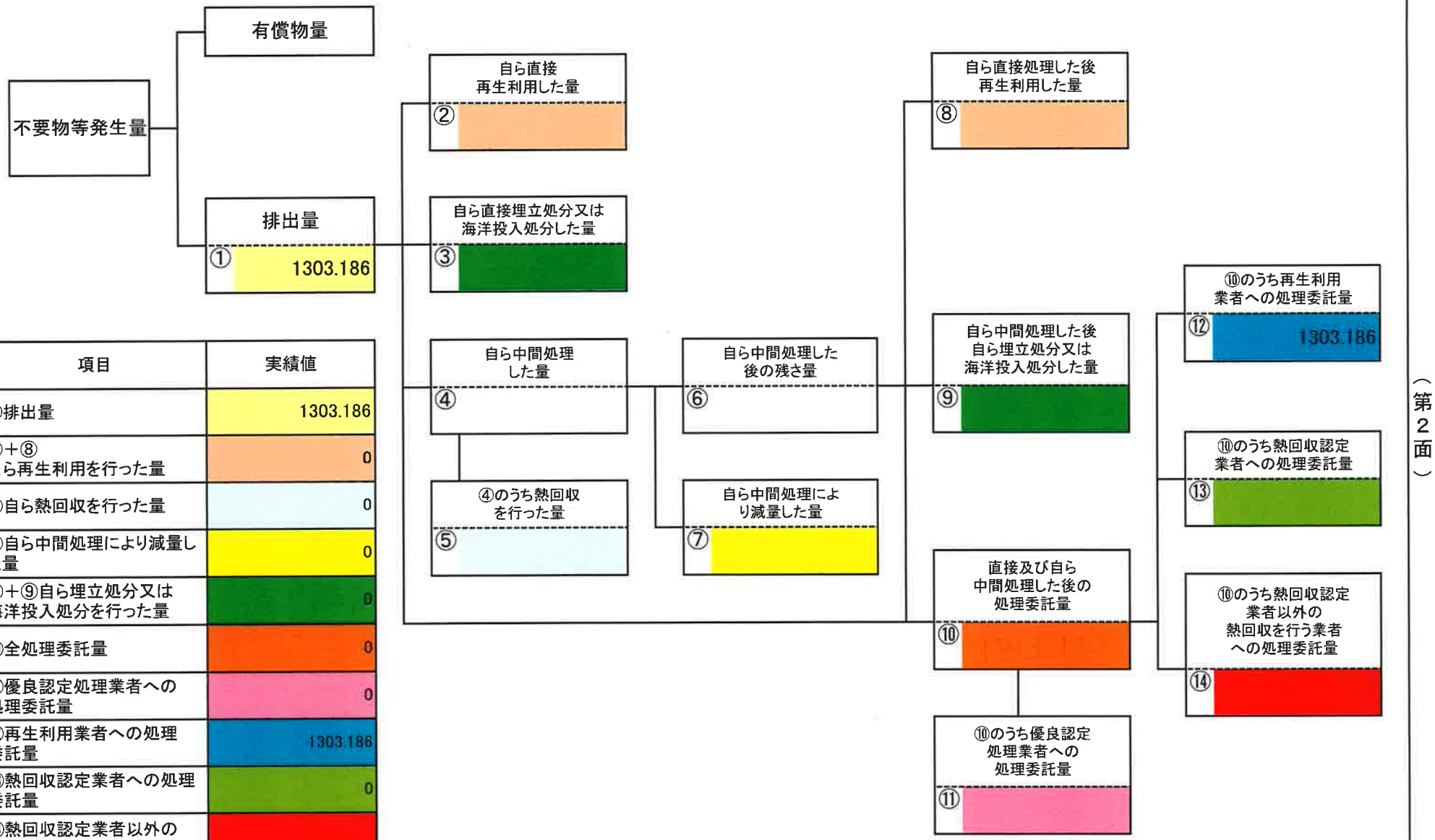
(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

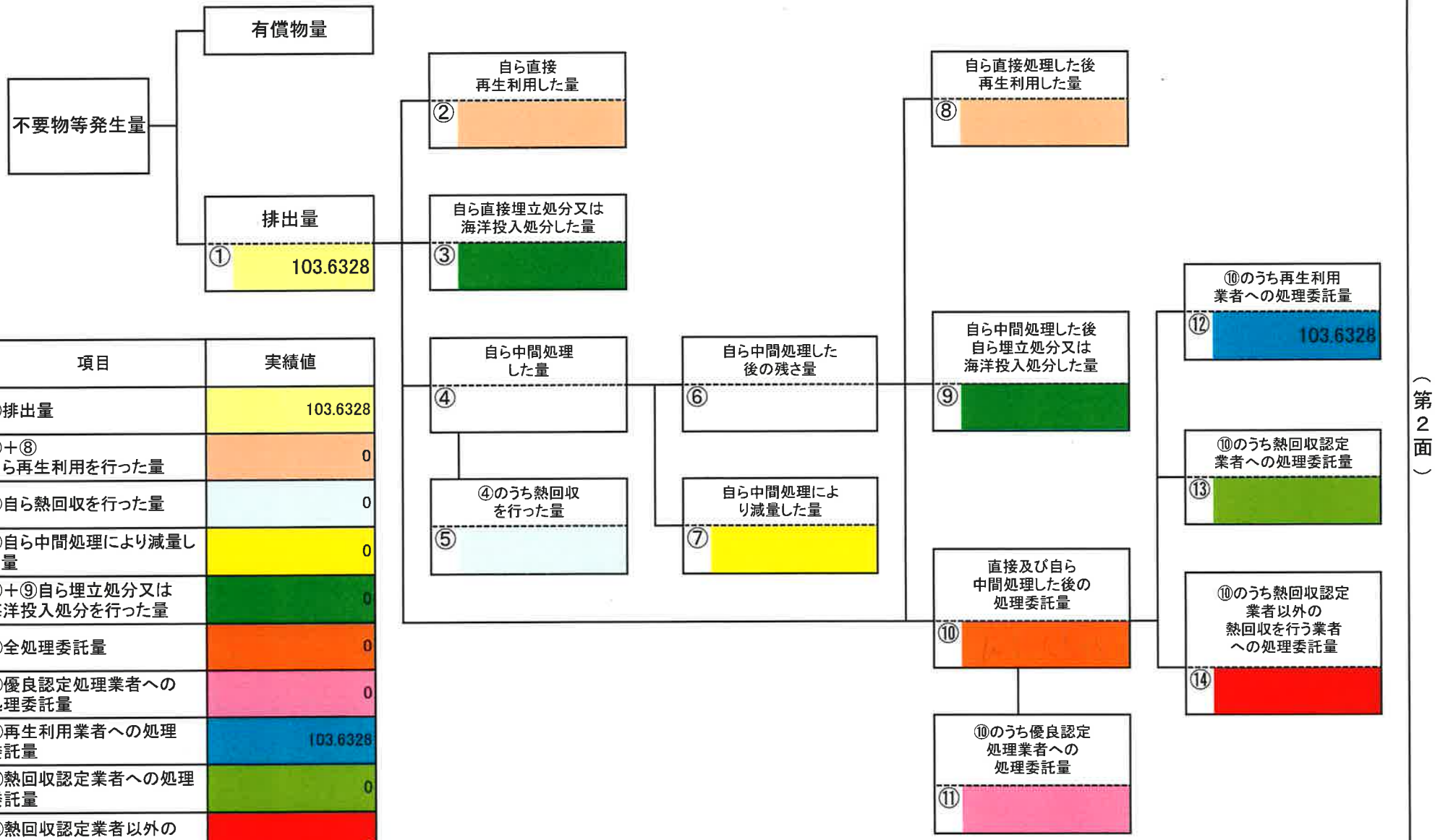
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類:コンクリート殻　）



項目	実績値
①排出量	1303.186
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	1303.186
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

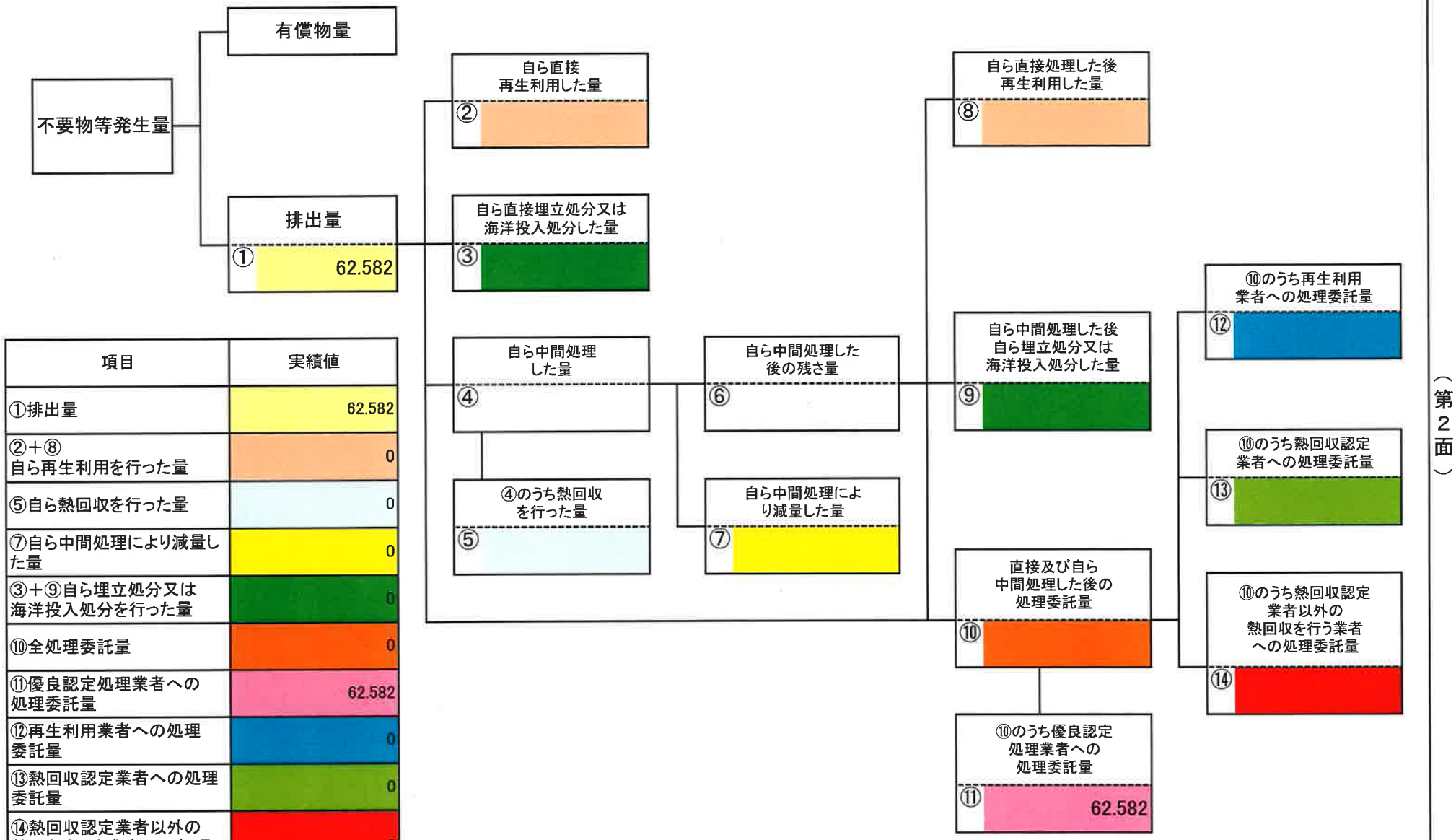
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：アスコン殻　）



項目	実績値
①排出量	103.6328
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	103.6328
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

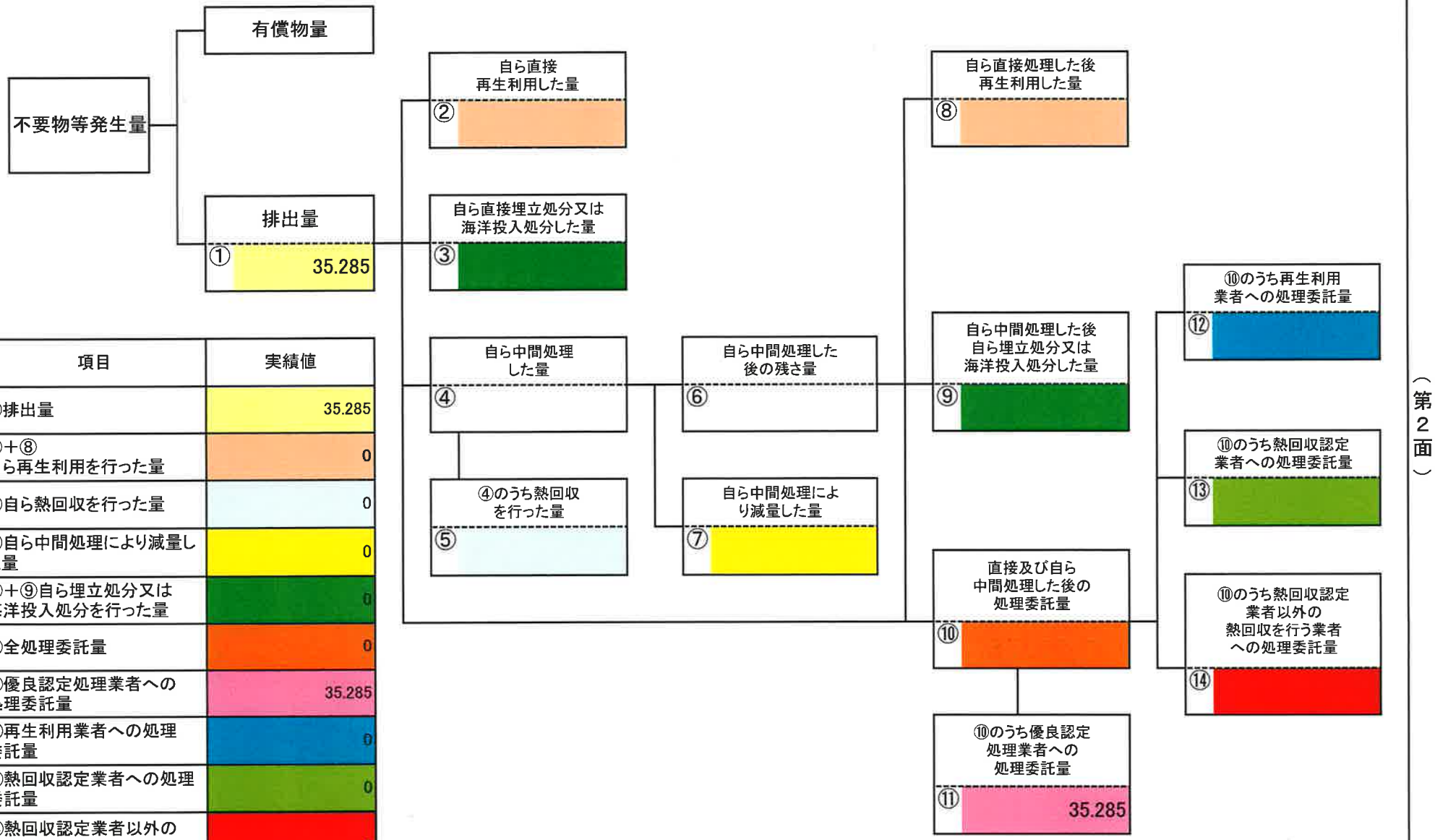
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：混合廃棄物　）



項目	実績値
①排出量	62.582
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	62.582
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：木くず　）



項目	実績値
①排出量	35.285
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	35.285
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第１面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和６年　６月１８日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　長崎市興善町4-8第10森谷ビル3階
氏　名　松尾建設株式会社 長崎支
支店長　牛島直樹
電話番号　095-826-7191

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、令和５年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

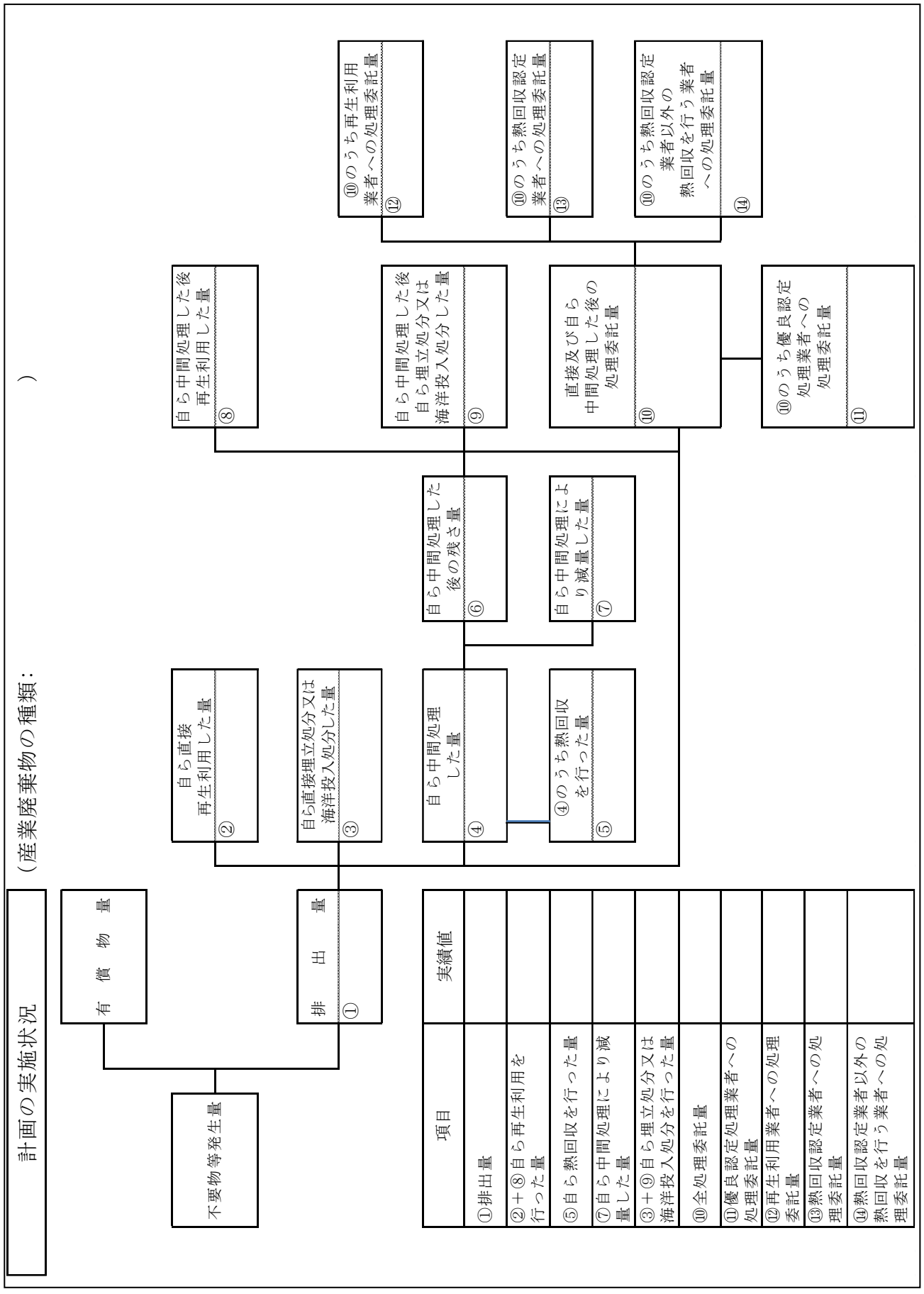
事業場の名称	**松尾建設株式会社 長崎支店**
事業場の所在地	**長崎市興善4-8**
事業の種類	**D06 総合工事業**
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和５年　４月　１日　～　令和６年　３月３１日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	2749.0ｔ	全処理委託量	2219.0ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	530.0ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	731.0ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0ｔ	再生利用業者への処理委託量	2116.0ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

※事務処理欄	

(日本産業規格　A列４番)


計画の実施状況
（産業廃棄物の種類：　　）
不要物等発生量
有償物量
排出量
①
自ら直接再生利用した量
②
自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③
自ら中間処理した量
④
④のうち熱回収を行った量
⑤
自ら中間処理した後の残さ量
⑥
自ら中間処理により減量した量
⑦
自ら中間処理した後再生利用した量
⑧
自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨
直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩
⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪
⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭
項目
実績値
①排出量
②＋⑧自ら再生利用を行った量
⑤自ら熱回収を行った量
⑦自ら中間処理により減量した量
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
⑩全処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量
⑫再生利用業者への処理委託量
⑬熱回収認定業者への処理委託量
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

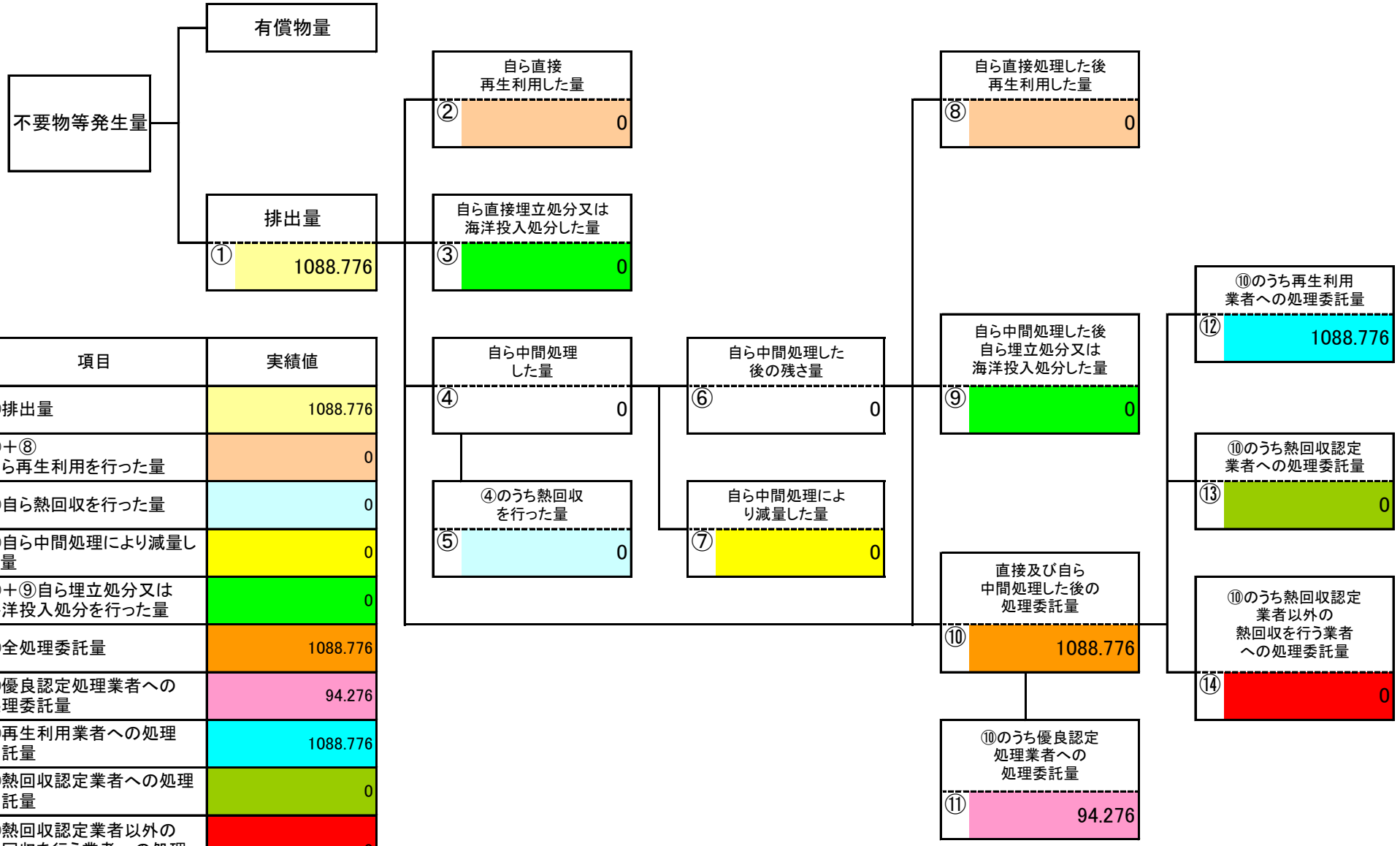
(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。

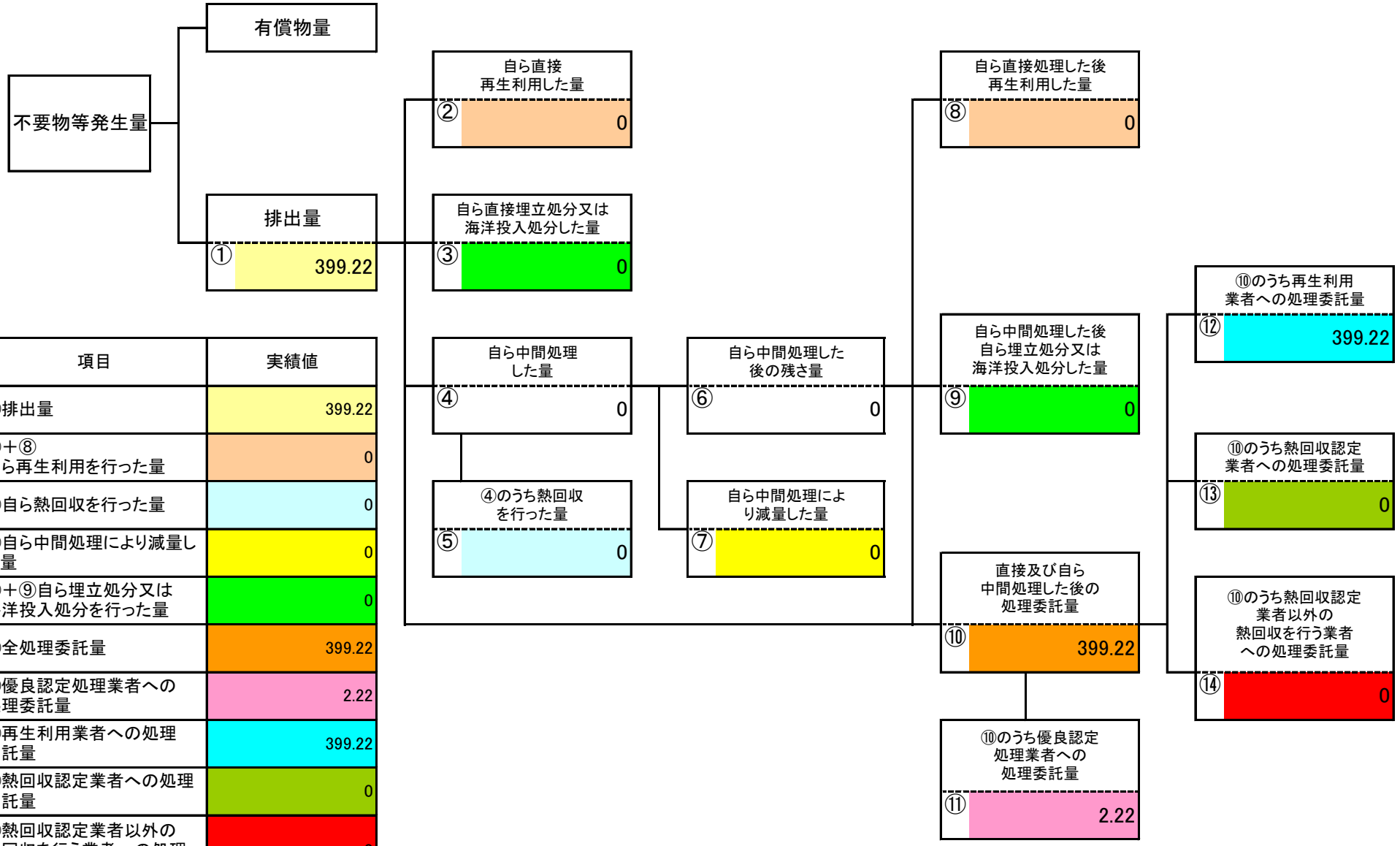
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　コンクリート片　　）



項目	実績値
①排出量	1088.776
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1088.776
⑪優良認定処理業者への処理委託量	94.276
⑫再生利用業者への処理委託量	1088.776
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第2面）

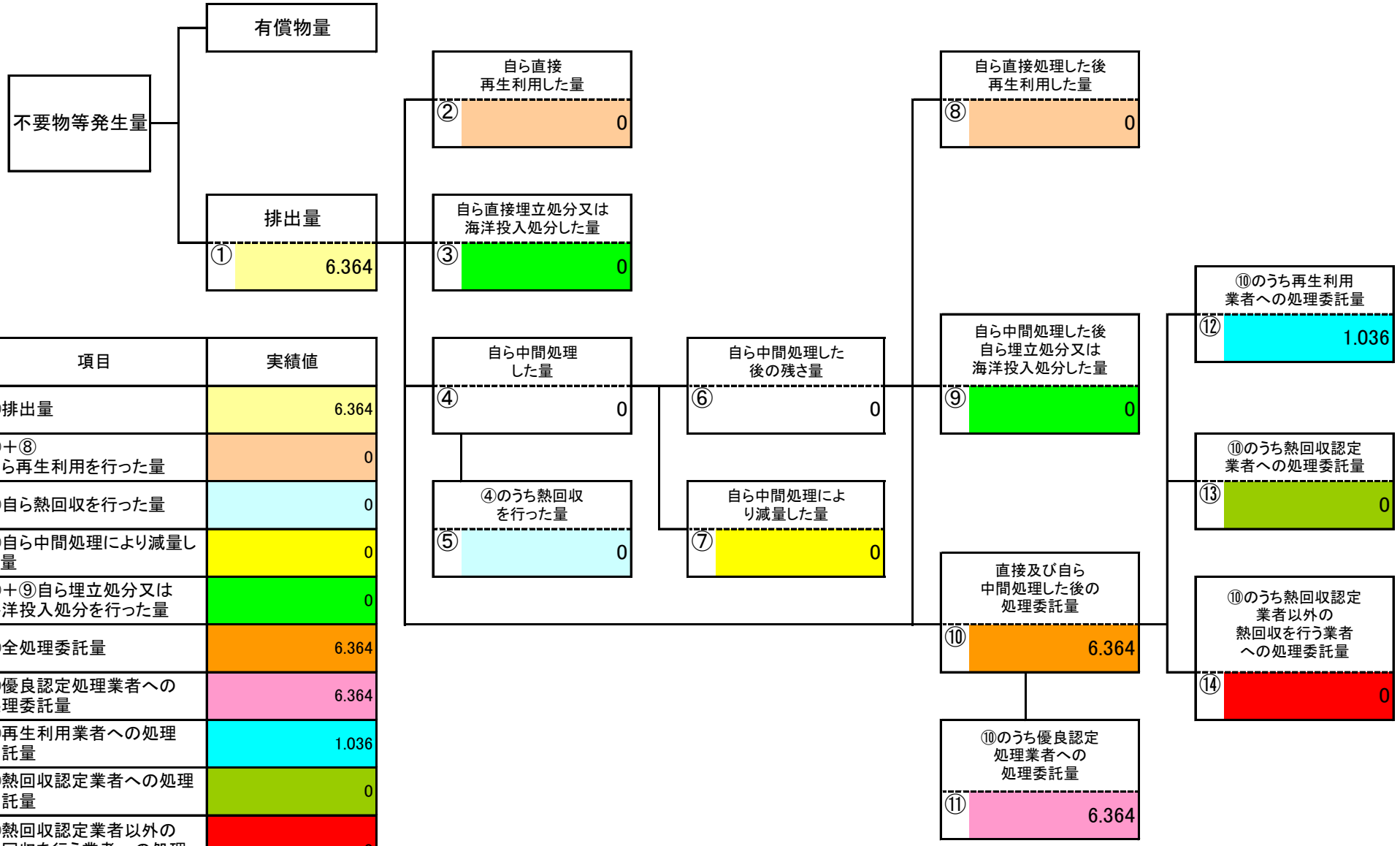
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　廃アスファルト　　）



項目	実績値
①排出量	399.22
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	399.22
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.22
⑫再生利用業者への処理委託量	399.22
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

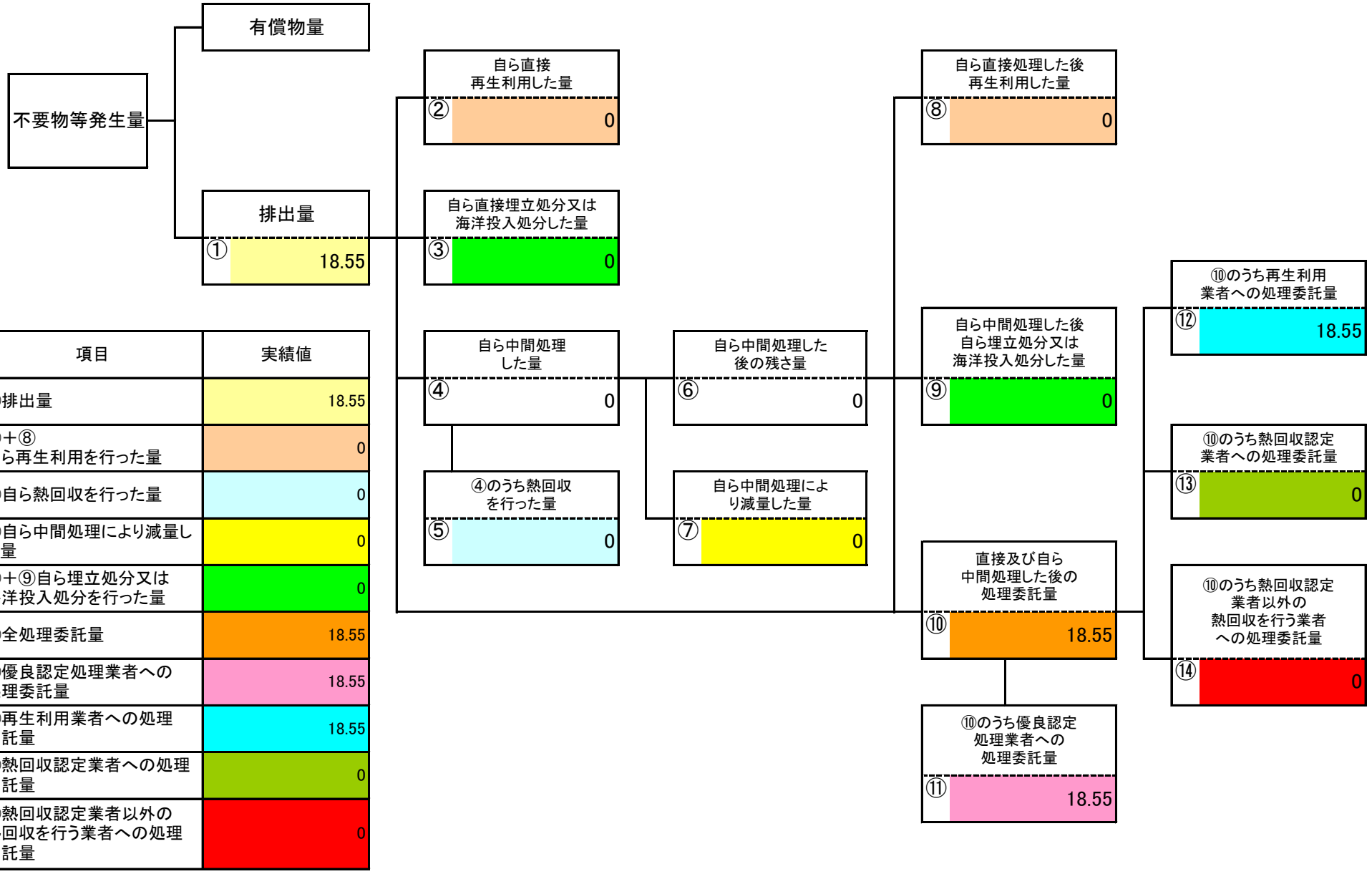
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　その他がれき類　　）



項目	実績値
①排出量	6.364
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	6.364
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.364
⑫再生利用業者への処理委託量	1.036
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

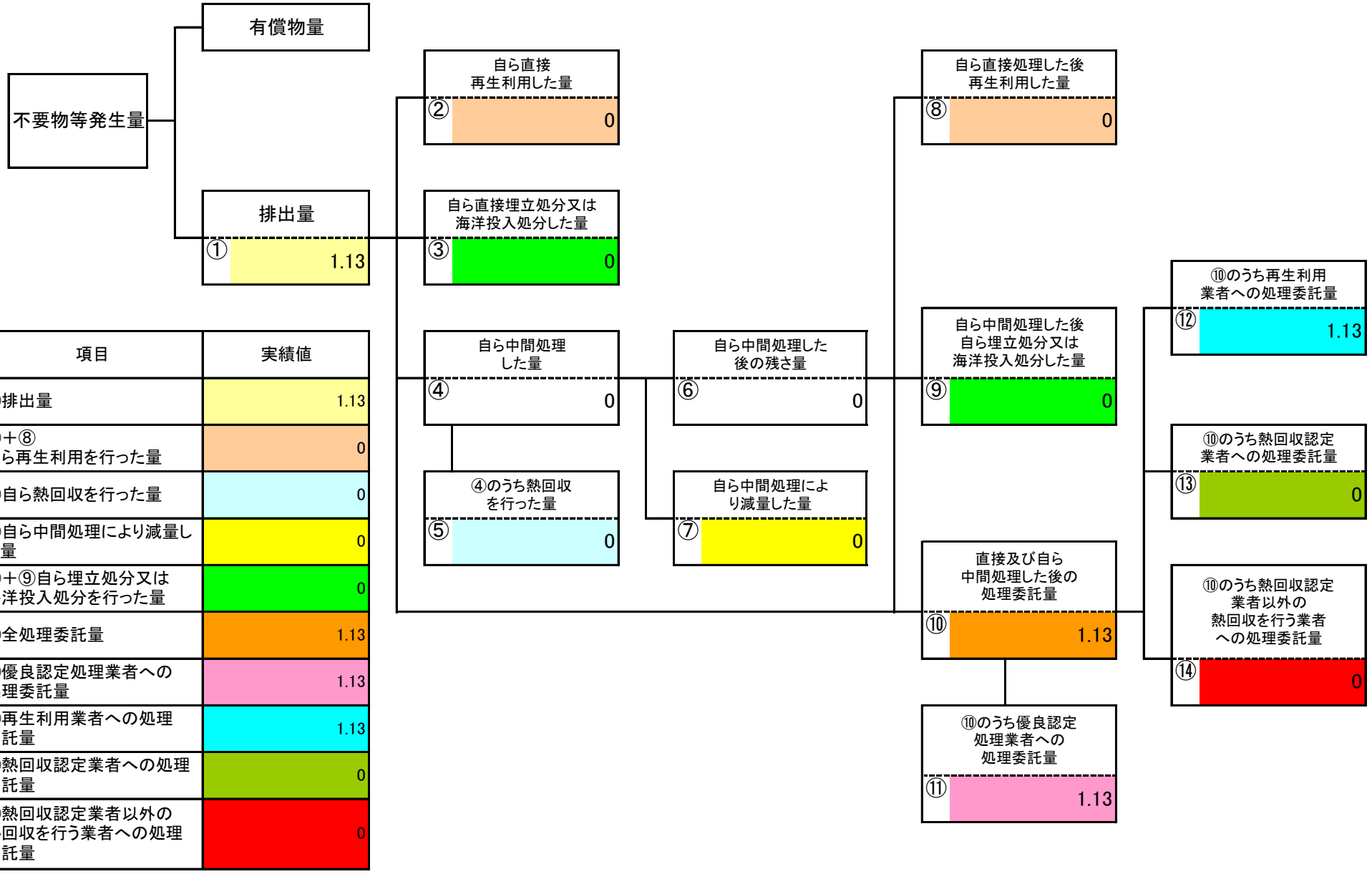
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　廃プラスチック類　　）



項目	実績値
①排出量	18.55
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	18.55
⑪優良認定処理業者への処理委託量	18.55
⑫再生利用業者への処理委託量	18.55
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

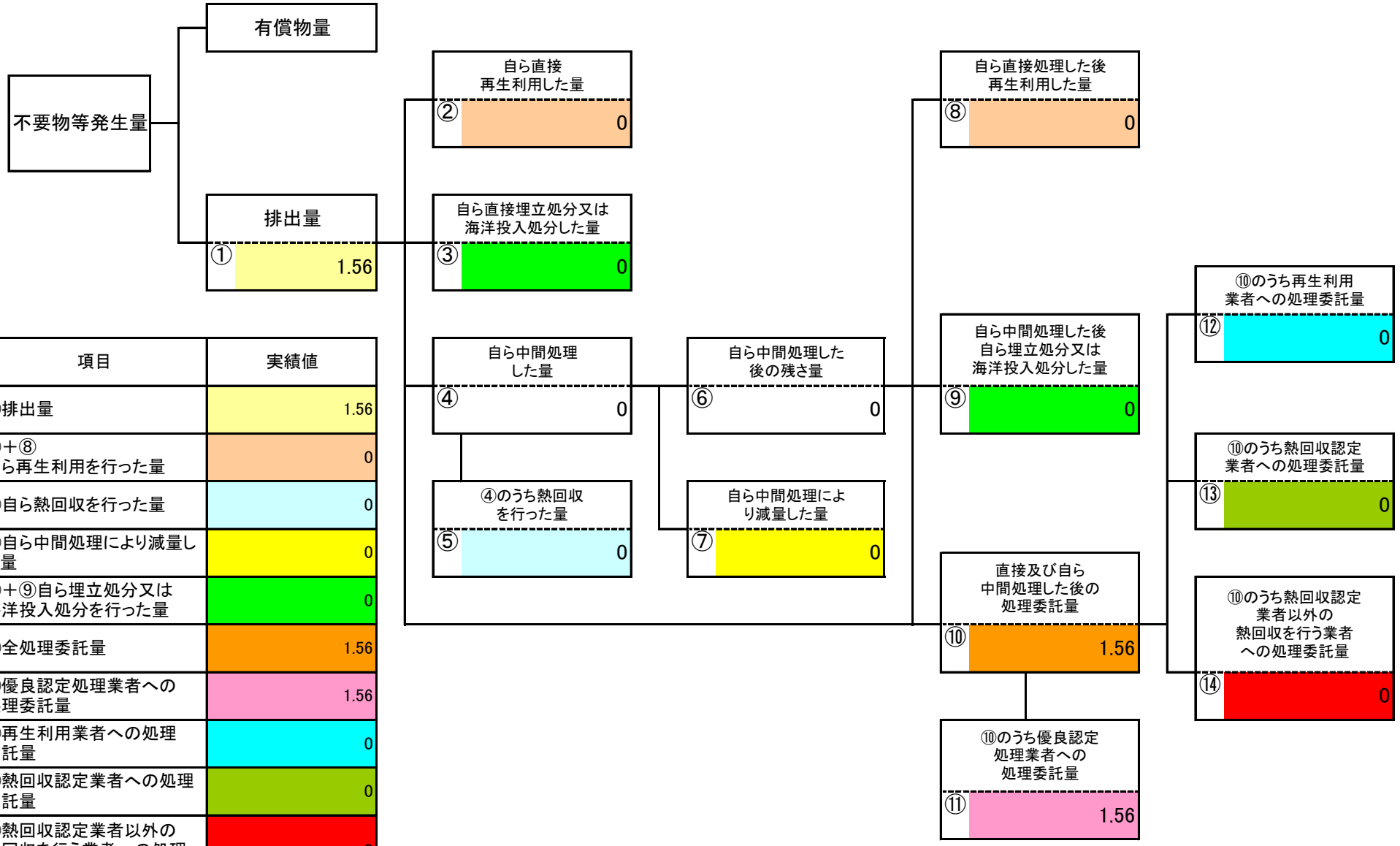
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　金属くず　）



項目	実績値
①排出量	1.13
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.13
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.13
⑫再生利用業者への処理委託量	1.13
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

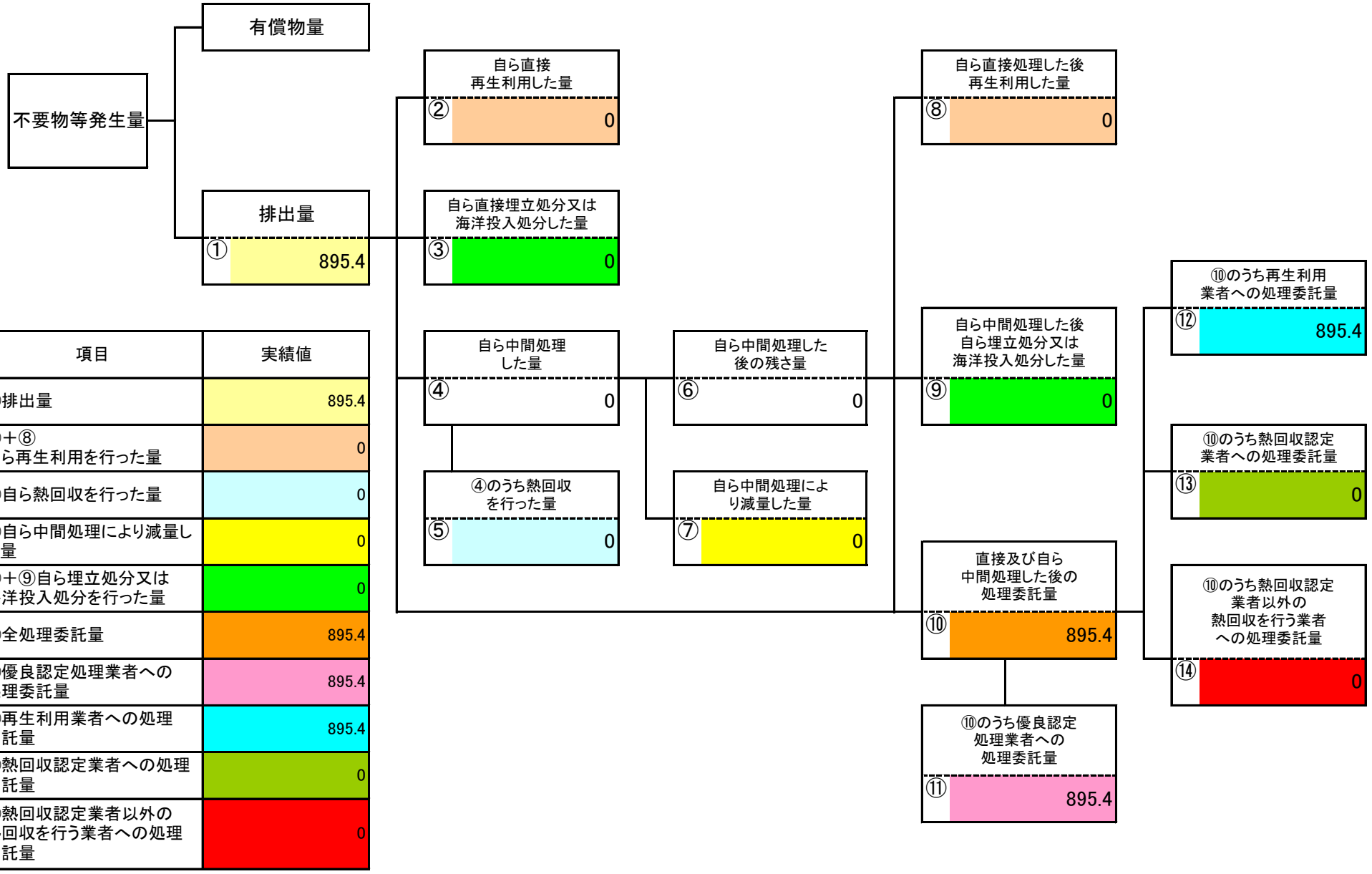
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　建設混合廃棄物（安ﾃ）　）



項目	実績値
①排出量	1.56
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.56
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.56
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

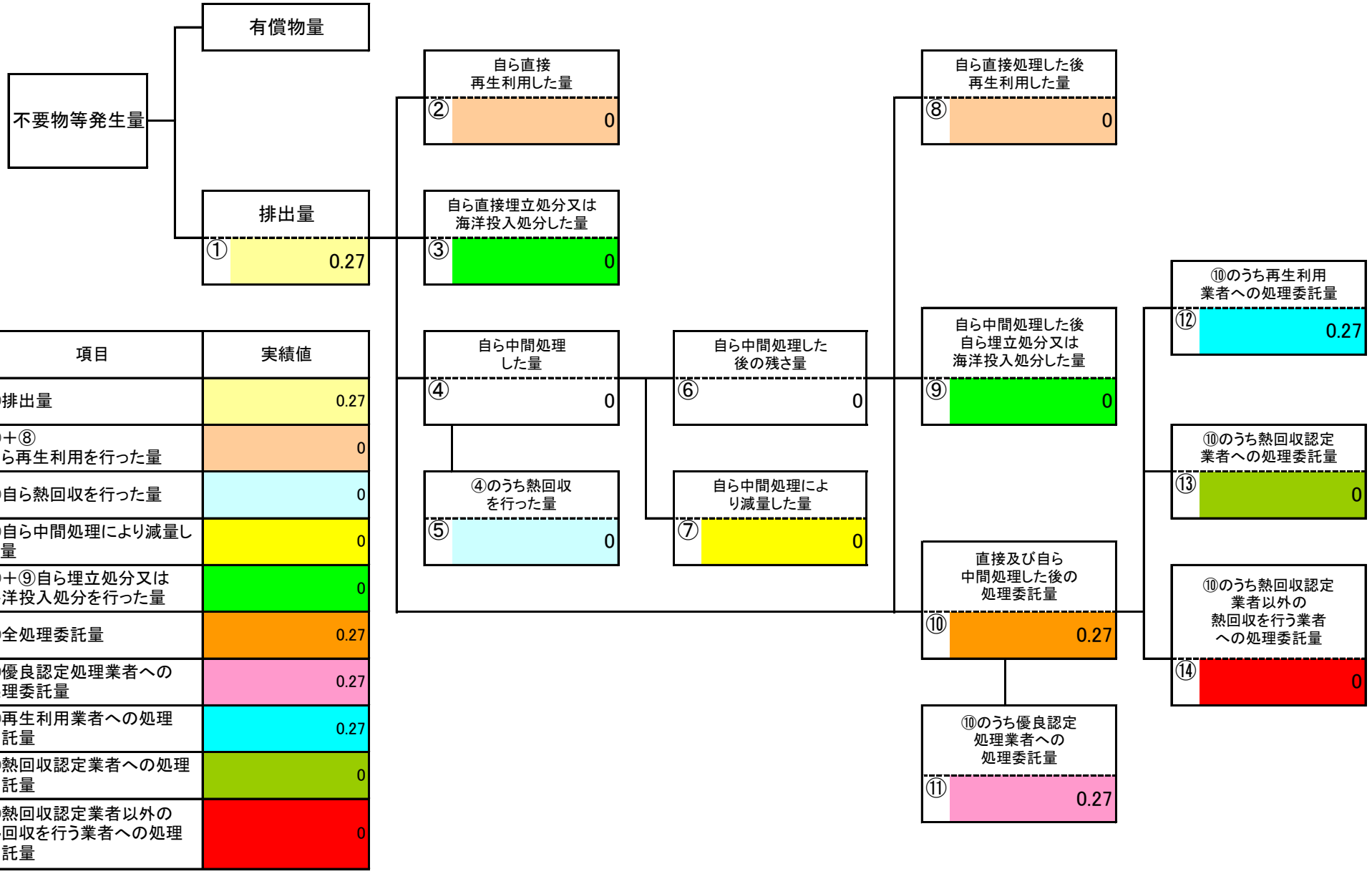
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　汚泥　　）



項目	実績値
①排出量	895.4
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	895.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	895.4
⑫再生利用業者への処理委託量	895.4
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

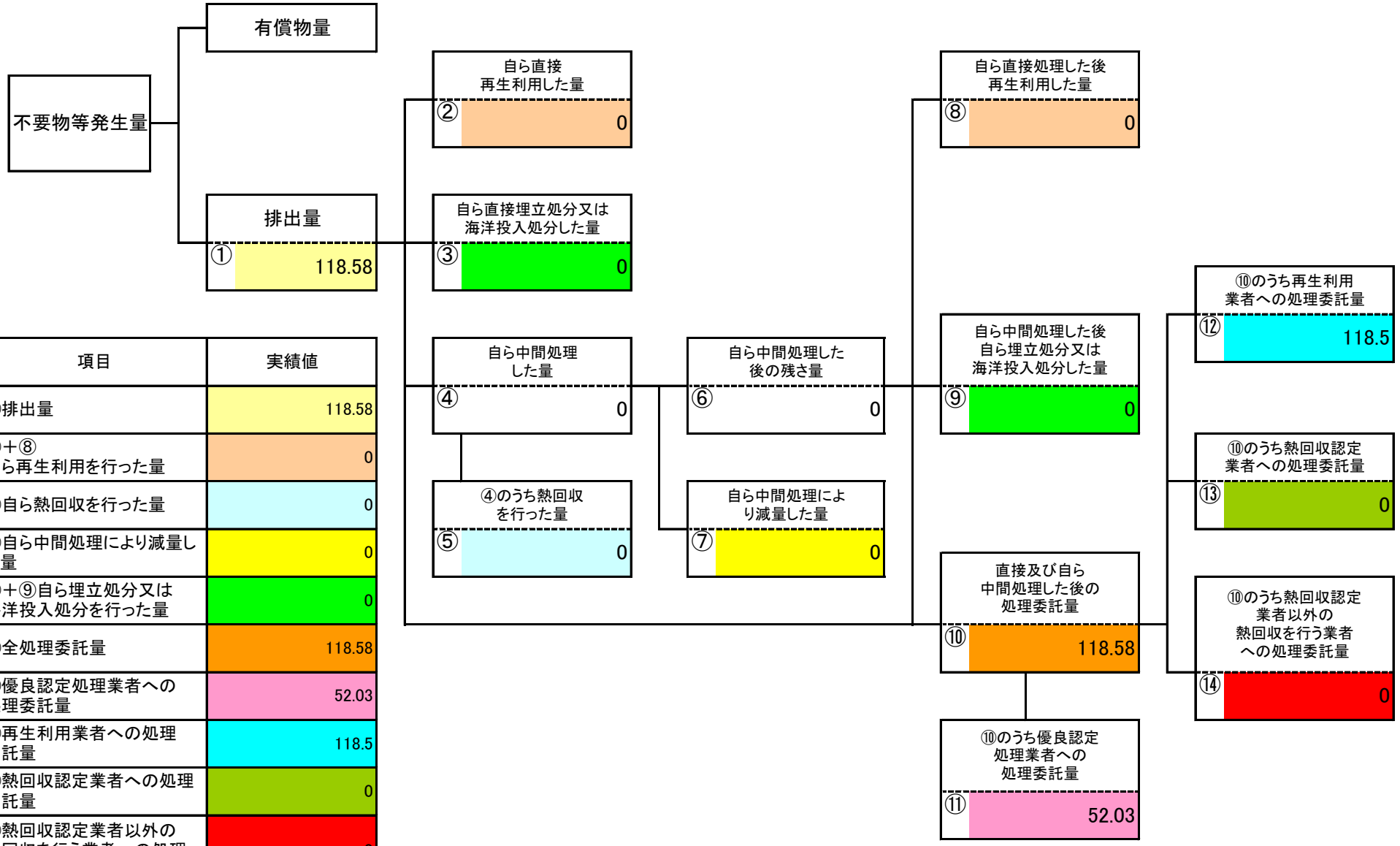
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　紙くず　）



項目	実績値
①排出量	0.27
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.27
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.27
⑫再生利用業者への処理委託量	0.27
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

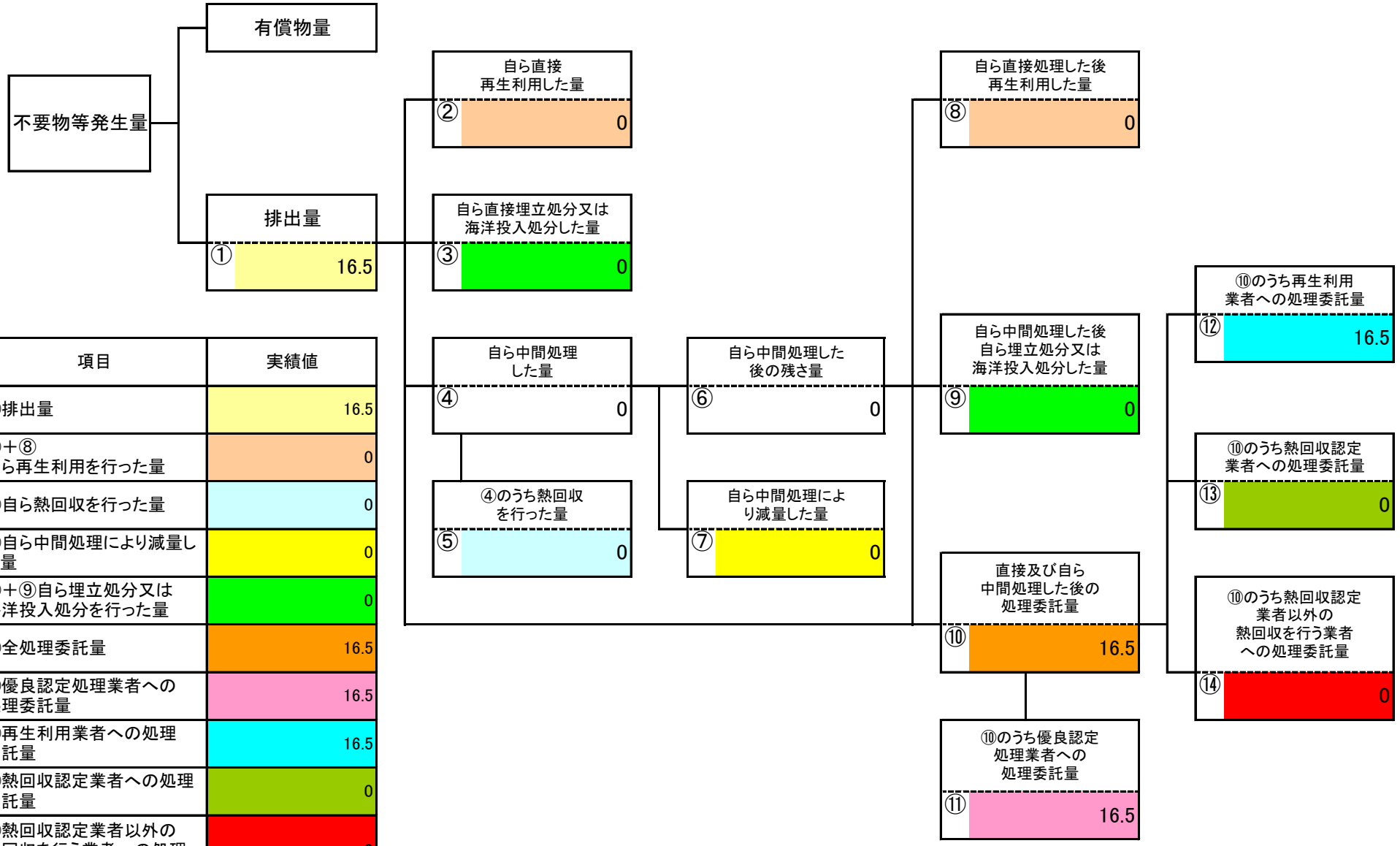
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　木くず　）



項目	実績値
①排出量	118.58
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	118.58
⑪優良認定処理業者への処理委託量	52.03
⑫再生利用業者への処理委託量	118.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

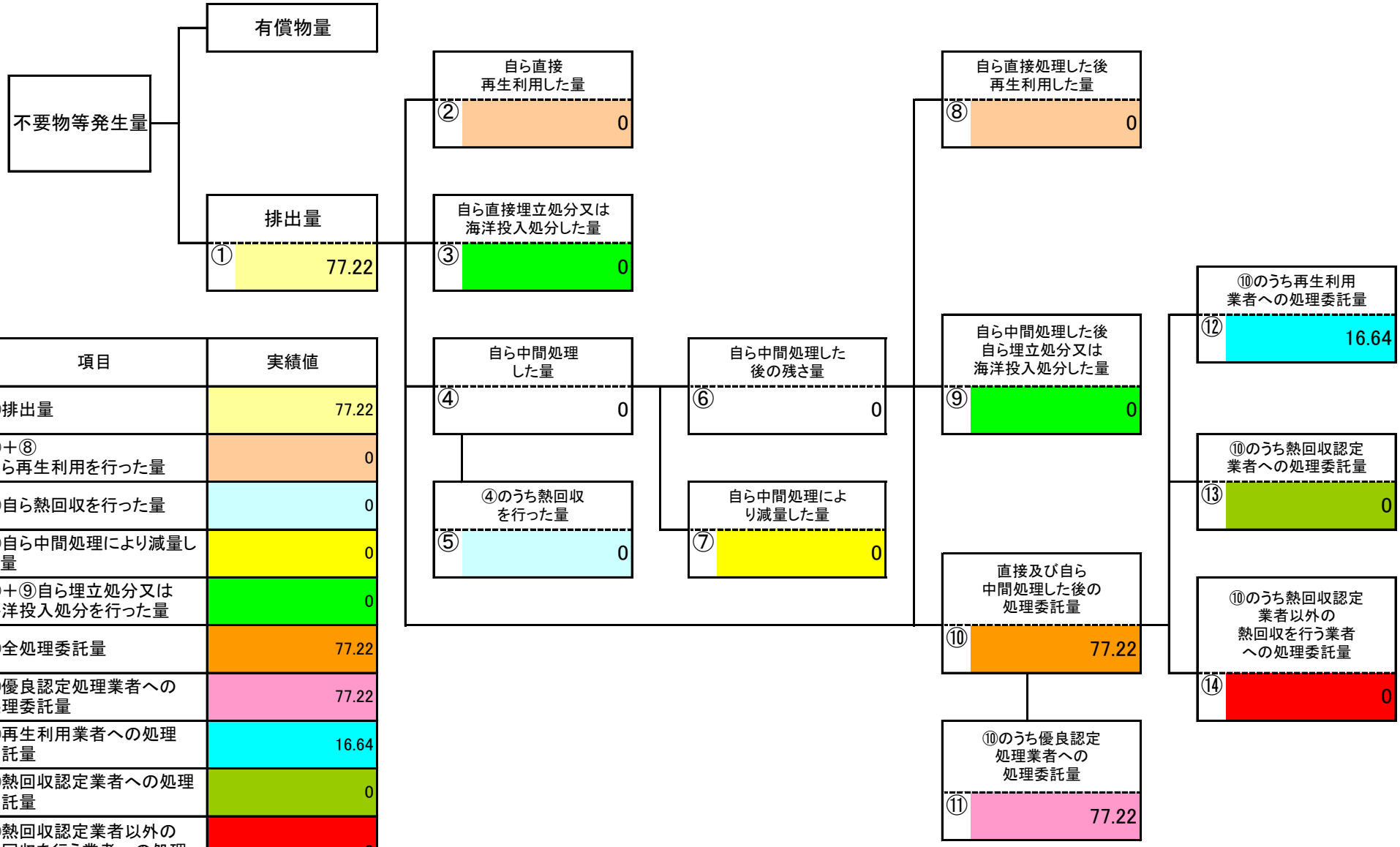
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　廃石膏ボード　　）



項目	実績値
①排出量	16.5
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	16.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	16.5
⑫再生利用業者への処理委託量	16.5
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

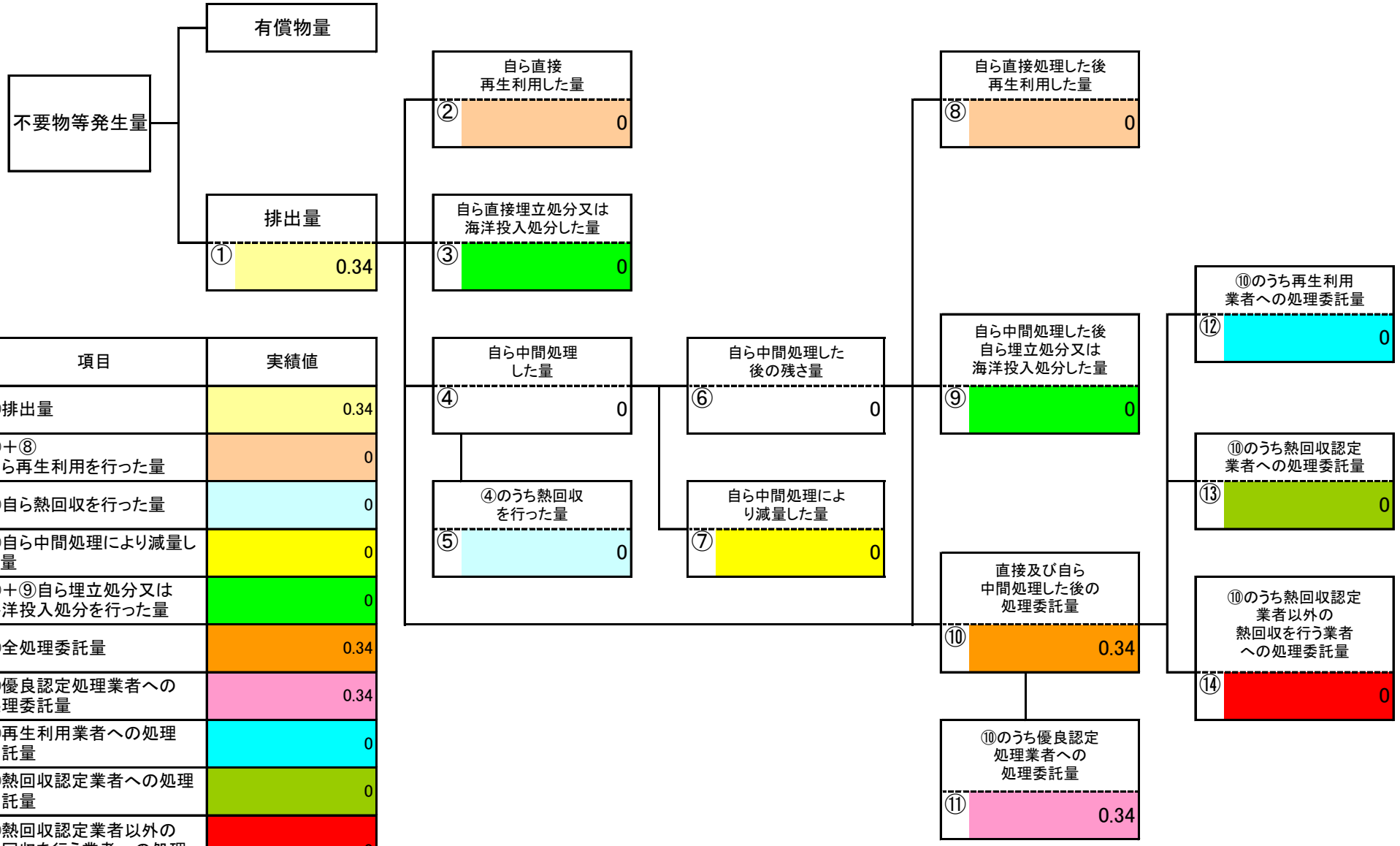
計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　建設混合廃棄物（管Ⅰ）　）



項目	実績値
①排出量	77.22
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	77.22
⑪優良認定処理業者への処理委託量	77.22
⑫再生利用業者への処理委託量	16.64
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

計画の実施状況　（　産業廃棄物の種類：　廃油　）



項目	実績値
①排出量	0.34
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.34
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.34
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月10日

長崎県知事　大石　賢吾　殿

提出者
住　所　佐世保市天満町４番２５号
氏　名　㈱山口組 代表取締役 前田秀樹
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　（０９５６）２３－１１４１

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、2023 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社　山口組
事業場の所在地	長崎県佐世保市天満町４番２５号
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和５年４月１日～令和６年３月３１日

産業廃棄物処理計画における目標値

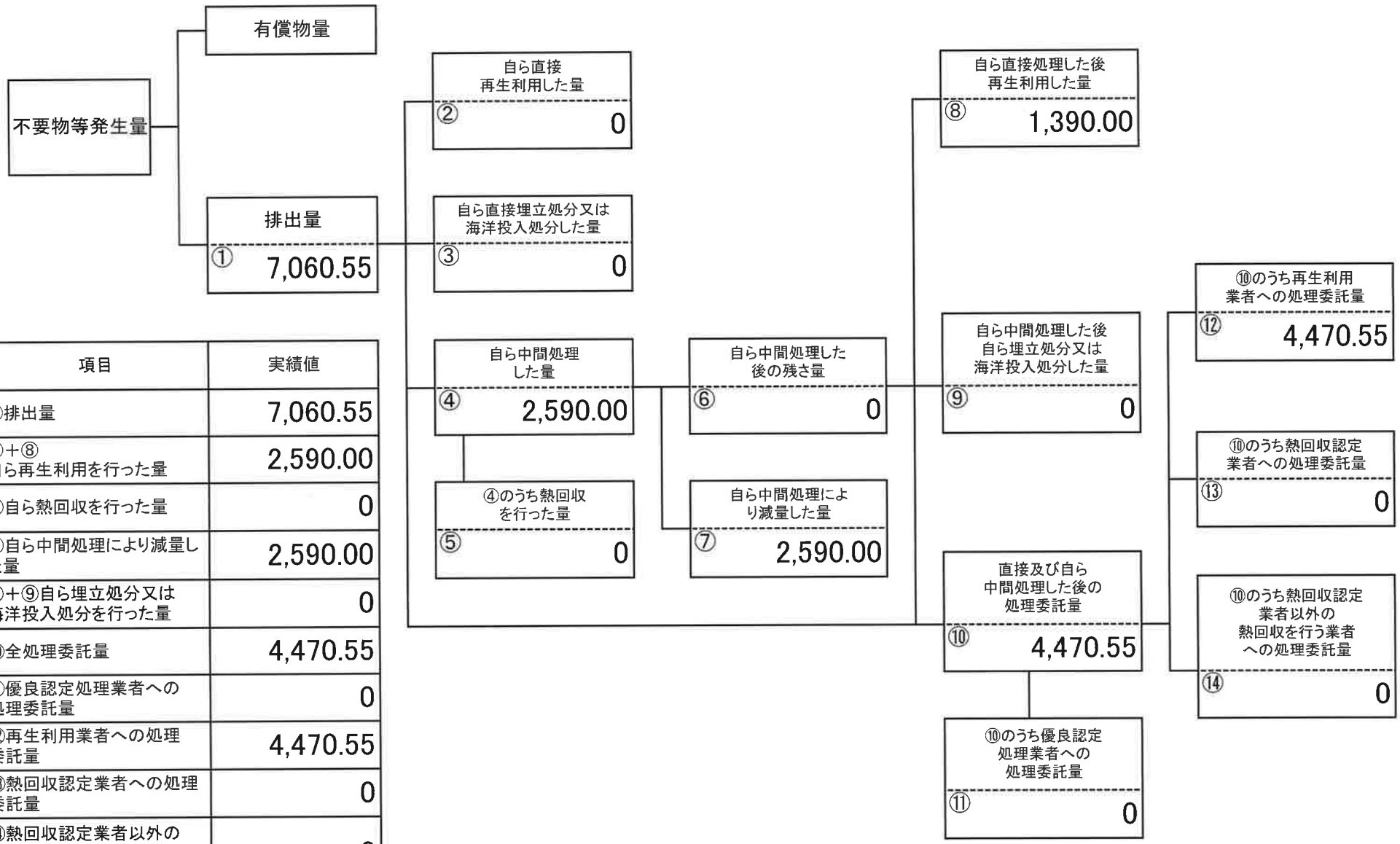
項目	目標値	項目	目標値
排出量	9,000ｔ	全処理委託量	7,000ｔ
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	2,000ｔ	優良認定処理業者への処理委託量	0ｔ
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0ｔ	再生利用業者への処理委託量	7,000ｔ
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0ｔ	認定熱回収業者への処理委託量	0ｔ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0ｔ	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0ｔ

※事務処理欄

受付 -6.6.13 資源循環推進課

（日本工業規格　A列４番）

計画の実施状況(県)　（ 産業廃棄物の種類: がれき類 ）



項目	実績値
①排出量	7,060.55
②＋⑧ 自ら再生利用を行った量	2,590.00
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	2,590.00
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	4,470.55
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	4,470.55
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

（第２面）

備考

１　翌年度の６月30日までに提出すること。

２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

７　※欄は記入しないこと。